

## II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

### 1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北海道)		-	-
		商店街（代表者）	・今後、緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスに対する科学的な分析を踏まえた正確な情報が伝わり、ワクチンや治療薬などの開発が進むことを期待している。さらに、消費税廃止が実施されることになれば景気は一気に回復することになる。
		商店街（代表者）	・天候不順の影響が懸念されるものの、青果物の出荷状況は今よりも良くなる。
		一般小売店〔土産〕 （経営者）	・ワクチン接種の効果が出てくることを期待している。
		百貨店（売場主任）	・若年層へのワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの新規感染者、重症者が減ってくことで、景気は今よりも良くなる。
		百貨店（営業販促担当）	・客の緊張状態も長くは続かないため、今後、ワクチン接種が進むことで、客の雰囲気が変わる可能性がある。さらに、プレミアム付商品券などの効果も一時的には出てくることから、今後の景気はやや良くなる。
		スーパー（店長）	・ワクチンの2回目接種率が50%を超え、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてくれば、景気は若干上向きになる。
		スーパー（役員）	・年末までにはワクチン接種もかなり進むとみられるため、通常の状態に戻ることを期待している。
		旅行代理店（従業員）	・ワクチン接種を進めることで新型コロナウイルスの感染状況が抑制傾向に転じ、Go To Travelキャンペーンなどの景気回復施策が打ち出されることを期待している。そうなれば、これまで保留されていた旅行需要が大きく動き出すことになる。
		旅行代理店（従業員）	・ワクチン接種の進展と緊急事態宣言解除後の行政による景気回復策が始動することを期待している。
		通信会社（企画担当）	・毎年9月下旬に発売される話題の通信端末への注目が集まることを期待している。そうなれば、集客が一層上向きことになる。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、行政の施策によって観光客が増加することを期待している。
		商店街（代表者）	・季節的に出控えの時期となり、新型コロナウイルスの感染状況についても改善するとの判断はできないため、今後も景気の悪い状態のまま推移する。
		一般小売店〔土産〕 （経営者）	・現状のワクチン接種状況から、希望者がワクチンを接種し、一定の人が旅行できる状況に回復するまで、まだ時間が掛かるとみられる。ワクチン接種が順調に進めば、多少前倒しになるかもしれないが、年内は現在の前年比7割減程度の状況がこのまま続くとみられる。
	一般小売店〔酒〕（経営者）	・少なくとも9月12日までは緊急事態宣言期間中であるため、売上は全く見込めない。新型コロナウイルスの感染状況によっては緊急事態宣言の延長も考えられるため、景気は厳しいまま変わらない。	
	百貨店（販売促進担当）	・コロナ禍における先行きへの不安感はいまだに大きく、ワクチン接種が進んだとしても景気が急激に回復することはない。これから秋、冬を迎えるに当たって、家計の締め付けは厳しいまま変わらない。	
	スーパー（店長）	・北海道では8月27日に緊急事態宣言が発出され、1か月程度は消費の低迷が見込まれる。2～3か月後においても劇的に何かが変わるとは考え難く、年末までは現在の傾向が続くとみられる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（企画担当）	・現状、客の動きが春先よりも活発になっている。ただ、今以上に上向きとなるかどうかは新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		コンビニ（エリア担当）	・消費者の行動抑制が続く限り、景気は変わらない。
		コンビニ（店長）	・ワクチンの接種率などを鑑みても、通常どおりの経済活動が行われるようになるまで、まだ時間が掛かるとみられる。
		家電量販店（店員）	・プレミアム付商品券の予約が発表されたことで客の買い控えにつながっている。また、緊急事態宣言が発出されると客足が鈍ることになる。これらのことから、今後も景気は変わらない。
		乗用車販売店（従業員）	・ワクチン接種が終わらない限り、外出をちゅうちょする客が多いとみられるため、消費にはつながらない。そのため、今後も景気は現状のままで推移する。
		自動車備品販売店（店長）	・新型コロナウイルスの感染対策に大きな変化がない限り、消費者の動向も現状と変わらない。
		旅行代理店（従業員）	・5月よりもワクチン接種が進んでいるにもかかわらず、8月現在の感染者数は今までにないほど拡大しており、客が道内の旅行でさえもためらうような最悪の状況となっている。ワクチン接種率はこれから上昇するとみられるが、2～3か月後の旅行需要が上向きになるとは考え難い。
		旅行代理店（従業員）	・いまだに新型コロナウイルスの打開策がない状況にあることから、今後も景気は悪いまま変わらない。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの終息がみえないため、客が旅行に出掛けようという機運が上向いてこない。まずはワクチン接種率向上が鍵となる。
		タクシー運転手	・現状、緊急事態宣言は9月12日までとされているが、期間が延長されそうなことから、今後も景気の悪い状況が続く。前年はGo To Travelキャンペーンなどの効果により、6月以降減少しつつ回復基調に転じていたが、今年は6月以降、減収が続いている。コロナ禍前と比べるとマイナス50～60%の減収であり、今後、体力のない会社の経営が立ちいかなくなるのが懸念される。
		タクシー運転手	・今後も今の状況と変わらないまま推移する。先行きが読めないことから、今よりも厳しい状況になることを懸念している。
		観光名所（従業員）	・残念ながら当地にも緊急事態宣言が発出され、期間中は休業することになったが、今後、ワクチン接種が進むことで、宣言明けには今よりも観光や余暇、娯楽などの分野において活力が出てくることを期待している。
		観光名所（職員）	・新型コロナウイルスの影響により低調な成績が続いている。緊急事態宣言の発出、まん延防止等重点措置の適用が断続的に繰り返されていることで、正常に営業できる状況にならないことから、ワクチンや特効薬が浸透しない限り、抜本的な改善は難しい。
		美容室（経営者）	・緊急事態宣言が発出されても、以前のように人の動きが止まる気配がないことから、今後も同じような来客数で推移することが見込まれる。
		商店街（代表者）	・客が新型コロナウイルスの影響を身近に感じているようで、客との会話が新型コロナウイルスの話題ばかりとなっている。そのため、今後の景気はやや悪くなる。
		商店街（代表者）	・コロナ禍の影響で今後の景気はやや悪くなる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響によって、今後の景気はやや悪くなる。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの出口がなかなか見通せないことから、景気回復にはまだ時間が掛かるとみられる。そのため、客の購買意欲の持ち直しが見通せない状況が続く。
		コンビニ（エリア担当）	・8月は余りにも天候が良かったこともあり、お盆における観光客などの動きが良かったが、緊急事態宣言が発出されることになったことから、今後の景気は再び下向きになる。
		コンビニ（エリア担当）	・前年は残暑など、天候の恩恵があったが、今年は天候が前年ほど良い状況ではない。また、緊急事態宣言の発出、新型コロナウイルスの感染状況などを考慮すると、景気が良くなることは決して思えない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言が発出されたことから、今後の景気はやや悪くなる。また、前年は一時的に来客数の増えた時期であるため、一巡による反動減も見込まれる。
		家電量販店（経営者）	・集客イベントを自粛しているため、今後の売上ダウンが見込まれる。
		乗用車販売店（従業員）	・世界的な半導体不足や緊急事態宣言の影響も、もちろんあるが、それよりも海外でのロックダウンの影響で東南アジアからの部品供給が停滞する動きが出てきている。納期が1～2か月遅れとなるケースも生じており、予定どおりに売上が立たなかったり、在庫が確保できないことも懸念される。今までにないくらい物流が悪くなっていることから、今後1～2か月は厳しい状況が続くことになる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で北海道において再び緊急事態宣言が発出された。また、メーカーで半導体及び部品の供給が滞っており、受注している新車が予定どおりに生産できない状況となっている。これらのことから、今後、新車の売上が大きく減少することが懸念される。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・客が何もしない行動に慣れてきたのか、来客数がますます減少しており、今後への影響が懸念される。
		その他専門店〔造花〕（店長）	・コロナ禍の影響に加えて、天候不順に伴う物価の上昇などで、客の購買意欲が低下している。そのため、今後の景気はやや悪くなる。
		観光型ホテル（スタッフ）	・8～9月は緊急事態宣言の発出がマイナス要因となる。その後も衆議院選挙が行われることで人流の停滞が見込まれる。
		タクシー運転手	・緊急事態宣言が発出されたため、今後については来客数の一層の減少が見込まれる。特に夜間の利用客は壊滅的な状況になるとみられる。
		タクシー運転手	・あちこちでクラスターが発生していることから、新型コロナウイルスの感染状況はしばらく落ち着かないとみられる。また、衆議院選挙も行われるため、今後の経済活動は停滞することになる。
		タクシー運転手	・64歳以下の住民へのワクチン接種が始まったが、他の自治体と比べると遅い上、公共交通機関従事者への早期接種体制にも不備があると捉えている。タクシーの稼働状況が元に戻るまでに2～3年はかかるとみている。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスについて終息の兆しがみえないことから、客の来店頻度が低下することになる。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者が爆発的に増えている。ワクチン接種も進んでいるが、それ以上に東京オリンピック・パラリンピックが影響して、新規感染者数の増加につながっているとみられる。この現状を打破するためには、新型コロナウイルスの治療薬を開発するしかないため、治療薬ができるまで景気の悪い状況が続くことになる。
	×	商店街（代表者）	・北海道の観光シーズンは9月までであり、それ以降に経済対策を行っても観光業を救うことは不可能である。このままでは弱い北海道の観光業界は来春まで持たない。飲食店関係への支援がある一方で、観光業界への支援がなぜないのか理解できない。半年近く雪に覆われ、観光のオフシーズンとなる地域への支援について本格的に考えていただきたい。
	×	スーパー（従業員）	・新型コロナウイルスについて終息の見通しが立たないことから、今後の消費拡大は見込めない。
	×	乗用車販売店（経営者）	・当地における大規模工場の生産停止の影響もあり、今後、新車の登録台数が大きく落ち込むことが見込まれる。サービス部門においても、車検対象台数が減少傾向となるため、売上の減少が見込まれる。これらのことから、全体的に景気が悪くなることが懸念される。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・今後の景気は悪くなる。店を休業することで支援金が支給されることになるが、どうもやる気が出てこない。年内の通常営業は諦めて、年明け以降の経済政策に期待して、何とか経営を維持していきたい。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの変異株の影響により、感染拡大が勢いを増しており、ワクチンの接種がどの程度進めば、感染予防対策が不要になるのか見通しが立たない状況にあることから、今後の景気は悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	観光型ホテル（経営者）	・まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出により、宿泊予約の多くについてキャンセルが発生している。新規予約も皆無であり、秋の行楽シーズンはほぼ壊滅状態にある。国策によって人流が抑制されている一方で、観光業に対する支援策が余りにも小粒で役に立っていない。観光業が生き延びられるような大胆な支援策が望まれる。
	×	タクシー運転手	・外出に制限が掛からなくなるような状況や時期は定かではないが、この先3か月程度で新型コロナウイルスの影響を排除できる可能性はゼロであることから、今後の景気回復は望めない。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない限り、不安で客が外出できないとみられることから、今後の景気は悪くなる。
企業 動向 関連  (北海道)		-	-
		金融業（従業員）	・先行きの道内景気はコロナ禍の収束状況次第であるが、足元の消費、投資状況から、マインドの大幅な悪化はみられないことから、道内景気はコロナ禍の収束に合わせて回復することになる。このため、今後の道内景気は、緊急事態宣言が解除されることが前提だが、やや良くなる。
		その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・東京オリンピック・パラリンピックが終了し、経済活動が再開し始めることでベース商材が動くようになり、案件の受注も増えてくることを期待している。特に年末から新年度にかけての期待感が増している。
		食料品製造業（従業員）	・これ以上景気が良くなるような案件が特に見当たらないため、今後も景気は変わらない。
		建設業（経営者）	・手持ち工事量はほぼ一杯であり、人手不足の影響もあり、これ以上受注する余裕はほとんどない。そのため、今後は来年度の完成工事へ向けての営業、受注活動が中心となる。新型コロナウイルスの影響で街中の景気は停滞したままであり、上向きに転じる時期もみえない。行動制限などの影響もあって、マインドは実態以上に落ち込んでいる。
		建設業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響が大きい。終息して人流などの動きが生じるようにならない限り、景気は改善しそうにない。
		建設業（役員）	・新型コロナウイルスの終息が全く見通せず、年度計画達成可能な量と質の受注を確保できないことが懸念される。今後もこうした状況は変わらない。
		輸送業（支店長）	・ここに来て緊急事態宣言の発出が多くの都道府県に拡大していることから、現在よりも景気が良くなることは期待できない。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・通常の経済活動に戻るにはワクチン接種が鍵になるとみているが、接種率の伸びが鈍化している。そのため、今後の景気が上向くかどうかは、若年層への接種状況、12歳未満への対策次第である。
		金属製品製造業（従業員）	・新築住宅着工件数は前年はかなり落ち込んだため、前年比ではプラスになっているが、量的には2019年度並みにとどまっている。一方、鉄、銅などの資材価格の高騰で値上げせざるを得ない状況にある。ウッドショックの影響もあることから、下期は落ち込みが見込まれる。
		通信業（営業担当）	・日本を始め世界全体にワクチンの効果が行き届くには想定以上の期間が掛かることが見込まれる。材料や部材の調達遅れ、個人レベルでの経済活動の回復が鈍化していることなどから、これから年末にかけての景況感はやや悪くなる。
		司法書士	・ワクチン接種などによって新型コロナウイルスの感染拡大が終息するまで、経済が回復する見込みは薄い。さらに、衆議院選挙の結果にも左右されるとみられることから、年内に景気が回復するような材料は少ない。
		司法書士	・東京オリンピックが開催されていた頃から大都市圏での新型コロナウイルス感染者が急増している。一方、感染力の高い変異株が現れたこと、ワクチン接種が停滞気味であることなどから、今後も活発的な働き方はできないとみられるため、景気も少しずつ悪くなる。ただ、大都市では慣れもあるのか、気にせずに出歩く人も多くみられるようであり、判断に難しい面もある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・北海道にも緊急事態宣言が発出されており、先が見えない状況となっている。企業によっては在宅勤務を始めており、今後しばらくは生産性が落ちることが懸念される。
	x	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・下期案件が例年よりも少ないことから、今後の景気はやや悪くなる。
雇用 関連  (北海道)		-	-
		求人情報誌製作会社（編集者）	・ワクチン接種2回目終了者が40%を超えた。政府の言うとおり、今後新規感染者数が減少していき、医療崩壊が改善されるのであれば、見通しは明るい。企業は求人のタイミングを見計らっている。
		人材派遣会社（社員）	・求人意欲が回復しており、スキルが高い人材や人物像に将来性を感じる人材へのニーズは高くなっているものの、求職者側に転職意欲や目的が明確ではない人材が多いことから、採用に至らないケースが多くみられる。企業のニーズと人材のニーズに若干のかい離が生じており、企業が人材を採用して業績を回復させたいと考えても、採用遅れによって回復が遅延するケースがみられる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・地場産業である農業関連産業の動きが底堅いことから、新型コロナウイルスが終息に向かえば、求人意欲も回復することになる。
		職業安定所（職員）	・まん延防止等重点措置の適用から緊急事態宣言の発出へと変わったが、宣言が9月12日までとなっていること、これまでと特に大きな違いもみられないことなどから、緊急事態宣言によって感染状況が改善する傾向は出てこないとみられる。そのため、今後も景気は現状と大きく変わらない。
		職業安定所（職員）	・当地における新規求人数は前年から12.1%増加し、新規求職者数は前年から3.1%減少したが、新型コロナウイルスの影響を受けていなかった前々年との比較では、新規求人数は21.7%の減少、新規求職者数は7.8%の減少となっている。また、7月の有効求人倍率は0.85倍であり、前月から0.01ポイントの上昇となっていることから、当面は現在の水準で推移するとみられる。一方、新型コロナウイルスの影響が長期化し、需要が低迷する一部の業種においては不安定な動きが継続しており、予断を許さない状況にある。
		職業安定所（職員）	・管内における新型コロナウイルスの感染者数は多くないが、雇用調整助成金の申請が増えていることから、今後も影響が続くとみられる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルス対策が、まん延防止等重点措置から緊急事態宣言に移行したが、事業者を守るための国の方策がみえてこない。業種にもよるだろうが、現在の厳しい状況が改善するような気配は感じられない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・当地は農業が盛んであり、農業、建設、介護のように新型コロナウイルスの影響を直接受けていない業種もあれば、イベント、飲食、観光など大打撃を受けている業種もある。全体的にみれば、マイナスが大きいとみられるため、今後の景気はやや悪くなる。
	x	求人情報誌製作会社（編集者）	・3度目の緊急事態宣言の発出が決まったが、ワクチン接種のスピードが上向いていないことを踏まえると、今後も感染者数は増減を繰り返すことになる。行政からの要請も強弱はあるだろうが継続するとみられるため、景気が良くなるような材料が見当たらない。

## 2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東北)		住関連専門店（経営者）	・受注生産なので、コロナ禍のなかでも受注予約が入っているものは納品しなければならない。しかし、ウッドショックの影響で、納期が守れるか厳しいことも出てくるのではないかと懸念している。
		百貨店（売場主任）	・ワクチン接種が若年層にも進み、個人需要の上向きに期待するが、取引先の生産減の動きもあり、商品確保において不安材料もある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の一方で、ワクチン接種拡大による外出自粛緩和が予測される。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染の収束状況の影響を受けるとみているが、秋冬物の本番になる。
		乗用車販売店（従業員）	・ワクチン接種が少しずつ進んでおり、2～3か月後には全員終わることを期待している。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・ワクチン接種の拡大等に伴う感染対策の緩和により、秋の行楽は回復することを期待している。
		観光型ホテル（スタッフ）	・10月以降の予約はある程度伸びつつある。
		旅行代理店（従業員）	・ワクチン接種の拡大に伴う集団免疫の獲得によって客の外出に対する心理的不安が緩和され、それが人流拡大につながることを期待したい。
		競艇場（職員）	・来場促進のため徐々にイベントを再開していく方向で進んでいる。新規客が見込めれば売上は増えると予想される。
		住宅販売会社（経営者）	・一般物件の倉庫、工場、鉄筋コンクリート造りの集合住宅等の受注が好調で、年度内の受注目標値を超える見通したが、木造住宅の受注は低迷したままである。
		商店街（代表者）	・感染再拡大の影響が出てくる。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	・学校での新型コロナウイルスのクラスター発生などもあり、巣籠り状態は相変わらずである。そのなかで、書籍、楽器に対する消費マインドが上がることは考えられない。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・物価や商品に問題があるわけではなく、新型コロナウイルス感染者数に合わせて来客数が増えたり減ったりしている状況である。来客数が回復しない限りは、売上も上がらない状況が続くとみている。客単価はそれほど悪くないが、客足が悪いことにより、前年に届くのは厳しい状態である。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・唯一の救いとなるワクチン接種も、ここに来てワクチン不足により接種ができず、多くの人がいらいらを感じている。良い兆しは何もない。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・コロナ禍の終息が見通せないなか、世の中が対応すべく変化しつつある。新たな需要やサービスが生まれ、それなりの安定感が出てくるとみている。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	・今の状況のもとで商売するのは非常に難しいが、感染対策をしっかりと仕事に結び付け、少しでも売上を伸ばしたい。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況に左右される状況ではあるが、来客数や購買量に変化はみられない。2～3か月先にはワクチン接種が若年層にも進み、消費マインドにポジティブな影響が出ることを期待している。
		百貨店（買付担当）	・ワクチン接種が進まないなかの緊急事態宣言は影響が大きかった。感染者数も減っておらず宣言解除の見直しも立っていないため、ワクチン接種が進まない限り現状は変わらないとみている。
		百貨店（経営者）	・緊急事態宣言により更に消費は冷え込み、ワクチンの接種が進んだとしても回復には時間が掛かる。オンラインや宅配などを強化するが店頭をカバーするには至らない。
		スーパー（店長）	・市内での新型コロナウイルス感染者数の急増の影響も加わって、来客数の減少、客単価の減少が続いている。この状況は今後も続きそうである。
		コンビニ（経営者）	・月初めは動きが出てきて少し期待していた。買上点数も堅調、買上単価もほぼ横ばいという状況であったが、後半はまん延防止等重点措置適用、緊急事態宣言発出ということで、再び客足が減少している。今後、新型コロナウイルスの影響がどうなるか分からないので、先行きの見直しは不明である。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が進んでいないことや新型コロナウイルス変異株の感染者数が増えていることによる影響が大きい。
		コンビニ（エリア担当）	・ワクチン接種割合の増加に伴う来客数増も期待したいが、現時点では兆候がみられない。
		コンビニ（エリア担当）	・ワクチン接種が進んでいるので、10月をめぐりに変わってくると予測はしているが、新型コロナウイルス変異株の影響がどうなるのか予測が付かず、人の動きが良くなるとの楽観視はできない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（経営者）	・お盆休みが明けて新型コロナウイルスの感染者数が急増し、飲食業や小売業は大変な状況である。回復基調には程遠いとみている。
		衣料品専門店（店長）	・我々のような業態は、新型コロナウイルスによって出張や帰省ができない、経済活動ができないといったことに大きく左右される。現状の感染の拡大をみる限りは先も読めず、変わらないのではないかとみている。
		衣料品専門店（店長）	・ワクチン接種率が7割近くまで上がり、各地で出されている新型コロナウイルス対策宣言が解除されて初めて、消費者が買物という行為を行うようになってくる。
		衣料品専門店（総務担当）	・緊急事態宣言発出、まん延防止等重点措置適用エリアの拡大により、消費は冷え込んだ状態が続くと考えられる。
		住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数が減らない限りは、高齢者は外に出ず買物にも出て歩かない。3か月先までに新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くとは思えず、主な客が高齢者である当店においては、このまま推移していくのではないかとみている。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	・ワクチンの接種が進んでおらず、外出自粛傾向は当面続くとみている。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・ここ数か月で状況が良くなるとは考えづらい。値段のたたく合いのようなことはしたくないのだが、現状はそうせざるを得ない。ネット販売に押されて利益確保が非常に厳しいことも要因である。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が進んでいるが、人流の抑制はできておらず、余り変化はないとみている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・1にも2にも重要なのは感染の収束である。このままの状態が続くようであれば、売上の低迷が長引くことが予想される。
		高級レストラン（経営者）	・3か月後に新型コロナウイルスの感染が収束していない場合は、このままの景気がずっと続くとみている。余り期待はしていない。
		高級レストラン（スタッフ）	・8月にまん延防止等重点措置から緊急事態宣言へと移行し、年内の景気は変わらなそうである。宴会もレストランも総菜ショップも依然として振るわず、どの部門も変わらない。
		高級レストラン（支配人）	・新型コロナウイルス感染者数の増加に伴い県独自の緊急事態宣言が出てから、来客数が大分減っている。前年と比べても落ちている。ただ、新型コロナウイルスの感染状況次第では回復するとみている。いずれにせよ新型コロナウイルスの感染状況が鍵となる。
		一般レストラン（経営者）	・これ以上悪くなりようがないが良くなる期待もできず、現状から大きな変化はないのではないかとみざるを得ない。大変厳しい。
		一般レストラン（経営者）	・我々の業界は、新型コロナウイルスの感染がどうなるか次第で良くもなるし悪くもなる。新型コロナウイルスの感染が収束すれば人は必ず出てきてくれるとみているので景気は良くなるが、拡大していくようだとこれまで同様景気はどん底になる。
		観光型旅館（スタッフ）	・東京オリンピック期間中に各地に出された緊急事態宣言などでは人々の動きは抑制されず、その動きにより景気という部分では変化はない、若しくは皮肉なことに上昇に転じる可能性がある。
		旅行代理店（従業員）	・まん延防止等重点措置から緊急事態宣言に移行しており、良くなる要素は何もない。
		タクシー運転手	・当県の新型コロナウイルス感染者数が少なくなっても、関東地方や関西地方の感染者数が少なくならない限り、外出控えが大幅に改善されることは考えづらい。コロナ禍が改善されるとしても、年が明けてから少しずつになるとみている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息が不透明である。テレワークが可能な業種とできない業種の差がある。消毒業者はコロナバブルになっているという声がある。業種によっては売上利益が上向いている。倒産による失業者が増えている。これらの状況から変わらないと判断している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（営業担当）	・良くなる材料に乏しい。このまま良くない状況は続くともみている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が一気に進んでおり、テレワークや自宅時間が増えることになるため、放送、通信共に現在の加入者は継続しての利用者が多くみている。自粛生活がしばらく続くことが予想され、消費動向の改善も期待できない。ただし、新規のサービスエリアの展開を予定しているので、若干の新規加入者を期待している。
		通信会社（営業担当）	・コロナ禍で特段のイベントもなく巣籠り状態が続いていることから、変化は余り期待できない。まん延防止等重点措置が適用され更に制限が課される業種にとっては影響が大きくなる。
		テーマパーク（職員）	・感染者数の増減や緊急事態宣言の発出・解除、まん延防止等重点措置の適用・解除により状態はすぐ変わってしまう。良くなってもすぐ悪くなるためトータルすると変わらないか、マイナス傾向になる懸念がある。また、秋冬はウイルスのまん延が懸念されることも不安材料である。
		観光名所（職員）	・予約状況は非常に悪い。ワクチンの2回接種が終わった人や、緊急事態宣言に慣れて出歩いているような感じの人が日々振り客として訪れている。よって、来客数は今以上に今後以下にもなり得ないことから、現状のまましばらく推移するのではないかとみている。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの若年層への感染が広がっているため、全体的にワクチン接種が進まないと、この状況は変わらないとみている。当県の接種完了時期は11月までを目指しているようなので、その頃までは変わらないのではないかとみている。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・石油ストーブ、ファンヒーター、温水ルームヒーター等の住宅設備機器の暖房機器については、前年の特別定額給付金効果のようなものは見込めない。リフォームは大型工事の問合せが少しずつ増えてくるとみている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染の拡大がかなり深刻になってきており、この先短い期間で収まるとは考えにくい。まん延防止等重点措置の適用が商売にかなり響いており、予約もほぼゼロである。
		商店街（代表者）	・ワクチン接種が当初予定より遅れており、年末にかけての景気回復は期待できない状況である。
		商店街（代表者）	・コロナ禍で季節感もなく、消費者の購買意欲も上がらない。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染爆発が発生しており、収束には時間を要する。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収まらないと良くならない。
		スーパー（経営者）	・9月は感染急拡大の影響で一段と巣籠りが多くなり、消費へのマイナス影響も強くなるものとみている。一部を除き、これから更に厳しくなる業種・業態、企業が増え、解雇・雇止めも増え、収入が減る人が増えることを懸念している。ワクチン接種が早急に進み、その効果が出てくることを期待しているが、しばらくは一段と厳しい消費環境が続くものとみている。
		スーパー（経営者）	・ワクチン接種が進む中で、感染力の強い新型コロナウイルス変異株の感染が脅威となっている。1回当たりの買上点数は上がっているが、来店頻度が下がり全体的に悪くなる傾向になることが予想される。
		スーパー（店長）	・コロナ禍の影響がどこまで続いていくか予測をしにくいいため、経済活動が縮小均衡となり、結果として収入不安から支出を抑制する動きが出てくると考える。
		スーパー（店長）	・暑さも落ち着き、新型コロナウイルスの影響も変わらないとなると、急激に業績が良くなることはない。
		スーパー（企画担当）	・2～3か月後にはワクチン接種がかなり進み、今までの内食需要も段々と陰りを見せてくると予想している。食品小売業に関しては2～3か月後はやや悪くなるのではないかとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルス感染が全国的に拡大している。当県も独自の緊急事態宣言を発出し飲食店の売上、来客数に影響を与えていることから、全体の景気悪化が懸念される。今後は商業施設への来客数ダウンが予測されることから、売上に影響が出て全体的にやや悪くなるとみている。
		スーパー（営業担当）	・秋のイベントの中止が多くなり、季節商材の販売に影響が出るのではないかと懸念している。春からの天候不順による青果物や地場産品の不作で販売が苦戦していることから、消費が減少することを不安視している。
		コンビニ（経営者）	・感染者数の増加でますます厳しくなるとみている。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス終息は全く見通せない状況であり、一定期間来客数の減少は継続すると推測される。
		コンビニ（店長）	・9月12日まで緊急事態宣言中となり、リモートワークを行っている会社に勤める客は来店が減る。また、10～11月には選挙がある。選挙になると街中は特に夜の出がなくなるので、見通しは余り良くない。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染が危機的状況のなか、当県にも緊急事態宣言が発出されている。不安感がつのり、自主規制はこれまで以上に強化されるのではないかとみている。
		衣料品専門店（経営者）	・感染拡大とワクチン接種の進行状況に不安感が募り、消費意欲に今まで以上の影響が出ると予測する。
		家電量販店（店長）	・季節商材の売上は気温など季節要因によって変わるが、冷蔵庫や洗濯機、テレビなどの買換え需要も、新型コロナウイルスの問題があって少し買い控えが発生しているようである。単価も来客数も下がっているため、2～3か月後も悪くなるのではないかとみている。
		家電量販店（店長）	・感染拡大が更に進むと予想している。外出を避ける方が増えていくとみている。
		乗用車販売店（従業員）	・現状のまま生産カットや納期遅れが続くようであれば売上を見込めない。改善される兆しがみられればよいが今はない。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染と半導体問題で、世界的な製造調整がニュースで流れている。新車は長納期化しつつある。売上に反映するまでに時間が掛かる。中古車市場はやや活性化しているが、価格が高騰してきている。日々の売上はサービスに頼らざるを得ない。法定点検の対象車両は減りつつある。現状維持が精一杯である。
		乗用車販売店（店長）	・月末から当県も緊急事態宣言対象地域に指定されるため、これまで踏ん張ってきた飲食系の客からも今後車に掛かる費用を抑えたいという声が聞こえている。中には減車を予定している会社もあり、状況は更に読めない。
		自動車備品販売店（経営者）	・県外への移動の禁止等により遠出をしないため車の走行距離が少なく、車検修理に伴う交換部品が出ない。大型トラックも荷物が少なく、乗用車と同様である。また、電子デバイスを使用した製品を作っている会社なども出荷量が減っている。
		観光型旅館（経営者）	・感染者数の増加により緊急事態宣言の対象地域も拡大され、景気の持ち直しの気配はみられない。
		タクシー運転手	・緊急事態宣言が発出されることから、人の動きが止まる。
		通信会社（営業担当）	・コロナ禍がある程度収束しない限り、当面景気は低迷が続く。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息が見えない。
		遊園地（経営者）	・期待したワクチン接種の進展だが、新型コロナウイルス変異株により効果が不透明になり、秋期の好転が見通せない。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・頼みのワクチン接種も順調ではなく、その効果も長続きしないようなので、先の明るい材料はない。
		設計事務所（経営者）	・終息の見えない新型コロナウイルス対応への不安や不満を口にする客が非常に多い。この状態が長引くと楽観的な考えを持つこと自体が難しくなり、精神的な落ち込みが経済にも影響するとみている。
		その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・現状からみて、集客につなげるイベント実施が難しいと考えているため、来場者数が減少することを予測している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般小売店〔医薬品〕 (経営者)	・9月12日には緊急事態宣言が解除になるが、それでもシャッターを開けて営業をする店がどの程度いるか非常に疑問である。このまま客足が戻らなければ、繁華街は壊滅状態になるということも考えられる。
	×	スーパー(経営者)	・原材料の値上げ等から商品、製品の値上げが続いているが、現場における商品への価格転嫁はすぐには難しい。
	×	コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルス変異株でかなり厳しい状態が続いている。新型コロナウイルス感染の収束に期待したいが全くみえないので、そういった面ではこの先もかなり厳しくなる。
	×	コンビニ(経営者)	・感染者数も増えてきて、県独自の緊急事態宣言が発出され、特に夕方の客が少なくなっている。これからどうなるか正直分からない。
	×	コンビニ(経営者)	・10月の最低賃金の引上げで経営がかなり厳しくなる。現状でもギリギリの状態なのに地獄の経営になる。首が回らなくなるオーナー、中小企業が増えてくるのではないだろうか。何故景気が上がらない状態で最低賃金を上げるのだろうか。
	×	家電量販店(従業員)	・新型コロナウイルス感染爆発による客の外出自粛により、売上が減少するとみている。
	×	その他専門店〔酒〕 (経営者)	・現状や政府の対応をみるに、年末までは状況が好転する材料が見当たらない。ワクチン接種が行き渡って数字的に収束の傾向がみえないと好転しないと考えている。
	×	その他専門店〔食品〕 (経営者)	・国のかじを取る人に信頼がないので、年内はこのままの状況が続く。
	×	一般レストラン(経営者)	・ワクチン接種の状況や感染者数の減少が売上にかなり影響するので、新型コロナウイルス感染症の落ち着き次第である。このまま続けばかなり厳しい。
	×	一般レストラン(経営者)	・当エリアだけでなく全国的に人の往来を止めなければ、一時的に感染者数が減ってもすぐに増えるの繰り返しになる。これでは何か月たっても個人の行動に制限が掛かったままであり、特に夜はゴーストタウンのような状況が続く。これでは景気が悪くなって当然である。
	×	観光型ホテル(スタッフ)	・新型コロナウイルス変異株の増加の影響などがあり、感染者数の減少は見込めない。
	×	旅行代理店(従業員)	・旅行業界においては、現在、秋シーズンの予約販売は伸びない状況にある。今後新型コロナウイルス感染者数が減少し、出発直前予約が発生した場合であっても、景気回復といえるまでの実績には到底至らない。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスがこの先どのような変異をするのか予測が付かない。ワクチンの3回目接種をしなければならないとか、我々には想像もできないことが発生しているので、先が全く読めない状況である。
企業 動向 関連 (東北)		建設業(企画担当)	・ワクチン接種による大幅な改善というのは皆の共通認識とみている。ワクチン接種者数についても順調に伸びている。
		金属製品製造業(経営者)	・受注量が更に増える予定がある。
		輸送用機械器具製造業 (経営者)	・コロナ禍で大変な思いをしている店や企業が試行錯誤し努力した結果がこれから徐々に現れてくると期待している。
		建設業(従業員)	・コロナ禍による個別の事業計画の遅れが顕在化しているものの、下半期に向けて大型公共工事の出件が見込まれるため、やや上向くと推測される。
		通信業(営業担当)	・2度目の緊急事態宣言で、今までテレワークに消極的だった企業も環境整備に乗り出してきている。
		農林水産業(従業者)	・後半のももの収穫直前に台風9号による強風が吹き荒れ、果物の落下と枝ずれが多くあり、遅霜の影響とともに2~3割の被害が出るものと予想される。
		食料品製造業(経営者)	・新型コロナウイルスの感染が収まらないと土産需要はかなり厳しい。他の販売ルートも模索しているが、商談も新型コロナウイルスの影響がありなかなか進まない。
		食料品製造業(営業担当)	・ワクチン接種も進んでいるが、現時点では良くなる兆しがない。今月より良くなるのは、来年以降とみている。
	出版・印刷・同関連産業 (経営者)	・依然、新型コロナウイルスの終息が見えない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		電気機械器具製造業（企画担当）	・最近の半導体価格の下降現象はこれまでと同様の傾向であり、コロナ禍での上げ止まりが特別であった。したがって、この現象が続いても、景気という面では大きな変化はないと考える。
		輸送業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響は当面続き、回復までには相当な時間を要する。
		通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響を受けていることに共感しながら、客との良好な関係を築いていけるよう努力を続けていく。
		金融業（営業担当）	・ワクチン接種が済み、新型コロナウイルスの感染拡大が収まるまでは厳しい状況が続くと見込まれる。
		広告業協会（役員）	・ワクチン接種と感染者重症化率の相関関係が明確になり、イベントへの参加基準が確立され、開催へ前向きな情勢になることを期待している。イベントの開催が広告業界回復の鍵となる。
		広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着くとは思えない。今年度は耐えるしかないのではないかとみている。
		広告代理店（経営者）	・ワクチン接種が今以上に進み、感染拡大が収まるには、まだ数か月掛かるとみている。
		コピーサービス業（従業員）	・新型コロナウイルスの終息が見えない。また、品不足解消の見込みもないため、現状と変わらない状況が続くとみている。明るい材料が見当たらない。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大を封じ込める具体的な手立てに代わり映えはなく、その時々での感染状況に合わせた対応でありコントロールができていない状況はなく、感染封じ込めには程遠い。
		その他企業〔協同組合〕（職員）	・半導体製造関連は良くなっているが、製造業全般には足踏み状態が続いている。新型コロナウイルス感染の拡大が更に続けば後退局面に向かいかねない。
		食料品製造業（営業担当）	・ワクチン効果に期待はしたいが、新型コロナウイルス変異株の威力も見逃せない。今のこの状況を見る限り、今年ももう観光での売上は期待できないのではないかとみている。
		窯業・土石製品製造業（役員）	・出荷量については、官需・民需の工事増加が見込めない。景気も新型コロナウイルスの感染拡大や大雨の影響等で盛り上がりがない。
		輸送業（経営者）	・現首相からワクチン接種を希望する全ての人に対し、10月から11月の早期に接種を終えられるよう取り組むとのコメントがあったが、このとおりに進捗したとすれば、10月頃から景気が少し上向いてくるのではないかとみている。大いに期待するところである。
		金融業（広報担当）	・新型コロナウイルス変異株の全国的拡大により、引き続き観光・宿泊関連に光が見えない。さらに、県内の感染状況次第では地域経済活動自体に抑制圧力が掛かるのではないかと懸念がある。
		経営コンサルタント	・当県に緊急事態宣言が発出されるなど、相変わらずの景気下押し圧力が強い。
		司法書士	・工務店において木材の確保ができず、住宅着工が遅れるという声を聞く。ハウスメーカー大手以外は苦戦するのではないかとみている。
		公認会計士	・当県も緊急事態宣言の対象に含まれたので、飲食、小売、サービス業の景気は悪くなると予想される。建設業等は短期的には景気が悪くなるとみている。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・本県も緊急事態宣言対象地域に指定されたことで深刻な客離れが発生しつつある。夏場まで何とか持ちこたえていた旅館が閉鎖ギリギリまで追い込まれており、深刻な事態が現実味を帯びている。
	×	農林水産業（従業者）	・新型コロナウイルス等の影響で米の需要が減少しており、米価が下落することが予想される。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数が増加しており、ワクチン接種の効果はまだみられない状態であることから、経済活動においては制限、制約が更に厳しくなるし、せざるを得ない。立ち直りまでは最低でも1年は時間を要するのではないかとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
雇用 関連  (東北)		人材派遣会社(社員)	・コロナ禍にあって、eコマースの進展からIT系技術者の依頼が増加しつつある。同時にプログラマーやシステムエンジニア職の相談も発生している。専門職の需要は根強いため、今後更に募集に注力する必要性が高くなるとみている。	
		人材派遣会社(社員)	・募集背景も先々を見据えた体制強化のための募集が多く、求人数自体も増加している。	
		職業安定所(職員)	・少子高齢化による労働力人口の減少の影響もあるものの、幅広い業種の企業が人手不足を訴えており、求人活動が活発な状態である。	
		職業安定所(職員)	・7月の新規求人数と有効求人数を前年と今年で比較すると、新規求人数は約400人、有効求人数は約1000人増加している。前月に続いて増加傾向がみられる。	
		人材派遣会社(社員)	・緊急事態宣言が解除されないことには、採用活動が再開されない状況である。ニーズがなくなっているわけではないのだが、全てにおいて活動が先延ばしになっている。まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が解除されたら、復活の兆しが出てくるのではないかとみているので、9月については景気改善の傾向はみられないのではないかと考えている。	
		人材派遣会社(社員)	・ワクチン接種も進んでいるが、全体的な求人や企業の動きは様子見の感じが強く、当面変わらないとみている。	
		人材派遣会社(社員)	・ワクチン接種は進んでいるが、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の拡大により自粛ムードが再び高まっている。	
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルス第5波といわれながらも、前年のような求人の減少はなく底堅い。しかし、求人増加の勢いも弱い。	
		人材派遣会社(社員)	・新型コロナウイルス変異株の猛威により、経済活動の停滞がどの程度長引くか見通せない。	
		アウトソーシング企業(社員)	・ワクチンの接種率が上がっているが、感染者数も増えるという状況で、コロナ禍の影響がいつまで続くのか分からない。	
		新聞社[求人広告](担当者)	・新型コロナウイルス感染症の急拡大を受け、県が当地の飲食店に対し営業時間の短縮を初要請している。飲食業、観光業への影響は大きい。	
		職業安定所(職員)	・ワクチン接種が始まっているが、それでもなお感染者数が増加傾向となっているため、人流抑制の政策が採られた場合に採用時期の先延ばしなど、経済活動が縮小せざるを得ない。	
		×	人材派遣会社(社員)	・緊急事態宣言の影響で、北日本はお祭りシーズンの時期にもかかわらず、飲食含め非常に厳しい状況である。今後その影響が数字として出てくるとみられる。
		×	新聞社[求人広告](担当者)	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響は続く。
	×	新聞社[求人広告](担当者)	・緊急事態宣言の発出に伴い、10～11月で予定していた事業の縮小や中止が決定されるなど、大きな影響が出始めている。今後、同様の対応は一層増え、景気の悪化が激しくなると予想している。	
	×	学校[専門学校]	・新型コロナウイルス感染者数が増加し、県独自の緊急事態宣言が発出されている。感染者数は増加傾向で、まん延防止等重点措置適用の要請もしている。対象地域となれば景気悪化の要因になると考えられる。	

### 3. 北関東(地域別調査機関:株式会社日本経済研究所)

(-:回答が存在しない、\*:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)		一般レストラン(経営者)	・今は最悪の状態なので、これ以上悪くなることはない。
		百貨店(店長)	・東京都心及び当県の新型コロナウイルスの新規感染者数が一定レベルで減少し、緊急事態宣言が解除されれば、徐々にではあるだろうが、来店客数が増加し、売上も現状よりは増大する。
		コンビニ(経営者)	・気温が8月ほど低くなかったり、新型コロナウイルスが多少収束すれば、やや良くなるのではないかと期待している。
		コンビニ(店長)	・今月が悪過ぎたので、9月からプレミアム付商品券が発行され、その効果が残り、やや良くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・新型コロナウイルスワクチンの普及と会食マナーの徹底で、最悪の状況から脱出し、少人数の会食から回復すると思われる。
		都市型ホテル（支配人）	・若い世代への新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことを願っている。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、10～11月は修学旅行や遠足があるため、現状より良くなる見込みである。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率の改善で、緊急事態宣言解除後に、消費の回復が期待できる。
		通信会社（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大第5波の収束が前提であるが、商材のモデルチェンジの時期で、販売増加が見込めるため、やや良くなる。
		設計事務所（所長）	・ワクチン接種率が上がり、新型コロナウイルスの感染状況が良い方向に向かえば、再び景気は上昇するのではないかと。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・新型コロナウイルスが収束するまでは、余り変わりはない。街なかでもいろいろ新店舗が開店したが、まだ人の動きが悪いので、変わりはない。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・新型コロナウイルスの変異株が収まらない限り、今の状態が続いていくものと思われる。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスワクチン接種率の上昇が、消費行動への心理的なプラスになると思われる。ただし、変異株の感染拡大等、依然として先行きは不透明である。向こう数か月で景況改善は見込めない。
		百貨店（営業担当）	・今後の見通しが立たず、厳しい状況に変わりはない。基本的に店舗に集客して売上を作る業種業態であるため、新型コロナウイルス禍の収束が待たれる。
		スーパー（商品部担当）	・夏休みやお盆期間など、前年同様で大きな変化が見られない。人の動き方や生活スタイルは前年と変化がないようである。新型コロナウイルスのワクチン接種率も上昇傾向にはあるものの、先行き不透明な部分が多いため、経済状況に変化があるとは思えない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス禍のなかで、イベント等も行われないうえ、客の動きや来客数、客単価等は、今後もそれほど変わらない。
		コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言発出に伴い、学生や児童の新学期開始時期の変更等、身の回りの生活に合わせて発注を見直している。企業でリモートワークが定着化してきている影響で、今後も売上の大きな上昇は見込めない。しかし、現場職の方は新型コロナウイルスのワクチン接種をしたことで、以前同様の出勤に戻ってきた感じがある。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、ほぼ今と変わらない状況になるのではないかと。
		衣料品専門店（統括）	・新型コロナウイルスはなかなか収束せず、今年もいまだに変わらない。早く終息して、景気の良い時代になればと思っている。
		衣料品専門店（販売担当）	・具体的な対策がないまま1年半以上も過ぎて、人流が止められ、お金もそこでストップしているため、景気ウォッチャーの意味があるのかどうかと疑問が生じている。目前の、我々の権利である選挙で、それなりの覚悟を持った能力のある人を選ばないと、景気ウォッチャーもやる意味がなくなってしまうのではないかと。
		乗用車販売店（販売担当）	・3か月先に新型コロナウイルスが終息していれば、その後、半年くらいたって景気も良くなるだろう。ただし、現状、ホテル、ドライブイン、レストラン、食堂関係が全くとってよいほど落ち込んでいるので、当社もあおりを食っている。他人事ではないが、新型コロナウイルス禍が落ち着くまでは、観光地なので景気は良くならない。
		自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で大変ムードが良くない。先が見えないことが非常に不安で、外出したり、楽しむことがないので、車の購入などに対する愛情、愛着、喜び等、前向きさが欠けている。
		住関連専門店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるが、地域によって接種率が上がっていないため、依然として景気は良くならない。また、変異株への有効策がないため、状況は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住関連専門店（仕入担当）	・新型コロナウイルスの収束までは、縮小均衡の機運が続く。リベンジ消費の実現までには、まだしばらく時間が掛かる。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・今のままでは同じことの繰り返しになると予想する。営業形態を大幅に変えるなど、何か考えなければならない時期がもしれない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数がもう少し減らないことには、こちらがどんな手を打っても、来客数の増加は難しい。テイクアウト売上も伸びていない。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・緊急事態宣言が再発出されたこともあり、消費者の意識がすぐに改善されることはなく、現状が当面続くのではないが。現状の長期化で、各自のライフスタイルが定着し、それに適応していかなければ、ばん回は難しくなっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言の対象地域となり、少数あった会議や宴会案件もほとんどがキャンセルされている。レストランのランチ営業も客足は鈍くなっており、ディナー利用はほとんどない。宿泊は、前年は中止になっていた各種スポーツイベントの一部が開催されているので、下支えになっているものの、ビジネス利用は減っているため、先行きは不安である。
		都市型ホテル（総支配人）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでも、しばらく予約状況は様子見である。今年いっぱい、このような感じが続くのではないか。料飲部門は、人件費も含めて経費配分の見直しを以前から進めているが、それでも厳しい。
		旅行代理店（所長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が徐々に進んでいるものの、ブレイクスルー感染も取りざたされており、ワクチン接種の進捗イコール新型コロナウイルスの終息とは思えない。全く先行きが見通せない状況である。
		タクシー（経営者）	・全体的に人の動きが悪いので、この先も良くない。
		通信会社（社員）	・新型コロナウイルス禍で、営業活動の自粛やテレワークのWi-Fi環境設定も、落ち着いてきた感じである。
		通信会社（局長）	・緊急事態宣言が再発出されて閉塞感はあるが、新型コロナウイルスワクチン接種の効果に期待したい。
		ゴルフ練習場（経営者）	・新型コロナウイルス感染対策で、しばらく飲食店が開けない場合は、現状のまま変わらない。
		競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大第5波が収まり、緊急事態宣言が解除され、ワクチン接種者の増加スピードが上がれば、見通しも良くなると思われるが、今後もこの感染拡大の波が繰り返されると感じている。
		設計事務所（所長）	・緊急事態宣言が解除されても、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んで、感染者が減少しない限り、景気は上向かない。
		商店街（代表者）	・東京オリンピック・パラリンピックが無観客で開催され、地方には経済効果が全くないが、秋の体育祭や運動会等、地方の人々の楽しみが、実行できるかどうかによると思う。
		家電量販店（店長）	・これ以上、新型コロナウイルスの感染者数が増えれば、影響が出てくる。
		家電量販店（営業担当）	・イベント等もなく、物が動くことに期待できない。まだしばらくは厳しい状況が続く。
		乗用車販売店（統括）	・新型コロナウイルスの感染拡大はまだ収束しないと予想される。
		その他専門店〔燃料〕（従業員）	・受注が減少し、受注残も大きく減少している。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がまだうまくいっていない上に、選挙等の不安要素もあり、今後、しばらくは先の見えない状態が続く。
		美容室（経営者）	・予算を組んだだけで出し惜しみをしている場合ではない。緊急事態に慣れてしまっているのは、支持されない内閣の方である。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がまだ続くと思うので、客に関しては不確定な要素が多過ぎる。販売は減少傾向になると思う。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般小売店〔土産〕 (経営者)	・今月に入り、当県でも、まん延防止等重点措置、緊急事態宣言が発出されたが、その前後での来客数や売上は、ほとんど変わらない。このまま感染状況の改善が見込めない場合、旅行などレジャーを楽しもうという雰囲気も醸成されず、当店のような観光業は大変厳しい状況が続くという見方が、同業の店主の多勢を占めている。また、児童、生徒間でも新型コロナウイルス変異株がまん延しつつあり、夏前に復調傾向にあった修学旅行や遠足等も厳しい状況になるだろうとの見方が多い。
	×	コンビニ(経営者)	・今月初めは大きなイベントがあり、いろいろと商材が動いたが、今後はイベントがなくなるので悪くなる。
	×	家電量販店(店員)	・緊急事態宣言発出があり、消費マインドは低い。給付金等の支援策がないと、不安で消費に気持ちが向かない。
	×	乗用車販売店(経営者)	・緊急事態宣言の発出で外出がめっきり減り、一部の大規模小売店を除き、従来の50%にも満たないのではないかと。地域の自動車メーカーは、現時点では80~90%の稼働率と思われるが、サプライヤーチェーンは東南アジアに生産拠点が点在しているため、新型コロナウイルス禍、半導体不足、さらには船便等の遅れで、減産を余儀なくされるのではないかと。
	×	乗用車販売店(販売担当)	・来月から展示会もやらない。会社も営業時間を短縮する予定で、今後、販売や修理、サービス等の在庫も少なくなるのは目に見えている。近隣の同業者も皆、展示会をやらないそうなので、良くなることはなく、段々悪くなる。
	×	その他専門店〔靴小売業〕(経営者)	・客の状況を見ると、前年より食費以外の買物は相当控えているようである。現状より良くなるには、新型コロナウイルスの感染拡大が抑えられるしか道はないだろうかと。
	×	観光型ホテル(経営者)	・例年であれば、秋の紅葉シーズンで、多くの客が動く時期だが、新型コロナウイルスの変異株のまん延により、消費活動の大きい年配客の動きが悪くなると予想しており、来客数の増加は期待できない。
	×	都市型ホテル(経営者)	・新型コロナウイルスの影響による不景気が、いつまで続くか不明である。
	×	旅行代理店(従業員)	・旅行代理店のため、約款によるキャンセル料収受では、関係機関との契約上のキャンセル料を賄えないため、赤字案件が多数ある。業界としての約款改定を求めている。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスが収まるまで、何もできない。悪いままである。
	×	タクシー(役員)	・国の新型コロナウイルス対策はどうしようもない。
	×	通信会社(経営者)	・全般に仕入れコストは上がってきているものの、売価に転嫁できない。
	×	通信会社(経営者)	・新型コロナウイルスワクチンの強制接種やワクチンパスポート発行までの景気対策をしない限り、感染拡大の波は収まらないだろう。
	×	テーマパーク(職員)	・観光業は、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し緊急事態宣言が解除されて一定期間がたたないと回復しない。そのため、秋以降も厳しい状況が続く。
企業 動向 関連 (北関東)		-	-
		窯業・土石製品製造業 (経営者)	・夏の暑さも終わり、これからは涼しい日が続くと思うので、需要が増えるのではないかと。
		金属製品製造業(経営者)	・調達担当等からは、今後3か月は現状のやや悪い状態と変わらないといわれている。
		輸送用機械器具製造業 (経営者)	・こここのところ、10社中7社くらいの割合で、取引先からの受注量が増えてきている。今後、10社中10社になれば良いと思っている。
		化学工業(経営者)	・目先に良い材料が乏しく、動きが少ないのではないかと考えている。
		窯業・土石製品製造業 (総務担当)	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発出で、仕事に支障が出てきている会社がちらほら聞かれるので、ちょっと心配である。
		金属製品製造業(経営者)	・取引先の親会社の様子が安定しないので、心配である。新型コロナウイルスワクチン接種の副反応が、仕事に影響している。若い人ほど接種後の状態が悪く休んでしまうので、仕事の予定が立たず、困っている。
		その他製造業〔消防用品〕 (営業担当)	・新型コロナウイルスの影響がまだ残ると考えている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（営業担当）	・9月に入ると、夏物から秋冬家電に移り変わり、秋冬商材の物量が増える季節だが、残暑も続きそうで予定が少し遅くなりそうである。レジャー、バーベキュー、園芸用品等の商材は、前年並みの物量を確保する予定である。
		不動産業（管理担当）	・まだ先の様子を見ながらではあるが、取引先などで新型コロナウイルス感染のクラスター等が発生してしばらく作業できないというようなことがなければ、感染対策をした上で、従来どおりの定期作業ができる。
		経営コンサルタント	・東京オリンピック・パラリンピックが終わって、大きなイベントがなくなった後、新型コロナウイルス禍の現状から大きく改善することは考えにくい。引き続き、地域経済は停滞あるいは後退し、冬の時期が続く。
		司法書士	・良くなることはないと思っている。余り変わらないのではないか。
		社会保険労務士	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進んでいるだろうが、人流が回復しないなかで最低賃金だけ上がると、景気は余計に悪くなる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルス禍による、国際的サプライチェーン断絶の影響は一層広がり、計画どおりの生産に戻るのには簡単ではない見込みである。自動車以外分野にも影響が広がるのではないかと、懸念している。
		建設業（総務担当）	・公共工事の発注見通しにもさほど件数はなく、民間の動きも悪い。
		広告代理店（営業担当）	・飲食サービス業はもとより、関連する取引先も含めて、長引く新型コロナウイルスの影響で、持ちこたえられないところが増えてきている。
		その他サービス業 [情報サービス]（経営者）	・商談件数、受注量共に、一服感があり、鈍化してきている。情報化投資を様子見する企業も出てきている。
		×	電気機械器具製造業（経営者）
	×	建設業（開発担当）	・今期公共工事は前年比13%減と厳しいスタートである。新型コロナウイルス禍で、感染者も大変多く、今後もまだしばらくは厳しい。現在は東京パラリンピックが開催されており、毎日感動し、希望をもらいながら過ごしている。選手には感謝したい。
雇用 関連  (北関東)		-	-
		学校 [専門学校]（副校長）	・現時点では、学生の新型コロナウイルスのワクチン接種は進んでいないが、今後は進んでいく。状況次第では教育活動の範囲も広がり、経済活動への好影響に少しはつながるのではないか。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスが感染拡大するなか、ワクチン接種も遅れているため、不安ばかりが募り、街も元気がない状態が続いている。一部製造業以外の取引先の求人状況が好転してくるにはまだ時間が掛かる。
		職業安定所（職員）	・7月下旬以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響が出てくるのではないか。
		人材派遣会社（経営者）	・異常気象等による災害復旧で、人員を取られるケースがあると思うが、作物にも影響が出てくるので、幾分物価が上がったり、消費へも影響が出る。建築関連の人手確保はなかなか難しい。生産工場も先が見えない状態で、人員を維持していることと思われる。
		職業安定所（職員）	・半導体不足による自動車産業の減産で、部品製造業にも影響が出ると見込まれる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	人材派遣会社（管理担当）	・自動車部品の半導体が入荷せず、自動車関連の派遣予定数が減少するため、悪くなる。

#### 4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (南関東)		スーパー（経営者）	・近所の同業他社の撤退で、良くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・政府の方針に沿ってここまでやってきているのだから、年末に向けて新型コロナウイルスが終息することを信じるしかない。当然、年末は人流も増えることから、状況は改善する。
		旅行代理店（販売促進担当）	・2～3か月後は教育旅行がシーズンを迎える。もちろん新型コロナウイルスの影響はあるものの、春の延期分が秋以降に実施されるので、その分が期待できる。また、これも感染状況次第だが、例年どおり秋は旅行シーズンなので、個人旅行の国内、近場の動きも増えてくと予想している（東京都）。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がり、現在の変異株の感染状況がピークアウトしていることが前提である。この新型コロナウイルスの感染動向は誰も正確なことを言えないので、状況証拠を頼りに推測している。不安材料としては、人流をどこかで抑えていかないと、短期的には景気の浮揚がみられるが、感染の大波が起こった後に大ダメージを受けるので、割に合わない（東京都）。
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・店頭部はともかく、外商部に関しては、9月、10月と大型案件が立て続けにあるため、今後はある程度良くなるのではないかと。店頭部は新型コロナウイルスの影響でなかなか客が来店しないと見込まれるため、大手を振って良かったともいえない。全て今後の感染状況次第である。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進展により、多少は好転するかもしれない。クリスマス商戦に期待している（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が広く実施されることを前提として、年末商戦を迎え、現況でも好調な高級雑貨、特選ブランド領域の売上が伸長し、ギフト需要においても客単価アップの傾向に動くかと予測している（東京都）。
		百貨店（経営企画担当）	・新型コロナウイルス感染の先行きの見通しは立っていないが、現状よりは改善されると期待している。ただし、前年を捉えるまでの復調は困難と思われる（東京都）。
		百貨店（店長）	・不確実性が高いため何ともいえないが、新型コロナウイルスのワクチン接種による集団免疫獲得によって、多少改善するものと期待している。10月はまだ戻らず、11月後半～12月に掛けてようやく状況が多少改善するのではないかと、現状では見立てている（東京都）。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種やカクテル療法の進捗により新規感染者数の減少がみられれば、一定の景気回復は図られる。
		百貨店（財務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率等が更に高まり、緊急事態宣言が解除されれば、やや改善すると想定している（東京都）。
		百貨店（管理担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、街に人出が増えてくる可能性がある（東京都）。
		スーパー（経営者）	・1つは青果の相場が改善し、やや高くなってきていて、果物類の動きも良くなっていることであるが、やはり何といても新型コロナウイルスの影響である。学校がなかなか始まらない状況になると、家庭での食事が増えてくるので、我々にとっては追い風となる。2～3か月は良いのではないかと。
			コンビニ（経営者）
		家電量販店（店員）	・年末に掛けて、多少の回復が予想される。
		住関連専門店（営業担当）	・長期的には、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展が進むことで、景気回復につながるものとみている（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔雑貨〕 （営業担当）	・3か月後には新型コロナウイルスのワクチン接種率が上がり、緊急事態宣言やまん延防止などが解除されている状態だと考えている（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、新規感染者数が減り、多少アルコールが出せるようになり、営業ができるようになれば、多少は良くなると思うが、実質の売上になるまでには相当時間が掛かる。
		一般レストラン（経営者）	・今月は新型コロナウイルスの感染再拡大の影響で緊急事態宣言が再発出中であり、5店舗中4店舗を休業し、大変厳しい状況である。頼みはワクチン接種の進み具合に掛かっている（東京都）。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・新体制が定着している状況を踏まえると、多少の売上減少は避けられないものの、回復途上の利益に大きな影響を与えることはないものとみている（東京都）。
		都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んで、感染拡大が収束に向かえば良くなると思うが、現状では緊急事態宣言が9月12日で解除されるか非常に疑問である。更に延長ということになれば、最悪の状況になるのではないかと危惧している。打開策もないまま時が過ぎており、この先かなり厳しい局面を迎えるのではないかと。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが行き渡りつつあり、徐々にふだんの生活が戻ってくる（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・お盆休み、夏休みの人の移動に伴って増加した新型コロナウイルス新規感染者数は徐々に減少してくるはずであり、契約数は回復傾向に転じる。
		通信会社（局長）	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種率が向上すれば、社会全体で経済が回り始める。客との接点が増えることでサービス加入数も並行して上向く（東京都）。
		通信会社（経営企画担当）	・現在の案件数や商談数が数か月は増加傾向で推移すると予想している。ただし、新型コロナウイルス感染者数の増加や緊急事態宣言の範囲拡大の影響に左右される恐れがある（東京都）。
		その他レジャー施設〔総合〕（広報担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種者が増え、新規感染者数が減少することで、回復に向かうと思いたい（東京都）。
		その他レジャー施設〔複合文化施設〕（財務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率向上により、新規感染者数の抑制が予想される（東京都）。
		住宅販売会社（従業員）	・9月決算に向けて多少上向きになる。
		住宅販売会社（従業員）	・今後は秋に向けて良くなっていく。需要がこのまま続くとは思えないので、土地の仕入れもしやすくなる。戸建ては勢いが落ちてくると思うが、収益物件は良くなる。
		住宅販売会社（従業員）	・受注の拡大は売上、利益の増加に直結する。
		その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・本来の建材需要期に加えて、これまでの建築現場の遅れを取り戻す案件が増える見込みであり、例年以上の販売となる（東京都）。
		商店街（代表者）	・もう何か月もこのような状況が続いており、売上が2～3割減っている。この先回復するかというと、今の新型コロナウイルスの新規感染者数がなかなか減らない状況を見ると、難しいのではないかと。非常に不安に感じる。
		一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・緊急事態宣言が延長され、新型コロナウイルスの感染者数もまだまだ増加傾向にあるため、9月に入っても売上が見込めないのではないかと。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響で、来客数が極端に減っている。所得も多い人と少ない人との格差が生じている。
		一般小売店〔家具〕（経営者）	・これから先も変わらない。このまま良くなるという感じはしないので、どのように経営していくかを考えなければならぬ（東京都）。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・特に今の当業界に関しては、技術的なことにこだわるより、インターネット販売で、必要な物が短時間のうちに、外に出ないで手に入るという状況が続いており、今後もそれが定着してしまうのではないかと懸念がある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔祭用品〕 (経営者)	・当社の性質上、祭りやイベント中止の影響が大きく、飲食店の需要も経営に響いてくる。普通の生活に戻り、イベント等が開催され、飲食店にも活気が戻らないと、良くはならない。
		一般小売店〔文房具〕 (経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んではいないものの、感染に対する警戒感が急になるわけではなく、今後も外出を控える傾向は続く。来街者や来店客が増加することではなく、なかなか売上に繋がらない(東京都)。
		一般小売店〔傘〕(店長)	・良くなる材料が見当たらない。
		一般小売店〔生花〕 (店員)	・新型コロナウイルスが発生してから、ずっと悪いままで横ばいであり、明るい展開が見込めないように感じている。本当に困ったものである(東京都)。
		一般小売店〔茶〕(営業担当)	・今のままでは変わらない。緊急事態宣言が解除されてみないことには、何とも言えない(東京都)。
		百貨店(総務担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染状況が好転することを期待していたが、現状を考えると大きな改善は見込めない。
		百貨店(総務担当)	・新型コロナウイルス終息の具体的な実感が得られるまでは、先行きは見通せないと感じている。いつかは良くなるのではないかと常に思っているものの、その具体的な根拠が見いだせないまま、長い時間が経過している(東京都)。
		百貨店(広報担当)	・新型コロナウイルス変異株の強力な感染力を背景に、劇的な状況の改善は期待できないし、ワクチン接種のスピードも十分とは言えないなかで、消費マインド向上への好材料は見当たらない。一方で、更に一段落ちるといふ与件も現時点では見えないため、大きな変化はない(東京都)。
		百貨店(営業担当)	・新型コロナウイルス変異株のまん延により、従来は発生していなかった場所でクラスターが発生しており、消費者動向の停滞が予測される(東京都)。
		百貨店(販売促進担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大は止まらず、緊急事態宣言も期限延長、範囲拡大と状況の改善がみられず、先行きは全く見通せない(東京都)。
		百貨店(販売促進担当)	・前月までは新型コロナウイルスのワクチン接種の進展により、客の外出機会が増えることで期待感があつたものの、8月2日から緊急事態宣言の対象地域に追加され、更に期限が9月12日まで延長となっている。緊急事態宣言の動向次第と言えるが、店舗が所在する市内の感染者数の推移をみると、急速に回復するとは考えられず、景気は変わらない。
		百貨店(販売促進担当)	・東京都は緊急事態宣言が常態化しており、冬に向けて消費者がポジティブな行動計画を立てられるとは思えない。イエナ力需要は前年にある程度刈取り済みであり、お出掛け需要の冬物コートなどは売上伸長が見込めず、厳しい商況が予想される(東京都)。
		スーパー(販売担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のための緊急事態宣言が発出されており、営業時間が短縮されている分、売上が減っている。前年を大きく下回る状況がずっと続いており、今後も変わらない(東京都)。
		スーパー(経営者)	・緊急事態宣言に慣れて、売上、販売量共に変化はない。当社は食品スーパーマーケットだが、必需品のため、余り変化はないとみている。
		スーパー(店長)	・3か月後も今と変わらない。売上はそこそこいくが、前年割れの予算なので、当然である。ところが、粗利率が全く伸びていないので、売上は達成するも利益が取れないという構図が今後も続くのではないかと(東京都)。
		スーパー(店長)	・今の状態は緊急事態宣言の影響によるものであるため、解除後の動向が不明である。しかしながら、内食需要は引き続き堅調に推移するため、売上等の大きな落ち込みはないものとみている。
		スーパー(店長)	・消費者には節約志向が依然として根付いており、新型コロナウイルスの感染拡大により収入に影響が出ている世帯も多いと思われるので、当面は厳しい状況が続く(東京都)。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスが終息しないと、なかなか客の動きが出てこない。外出を含めて、客の動きが停滞していることで、購買意欲が上がっていかない。食料品は前年並みの数字で推移すると思うが、大きくイベント性のあるものや行楽等の面で、衣料品、住まいの品の売上減少分をなかなかカバーできない状況が続く。
		スーパー（総務担当）	・お金を使わなくても良い生活になっていきそうである。悪いことではないが、お金が回らなくなる。
		スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むにつれて、来店回数は増えてくるが、その分買上単価が下がり、相殺されるのではないかと想定している（東京都）。
		スーパー（ネット宅配担当）	・新型コロナウイルスの感染状況により変わると思うが、食料品への支出は大きくは下がらない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス禍のなかでどうなるかというのは非常に難しいが、前年比では下がっているのだから、変わらない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で人の流れが減っている（東京都）。
		コンビニ（経営者）	・最低賃金が高くなると、当店のよう店では雇用人数を少し減らしたりしなければならぬので、余り上向きとは思えない。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大状況に歯止めが掛からないと、客足が回復するのは難しいのではないかと（東京都）。
		コンビニ（商品開発担当）	・まだまだ先が不透明な状況で、景気もすぐには良化してこない（東京都）。
		衣料品専門店（経営者）	・緊急事態宣言が解除されないと売れない。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるが、新たな変異株が出てきており、緊急事態宣言の解除がいつになるか見通しが立たない（東京都）。
		衣料品専門店（役員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進んでいるが、感染者数がこれだけ増えると、外出する機会は減っていく。秋冬物衣料は厳しくなる。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことにより景気が回復することを期待したいところだが、お金を使う先は飲食や旅行が優先になると予想している（東京都）。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種によって感染収束のめどが立つことに期待したい（東京都）。
		家電量販店（経営企画担当）	・全国民の新型コロナウイルスのワクチン接種率が4割を超える水準となっても、変異株の優位が続く現状では、楽観シナリオを描けない（東京都）。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調に入っている。販売も、前月までは余り良くなかったが、今月から徐々に良くなっていきそうである。
		乗用車販売店（営業担当）	・自動車や部品の納期が掛かり、先行きが不透明である。
		乗用車販売店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着くまでは、厳しい環境が続くと予想している。
		乗用車販売店（店長代行）	・新型コロナウイルスの影響で車の生産が遅れており、販売しても納車ができず、売上にできる車が少なくなっている（東京都）。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・来店せずに完結する商売には弱いので、新型コロナウイルスのワクチン接種が浸透して、人流が戻ってくれば良くなる。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・消費がどうも余り上がらないので、これからも変わらない気がする。
		その他専門店〔貴金属〕（統括）	・自社も含めて、新型コロナウイルス感染者が発生すると休業ということが繰り返される限り、販売量は現状のまま変わらない（東京都）。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（団体役員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が決め手にならないとすると、景気回復は難しい（東京都）。
		高級レストラン（営業担当）	・11月～年末の時期にはある程度回復すると考えている（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		高級レストラン（仕入担当）	・緊急事態宣言が延長されている現状から、2～3か月で景気が回復するとは思えず、もう少し時間が掛かる（東京都）。
		高級レストラン（役員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない現状から、緊急事態宣言の更なる延長も十分に考えられる。感染者数が減少し、緊急事態宣言が解除されない限りは良くならない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・今の状況から見て、新型コロナウイルス感染について、年内は同様に推移すると考えているので、売上等はもちろん期待できない。どれだけ我慢が続くかが問題である（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・若い人の新型コロナウイルスのワクチン接種が少しずつ進んでいるが、当店の客層自体が余り若年層ではない。年配者は、感染拡大が収まるまでは、やはり外出を控えるのではないかと（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・緊急事態宣言の期限は9月12日までなので、12日以降、緊急事態宣言が解除され、まん延防止等重点措置に移行し、アルコールも提供できるようになれば、やはり客単価も良くなり売上も伸びてくる。毎日店を開けて頑張っているが、この先どうなっていくのか本当に不安で、モチベーションが下がる一方である（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・東京パラリンピック終了後の新型コロナウイルス感染者数の状況にもよるが、現状がまだしばらく続く（東京都）。
		一般レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染状況がどうなるかわからない。
		その他飲食[居酒屋]（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が変わるか、劇的な改善策が出ない限りは変わらない（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染が全く収まらないので、しばらくこの状況が続く。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、現状から抜け出すのは無理なので、景気回復はやや遅れがちになる。
		旅行代理店（従業員）	・旅行業界は、新型コロナウイルスのワクチン接種と、前年実施したGo To Travelキャンペーンの再開がないと、景気は戻ってこない（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進んでいるが、変異株による感染拡大は止まることがない。先行きが不透明で、旅行需要が増える見込みはない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染拡大と対策がちぐはぐで空回りしていて、非常に歯がゆい。思い切ったことをしてほしい。とても困っている。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの変異株への置き換わりが進むなかで、首都圏は感染拡大の継続が避けられない状況で、経済も好転しないと思うので、しばらくは悪い（東京都）。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染者数がそれほど減らない。ワクチンで多少は重症者が減ると思うが、今の状況では将来的にどうなるかわからない（東京都）。
		タクシー（団体役員）	・これ以上落ち込むと、事業を継続できない。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大の動向やワクチン接種の進捗状況にもよるが、劇的な改善は見込めないで、現状と余り変わらないまま推移する（東京都）。
		通信会社（社員）	・改善される見込みがない（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことにより、徐々に消費意欲が改善すると思われるが、秋から冬にかけて、再度感染拡大する懸念もあり、楽観視は全くできない。
		通信会社（管理担当）	・地域的な傾向は、日々報道されている新型コロナウイルス感染状況とリンクしている。拠点別でも、関東での感染例が目立っており、大型の支店は関東に集中していることから、営業への影響は小さくない。
		通信会社（営業担当）	・良くなる材料がない。
		通信会社（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響で、秋のイベント等が軒並み中止になってしまっている。明るい方向へ変わる材料が見当たらない。
		通信会社（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進展が遅く、変異株のまん延により、訪問営業機会の回復がいまだに見込めない（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、少しずつ平常に戻っていくような気がする。
		パチンコ店（経営者）	・8月のお盆休み明け以降、後半は目に見えて客足が遠のき始めている。現状9月12日までの緊急事態宣言も更なる延長が予想される。新型コロナウイルスの感染状況によって今後の景況は変わってくると考えられるが、現時点では横ばいではないか。
		競輪場（職員）	・特に新しい施策がなく、いろいろと対応はしているものの、良い打ち手が見当たらない。
		その他レジャー施設 【ボウリング場】（支配人）	・東京オリンピック・パラリンピックが終わり、その後の政府の対策に不安が残る（東京都）。
		その他サービス【立体駐車場】（経営者）	・数か月間悪い状態が続いており、良くなる気配がない。
		設計事務所（経営者）	・新しい案件が入ってきていない。
		設計事務所（経営者）	・社会全体が閉塞感に覆われている感じがする。改修設計でも、工事範囲を必要最小限に絞るなど、広がりが見えない。しばらくは今の状況が続くそうである。
		設計事務所（所長）	・建材等は多少上がり気味で、予算がつかめない状態である。このような場合、施主としてもどちらに進んでよいか分からず、そのまま止めてある状態で、良くなるか判断がつかない（東京都）。
		設計事務所（職員）	・民間動向の回復次第である（東京都）。
		住宅販売会社（経営者）	・現在も新型コロナウイルスの感染者数が非常に増えており、収束しない限り、現在の不況は続く。早くワクチンと治療薬が普及しないと、景気は元に戻らない。
		その他住宅【住宅管理・リフォーム】（経営者）	・かなり厳しい状況のまま、変わらない。とにかく、1日も早く新型コロナウイルスが終息してくれることを願うばかりである。
		商店街（代表者）	・8月から急激に販売量が減少してきている。原因が分からないが、テレワークが影響しているのではないかと。
		一般小売店【家電】（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響で、キャンペーンなどもなかなか思うようにはいかず、イベントの開催もまだ望めない。
		一般小売店【米穀】（経営者）	・社会情勢を見ても、まだ平常の生活に戻り切っていないため、新型コロナウイルスと社会的な不安定から、まだまだ明るい材料が見つからない（東京都）。
		一般小売店【酒類】（経営者）	・客から、仕事量が減ってきたとか、収入が減ってきたという話を聞いている。
		一般小売店【眼鏡】（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率が70%を超えないと感染者数は減らない。10～11月には70%を達成してほしいと願っている。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、人流抑制の取組も強化されると思われるため、消費行動はしばらく消極的な方向に進む（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加、医療体制の逼迫により、今後も来客数の増加は期待できない。合わせて東京都から時短営業の継続、唯一好調な食料品売場での入場規制の要請が来るなど、厳しい状況が当分継続する（東京都）。
		百貨店（企画宣伝担当）	・緊急事態宣言の効果があるとは思えず、東京パラリンピック終了後、都市封鎖を含め、現状以上に行動を制限する行政の指針が発出されると考えている。
		スーパー（仕入担当）	・新型コロナウイルスの収束が見えず、収入が減り、節約生活が続く。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染が拡大している。
		衣料品専門店（経営者）	・8月は元々それほど動かないが、例年に増して静かな月になっている。緊急事態宣言の期限延長で、9月の販売会も全部中止になり、全く見通しが見えない。
		衣料品専門店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数がまだまだ多いため、先行きは悪いままである。
		家電量販店（店員）	・家電業界全体的に、東京オリンピックが終わり、特にイベントもないので、上昇するよりは、前年の特別定額給付金による売上増加の反動があるのではないかと。
		乗用車販売店（経営者）	・メーカーの新車生産量が減少している影響で、納期未定の状態が続いており、引き続き新車の販売量が落ち込む。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（販売担当）	・東京オリンピック・パラリンピック開催により、多少なりとも景気に刺激があって良かったが、今後はそういうものがない。また、新型コロナウイルスがまだ完全に終息せず、移動などが規制されているなかでは、基本的な経済活動のための移動がなくなるので、良くなるようには思えない（東京都）。
		乗用車販売店（店長）	・車の納期遅延の影響があり、先行きが不安である。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでも、そこまで変わらない（東京都）。
		住関連専門店（統括）	・外出自粛の傾向が定着しており、来客数と販売量の減少がなかなか止まることのないまま推移している。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・現状が続く、経済対策が打たれなければ、更に悪化に拍車がかかる（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・このまま時短営業が続いて、お酒が出せないようなら、恐らく今よりもっと悪くなっていく。今でも夜はほとんど客が来ない状態が続いているが、2～3か月先も同じなら、かなり悪くなる。
		その他飲食〔カフェ〕（経営者）	・数か月前は、新型コロナウイルスのワクチンも行き渡り、徐々に感染が収束に向かっていく兆しを感じ、希望もあったが、今現在良くなる兆しは感じられない。学校が始まり、新型コロナウイルス感染が更に拡大していく。もし感染したら死を覚悟しないといけないのではないかとすら思うような医療現場のひっ迫状況もある。毎日会社と家の往復で、変化のない日常生活や人とのコミュニケーションのない状態が続く、人々の心が疲弊し、笑顔や元気がなくなってきている。メディアも総理大臣が悪いなどと言っている場合ではなく、明るく前向きな情報を流して心だけでも笑顔にし、国民全体が一致団結するときではないだろうか（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言が再び延長となり、2～3か月先の案件のキャンセルや延期が相次いでいる。自粛疲れからか販売が回復していた宿泊も、政府からの強い要請により新規の引き合いがほぼなくなり、直近でのレストラン利用も年配客を中心に利用控えが起きている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・東京オリンピック・パラリンピックが終了し、大会関係者の需要がなくなること、引き続き新型コロナウイルスの感染状況が不透明なことから、やや悪くなる（東京都）。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスが感染拡大している。また、緊急事態宣言の対象地域が拡大することで、売上が更に減少している（東京都）。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染が拡大している（東京都）。
		タクシー運転手	・緊急事態宣言の下でリモートワークが増えており、昼間のサラリーマン客が全く増えていない。一方で、下町等の客は、近距離だが、暑さから安定して利用してくれている。アプリで呼んでくれる客もやや増えている。長距離の客はどんどん減っているが、近距離の客はまあまあというところである（東京都）。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進んでいるが、感染力の強い変異株により新規感染者数が増えており、この先まだ景気が上向くとは思えない（東京都）。
		通信会社（社員）	・下期の番組編成で、スポンサーの減少があり、売上減少は必至となっている。また、新型コロナウイルスの終息が見えていない影響で、前年同様にイベントの計画も断念している状況で、売上向上の見込みが立てられない（東京都）。
		通信会社（管理担当）	・緊急事態宣言により購入意欲が減衰している。
		通信会社（営業担当）	・当社の場合、非対面型営業を確立しないと、契約者数が減り、景気が悪化する一方である（東京都）。
		美容室（経営者）	・早く新型コロナウイルスが収束してほしい。
		その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・この先、新型コロナウイルスの影響が顕著になり、最悪の結果となる。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・子供への感染力も強い新型コロナウイルス変異株の流行で、この先は不透明な状況が続くため、影響は避けられない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		設計事務所（経営者）	・現在の営業展開をどのように持って行けばいいの、方法が見つからない。出向いていってもなかなか相手にしてもらえないし、なるべく来ないでくれといわれるような状況が非常に増えている。人を通じて営業展開を考えているが、今はなかなか住宅を作ろうという営業もほとんどなくなっている。市町村の仕事も見えず、新しくチャレンジすることができない。何とかこの新型コロナウイルス感染症を早く収束し、営業ができる状況にならないかと考えている。
		設計事務所（所長）	・建設用木材の高騰などに左右される。したがって、これから先も新型コロナウイルスが終息しないことには次のステップに進めない。
		住宅販売会社（従業員）	・ここ4か月は景気がやや良い状況が続いていたが、新築の注文住宅の場合、住宅ローン減税の特例を受けられる契約期日が過ぎてしまうことや、グリーン住宅ポイント利用の申請期限も到来してしまうため、今後の販売量はやや悪くなるのではないかと考えている。
	×	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・18か月がたっても悪くなるばかりの政策、最初に決めた補助金等も見直すことなく、不公平さが1年以上続き、打撃を受けている業種とそうでない業種との差は開くばかりである。酒を提供し、深夜まで営業している店は盛況で、長引くほどに差は広がる。医療崩壊しているのに認めない政治家の無能さにあきれられる。こんなときに解散総選挙などんでもないことである。優先順位と金銭感覚のある企業家にかじを取ってもらいたい。
	×	百貨店（売場主任）	・このまま新型コロナウイルスの感染者数が増え続けると、自粛する人も多くなり、更に厳しい状況となる（東京都）。
	×	百貨店（販売促進担当）	・東京パラリンピック終了に伴い、規制を厳しくするのではないかと。ゴールが見えない（東京都）。
	×	コンビニ（経営者）	・社内で新型コロナウイルス陽性者や濃厚接触者が多数発生しており、今後も多発する懸念がある。営業の継続にも黄色信号が点滅している。
	×	コンビニ（経営者）	・先行きが不透明である。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言等の影響もあり、外に出るのが怖くなっているため、客が長時間店にいないことにもない。なかなかお金を使わなくなっており、こちらも大々的に販促活動を行うことができず、かなり厳しい。
	×	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染リスクを回避するために、メインターゲットである40代以上の家族連れの来店が激減している。
	×	乗用車販売店（渉外担当）	・自動車の生産の急激な落ち込みに比例して、販売台数も減る。
	×	その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・新型コロナウイルスが終息しなければ、あと2年程度は駄目なのではないかと（東京都）。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・近隣の医療崩壊のため、人の動きが鈍い。新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染者数が減少しないと、人が戻ってこない。
	×	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染が爆発的に拡大しており、収束が見えない。
	×	一般レストラン（経営者）	・今は緊急事態宣言下なので、当県では1日4万円の協力金が支給されるが、解除されても、それほど急に客は戻ってこない。政府には緊急事態宣言解除後の手立てについても考えてもらいたい。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスについては、3か月先までに終息あるいは明るい兆しが見えてくるとは思わない。加えて、気候変動による農作物の不作、新型コロナウイルス対策のロックダウン反対デモの頻発、米軍のアフガニスタンからの撤退が世界に与える影響等が今後多方面に及び、いずれは日本の政治経済にも悪影響が出る恐れがある。
	×	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでも、決定済み案件が蒸発する状況が強まってきている。中止や変更による手間ばかりが掛かり、収益はゼロという悪夢が当面続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	タクシー運転手	・緊急事態宣言が更に延長されているが、新型コロナウイルスの感染者数は増えるばかりで、ますます先が読めない。夜～深夜の利用が一気に減り、昼間どれだけ仕事ができるかに掛かっている。このような状況がいつまで続くのか、全く予想が立たない。
	×	ゴルフ場（従業員）	・日々の生活からマスクが必要なくなる日は来るのだろうか。新型コロナウイルス感染症の特効薬が開発されないと、景気回復は期待できないのではないか。人流が増えれば感染拡大につながってしまう今の状況では、悪くなると回答するしかない。
	×	ゴルフ場（経理担当）	・災害レベルと表現される新型コロナウイルスの感染拡大は、現政権による公衆衛生行政の大失策である。医療体制は崩壊し、ワクチン接種の普及を待つことしかできない状況で、ワクチン確保の失敗を棚に上げ、この期に及んでもなお飲食店だけを目の敵にした緊急事態宣言を延々と継続することで、感染拡大を国民の責任にすり替え、政府があたかも対策を講じているように装っているが、感染拡大の実態は政府の無為無策の挙げ句の人災そのものである。このような状況が継続している限りにおいては、新型コロナウイルス封じ込めによる景気回復を論ずる余地は到底ない。
	×	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・新規入会者はほぼなく、新しく面談に来た人も、新型コロナウイルスの影響から近くの前に行きたいと話していた。生徒が増える見込みがない。
企業 動向 関連		金融業（従業員）	・店内での飲食の敬遠が続いているが、テイクアウトやオンライン販売の増加に伴い、食品容器やダンボールの需要が高まっており、包装関係の事業者からは、最近では忙しくしているとの声が上がっている（東京都）。
(南関東)		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・例年、年末までは受注量が多くなる（東京都）。
		化学工業（総務担当）	・K字回復している業種への売上はほとんどないので、新型コロナウイルスが収束し、個人消費が回復してくれないと困る。
		金属製品製造業（経営者）	・営業活動に力を入れ、幅広い得意先に声を掛け、仕事の確保に努める。これを成し遂げられれば、良くなっていく。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスにも慣れが生じてきており、各社ともいろいろと工夫をしながら経済活動を行っているように見える。当社もオンライン会議などを多用してコミュニケーションをとっている（東京都）。
		建設業（従業員）	・見積もっていた段階のものが決まり始めている。
		通信業（広報担当）	・新型コロナウイルスの感染状況がやや改善傾向にあり、経済活動も徐々に正常化してくる（東京都）。
		金融業（役員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで、マインド面を含め、景気はやや良化していく。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・9月からの現場を受注しているので、売上が増える見込みである。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・引き合いは減っていない。人員不足で断る場合も出ている。仕事が忙しくなっている。
		食料品製造業（経営者）	・飲食店で自由にお酒が飲める状況にならない限りは、ずっと悪いままである（東京都）。
		食料品製造業（経営者）	・2～3か月では今の状況は変わらない。選挙対策で、大胆な経済対策を期待している。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・客と話していても、新型コロナウイルスやワクチンの話題ばかりで、仕事の話にはならない。今まで以上にいろいろな人と会っているが、仕事量は増えず、非常に少ない。
		化学工業（従業員）	・海外からの受注はこの先も順調にあるが、国内に関しては不透明である。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が一番大きい。2～3か月後ではまだ動き出さないとと思うので、大きくは変わらない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・化粧品容器、メイクアップ関連の受注に回復の兆しが見えない。基礎化粧品関連は何とか踏ん張っているものの、力強さに欠ける。医療品容器の受注は、海外工場がロックダウンの影響から抜け出せば勢いがつくが、時期がまだはっきりしない。
		金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大の懸念は相変わらず続くと思われるが、現状レベルの受注量は見込めそうである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況による。また、中小企業は納入先から価格引上げを認めてもらうことが難しいなか、10月に最低賃金の上昇があり、新型コロナウイルス禍で給与と支払が増えるため、利益確保が難しく、どうなっていくのか不安である。
		精密機械器具製造業（経営者）	・2～3か月先の内示受注量に大きな変化はみられない。ただし、東南アジアのサプライチェーンがぼろぼろの状態、生産量が20～30%台のため、日本の各産業に大きな影響を与えそうだとの情報取引先からあり、不安である。
		その他製造業〔靴〕（経営者）	・得意先でもいろいろ努力しているが、客を取ること自体に大変苦労しているため、我々の方にも同じような結果が出ている。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・新型コロナウイルス禍において、現在は大きな影響は出ていないものの、先々は不透明である（東京都）。
		輸送業（経営者）	・東京オリンピック・パラリンピックが終了し、通常の運行、稼働に戻るため、7～8月ほどの売上減少は生じないものと思われるが、取扱量の増加は望めず、先行きに明るさは見えない（東京都）。
		輸送業（経営者）	・良くも悪くも、景気が停滞しているという実感がある（東京都）。
		輸送業（総務担当）	・荷主の国内出荷量が低迷しており、輸出量もない。今後この状況は続いていく。
		不動産業（総務担当）	・新型コロナウイルスの終息が見通せない限り、現状に大きな変化はないと思われ、飲食店舗は体力勝負になっている（東京都）。
		税理士	・米国や中国の景気に加え、新型コロナウイルスの影響がある。業績が良い業種もあるが、小売業、飲食店等、皆非常に悪い。飲食店の中には補償金をもらってもうかっているところもあるかもしれないが、新型コロナウイルスが終息しないと、景気は戻らない（東京都）。
		社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない（東京都）。
		税理士	・衆議院選挙で景気回復の兆しが見えれば良いが、どうだろうか。景気回復の大胆な措置を期待しているが、大きく回復するとは思えない。
		経営コンサルタント	・中小製造業の景気は悪いままで推移すると見込まれる（東京都）。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・依頼件数は回復傾向にあるものの、取扱量の増加がみられず、現状が続くものと予想される。
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が2～3か月後に改善するか不透明な状態で、取引先も広告費などを控えると考えられる（東京都）。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・この先状況が好転するような気配は今のところ見えない。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・今月の法人の会社設立印の注文は2件だけである。1件は農業をしている人で、羽振りが良いようで2本の注文、もう1件は不動産関係からの1本で、合計3本だけであり、法人の方はやや下り坂かという少なさである。一番肝心な個人の来店客が非常に少なくなってきている。例年8月も若干落ちるのだが、ここまでは落ちない。個人客からの注文数が減ってきているため、下り坂になるのではないかと（東京都）。
		一般機械器具製造業（経営者）	・自動車部品がメインなので、メーカーの減産発表の影響が時間差でやって来るものとみている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・東南アジアでの新型コロナウイルス感染収束のめどが立たない限り、当面、自動車生産は減産が続くとみている。
		建設業（経営者）	・設備投資や新規案件が激減しつつあり、悪くなる。競争案件が多くなり、たたき合いになると予想している。
		建設業（営業担当）	・多くの材料で、材料不足による価格高騰が目立ってきている。経験上、材料価格が高騰してくると、毎回景気自体は悪くなっているため、現在も下降線と感じている。
		金融業（総務担当）	・新型コロナウイルスはまだ終息せず、緊急事態宣言も延長の見込みで、観光業、飲食業、小売業には厳しい状況が続く。製造業、小売業は、東京都の最低賃金上昇により利益の減少が見込まれ、更なる減益が予想される。総体的に景気が上向き材料が見えない（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		不動産業（経営者）	・新型コロナウイルスを完全に封じ込めることは難しいと思うが、第1段階として、早急にワクチンの接種完了を望む（東京都）。
		広告代理店（経営者）	・建設業、不動産業が落ち込むのではないかと（東京都）。
		広告代理店（従業員）	・新型コロナウイルス収束の兆しが見えないため、人が集まるイベント、催事の開催は難しい状況である。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大がなかなか落ち着かず、行動や消費の制限がまだ続いているものの、海外では経済が復活してきている。日本では解散総選挙も控えており、先行きが余り明るいとはいえない（東京都）。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの新たな変異株の出現など、感染第5波以降の状況が改善するか分からない。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・案件の縮小による体制変更の要求が来ている（東京都）。
	×	出版・印刷・同関連産業（所長）	・緊急事態宣言のエリア拡大や期限延長等、落ち着く状況が見えないなかでの販促行動は消極的で、案件の引き合いがほぼない。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が見通せるまで、経済は余り潤滑に回らない。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が長引くほど厳しくなる。報道をどうにかしてほしい。
雇用 関連  (南関東)		人材派遣会社（営業担当）	・引き続き派遣先からの募集抑制の声は少ない（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・年末に向けて、短期契約を中心に、更に求人数が増える見込みである。
		人材派遣会社（社員）	・半ば強制的に、主軸である一般事務派遣の売上比率が伸び悩んだおかげで、経営資源を再考するきっかけとなった。同時にビジョンを明確にする動きも加速している。コントロールできない目先の売上や、競合他社を気にした動きをやめ、数年後にどうありたいかを全社員で真剣に考えている（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・物流センター作業者のオーダーが堅調であり、各所で年内、年明けにも完成予定がある。新型コロナウイルスの感染動向にかかわらず、物流関連のオーダーは続く。
		人材派遣会社（経理担当）	・ここ最近の動きとして、契約終了の動きが鈍くなっている。新型コロナウイルス禍以前の派遣オーダー件数までは戻っていない状況で、新規稼働者数は微増だが、契約終了数が少なくなっているため、派遣労働者数は増加傾向にある（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が企業活動を取り戻す一つの策との認識ができてきており、期待が持てる（東京都）。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が広がれば良くなる（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスが数か月で終息するとは思えず、景気は少し回復したり戻ったりしながら、結局悪いままで変わらない（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・長期稼働の派遣人数も、3か月前比、前年同月比共に100%強で推移している（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	・新型コロナウイルスの企業業績への影響次第だが、低調な人材紹介ニーズの回復に見通しがつかないため、当面変わらない（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・半導体の供給不足による自動車業界への影響と、新型コロナウイルスの影響次第だと思われるが、直近2～3か月の予測では現状維持が見込まれる。
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン供給量と緊急事態宣言の動向次第である。
		求人情報誌制作会社（営業）	・現状が続くなら、良くも悪くも動きは少ないのではないかと。
		求人情報誌制作会社（広報担当）	・特に景気が良くなる要素もないが、悪化する要素も感じられない。新型コロナウイルスの影響で爆発的に良くなる要素はない反面、これ以上何もなければ、そこまで景気に影響はないのではないかと（東京都）。
	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染者数が急増し、病床数がひっ迫しているため、先行きが見通せない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・有効求人数が3か月連続して減少している。前年比では6か月連続して改善傾向にあるものの、マイナスの状態に変わりはなく、大きな変化はみられない。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進み具合でどう変化するか予測が難しいが、就職活動は年明けからの短期集中になるだろうとみている。それまでは目立った動きは少ないため、当然、就職業界も動きが取れない（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	・消耗品の売上も含め、全般的に低位安定の状態が今後も続く見込みである。新型コロナウイルス感染状況の急激な悪化がない限り、大きな落ち込みはないとみている（東京都）。
		職業安定所（職員）	・緊急事態宣言下にあっても新型コロナウイルス感染者数の増加に歯止めが掛かっていない状況では、大半の業種は経済活動を抑制せざるを得ず、好転する見通しは立たない。
		職業安定所（職員）	・足元の求人数が伸び悩んでいるため、求職者が望まない仕事につくことを余儀なくされるか、又は就職活動の長期化が見込まれる（東京都）。
	×	求人情報誌製作会社（所長）	・新型コロナウイルスへの対策が不十分である。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・とにかく予定、計画の話は一切聞かない。お先真っ暗である。かなり厳しい。

### 5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (甲信越)		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・寺社に葬儀を頼まない人が増えてきたので、戒名ではなく、俗名でお別れの会を開催するのが、最近の流れである。
		百貨店（店長）	・今が最悪のように思われる。新型コロナウイルスのワクチン接種が若い人たちに進んできているので、今よりは良くなるのではないかと予想している。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大も若干落ち着いて、ワクチンも普及し、条件的には悪くはないので、大分回復してくるのではないかと予想している。売上、販売もやや伸びるのではないかと予想している。
		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が、国民の70%を超えてくる予定なので、2～3か月先には景気も改善されるのではないかと予想している。
		スナック（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が終わる頃なので、良くなってほしいと困る。飲食店が危ないと2年も言われ続けてきて、すんなり今までどおりに戻れる気がしない。景気浮揚策等をどんどんやってほしい。新型コロナウイルスが終息した後、元に戻れるかどうか勝負だと思う。
		遊園地（職員）	・新型コロナウイルス感染対策を徹底し、万全な受入体制を整えるとともに、積極的な集客施策の実施、情報発信を行うことで、多くの客の来園を期待する。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況に左右され、明るい光が見えない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・消費意欲の冷え込みが、新型コロナウイルス禍のためなのか、意欲をそそるものがないのかは、見えてこない。仕掛けも難しいが、先行きが見えない厳しい状況がある。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、地域の経済活動がなかなか活発化しないため、苦戦するのではないかと予想している。
		百貨店（営業担当）	・変わらないと回答したが、いずれにしろ新型コロナウイルスの感染拡大が収まって、ワクチン接種がどうなるかで、将来的な状況は変わってくる。
	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進んでいるが、感染者数は増えてきている。今月下旬に2日間、安全対策をしたコンサートが地元の大型ホールで開催された。当店も最終日に仕事をもらい、売上のことも助かっている。これからは感染対策をして、コンサートができるようであればうれしい。	
	スーパー（店長）	・全国的に新型コロナウイルスの感染者は増えてきているが、ワクチン接種済の方も多くいるので、以前よりは全体的に客が動いていくように感じている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（店長）	・大分、皆が今の状況に慣れたようで、特別何かあったり、緊急事態宣言が発出されても、「ああ、そう」という感じで、大きな影響が出ることもなくなってきている。天候で変わることがあれば別だが、それがなければ、今後も特に変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	・変わるとは思えないほど、冷え込んでいる。
		乗用車販売店（経営者）	・半導体不足の解消が見通せない。
		一般レストラン（経営者）	・現状がかなり悪化しながら進んでいくとみている。
		観光型旅館（経営者）	・緊急事態宣言発出の影響により、現在9月の予約が全く入ってこないため、9月後半が来客数の底だと予想している。9月後半には新型コロナウイルスのワクチン接種がかなり終わり、感染拡大の第5波も落ち着き、10月頃から徐々に回復の動きが出てくるのではないかと。2～3か月後は現状と同等まで回復すると予想する。
		都市型ホテル（支配人）	・全国に広がる緊急事態宣言発出で、県を越える行動の自粛と自粛疲れ、新型コロナウイルスのワクチン普及による人流増加等のバランス次第で、宿泊予約や利用率が変わってくる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでも、感染者数が増加傾向にあれば確実に利用客は減少するようになっていく。こうした形で進むと予測すると、この先も大幅な反動は期待できず、現状のまま進むのではないかと。年末年始の予約状況も全く動きがないので、悪いまま変わらなさそうである。
		通信会社（経営者）	・新型コロナウイルス感染が全国に広がり、心理的な悪化と景気回復の見通しがつかず、しばらく厳しさが続く。
		通信会社（社員）	・キャンペーンや大規模広告等で、爆発的に新規加入者が増える材料は今のところない。年末に向けて、4Kテレビが普及すれば、風向きも変わってくる。
		観光名所（職員）	・当地も新型コロナウイルスの感染が拡大し、従業員が感染する等、いよいよ身近に迫ってきた感がある。ワクチン接種は進んでいるものの、このままでは急激に感染拡大を抑えることは難しいのではないかと。
		ゴルフ場（経営者）	・秋のシーズンインとはいえ、新型コロナウイルス感染拡大のなか、元気なシニア層の来場が減ってきている。ただし、パーティーがない分、自宅用土産の売店売上が増えている。
		その他サービス[クリーニング]（経営者）	・当社従業員70人の内、2回目の新型コロナウイルスワクチン接種が終わっているのは、1人だけである。この状況では良くならない。政府に頑張ってもらいたい。
		住宅販売会社（経営者）	・別荘需要は底堅いものの、販売用の中古別荘が減少しつつある。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大の収束がみえず、買物頻度の低下が進行している。
		コンビニ（経営者）	・夏も終わり、新型コロナウイルス感染が拡大し、すぐ身近なところまで来ているため、先行きは落ち込んでくるのではないかと。
		コンビニ（経営者）	・東京オリンピック・パラリンピックの終了と終息の見えない新型コロナウイルスの影響で、やや悪くなる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大第5波の影響で、自粛等、外出する機会が減ると思われる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響が収まるとは考えにくい。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くまで、景気回復は見込めない。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車販売、整備業を営んでいる。新車の納車がかなり遅れているので、整備の部品にも影響が出ないことを願っている。
		自動車備品販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染警戒レベルが下がるまでは、来客数も伸びず、厳しいのではないかと。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・足並みがそろわず不公平感のある新型コロナウイルスのワクチン接種、休業や時短要請等、世の中の動きが悪くなることばかりである。この先まだしばらくは繰り返されると思う。
		旅行代理店（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で大きく変わってくる。秋のトップシーズンを考慮し、感染が減少方向に向かえば、当然ながら景気回復の期待はできるが、現状では回復材料が見当たらない。教育旅行も現在は延期や検討がほとんどで、めどが立たない。このまま経過するなら確実に景気後退となる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスが終息しなければ、この状態がずっと続くのではないかと。今月も前年比100%を超えようと思ったものの、同95%くらいで終わるような気がする。
		ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルスの感染収束次第と考える。
		設計事務所（経営者）	・木材、鋼材が不足しており、新規案件が停滞している。
		設計事務所（経営者）	・完了物件より依頼数が少ないため、やや悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・現状からの転換の芽が見えるまでは、どうにもならない。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの問題で、春先よりもますます悪くなっている。客自体、外へ出ることが余りないようで、商店街も閑散としている。新型コロナウイルスが終息しない限り、景気が回復するのはちょっと無理だと思っている。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がかなり厳しい。
	×	その他専門店〔酒〕（店長）	・非常に悲観的に見ている。東京都の新型コロナウイルスの新規感染者数は現状3000人くらいだが、500人に減るのは、ワクチンを打ったとしても、緊急事態宣言期間中に果たして減っているのか。飲食店も酒業界も大打撃を受けている。国内の30%くらいしかアルコールが提供できない状況なので、2～3か月後、反動がきて簡単に良くなるというようには考えていない。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスのせいにしたくないが、やはり影響は大きい。2～3か月前も2～3か月後も同じ状態である。今後についてはまだしばらく分からない。本当に何か良い方法はないか。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・当県全体で、9月まで営業時間短縮要請が延長されるとみている。もし、まん延防止等重点措置地域に指定されれば、各レストランの来客はほぼ見込めない。8月に入って、目先の宴会も30件キャンセルが出ている。また、先の婚礼も、キャンセルにはなっていないものの、人数を縮小しての開催予定となっており、先の見通しが立たない。
	×	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除されない限り、良くなるとは考えにくい。そのためには、新型コロナウイルスの感染者数が減少していく必要があるが、日々、感染者が増えており、非常に厳しい状態である。
	×	その他サービス〔貸切バス〕（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえない間は、仕事が見込めない。
企業動向関連 (甲信越)		金属製品製造業（総務担当）	・半導体の需要により、良くなる。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・どの店も現状を脱するため、営業に力を入れなければならない。新型コロナウイルスのワクチン接種も進んでいることから、秋口は感染状況に関係なく催事を再開させる予定である。
		食料品製造業（製造担当）	・現状のままで新型コロナウイルスの感染者数が推移していけば、期待が持てない。
		食料品製造業（営業統括）	・秋の新酒関係は、個人消費に若干期待が持てる。ただし、新型コロナウイルス感染拡大の勢いは変わらず、厳しさを増しており、今後も当業界には苦境が続くものと考えられる。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・年末に向けた季節商材の受注はあるものの、店頭販売品の受注は予想ができない。引き続きワークショップには期待している。
		一般機械器具製造業（経営者）	・半導体不足の影響による受注減少のばん回は見通せない状況である。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・今のところ順調に推移しているが、材料、部品の不足等により、今後の生産に影響が出ることが懸念される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（経営者）	・受注見込みに変わりはないと思うが、資材の不足や遅延、内部工事の場合は密にできないために少人数で対応する必要があり工期が延長するため、利益が心配である。
		金融業（調査担当）	・製造業の改善は続く見通しだが、半導体不足の影響が懸念される。非製造業は新型コロナウイルスの感染再拡大の影響が下押しすると予想され、観光関連を中心に厳しい状況が続く見通しである。
		金融業（経営企画担当）	・引き続き、新型コロナウイルスの変異株による感染者数が増加しており、緊急事態宣言対象地域も拡大してきている。外出等を控えることで、経済の停滞が懸念されるものの、ワクチン接種が進むに連れて感染者数が減少してくれば、経済活動も徐々に活発になると考える。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・ワクチン接種により一定の効果はみられるものの、完全に感染しないわけではない。また新型コロナウイルス発生以前に戻るには程遠い。また、収束に向かっても以前の売上に戻るとは考えにくく、Withコロナの働き方や新たな事業、収入を模索していかなくては生き残れないと感じている。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・イベント等の中止により、印刷物がほとんどなくなっている。また、官庁関係からの仕事も少なくなっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・電子部品全般の流通が悪く、受注に影響してきている。お盆明けから取引先の動きも悪くなり、受注が減っている。棚卸時期が過ぎるまでは安定しないと見込んでいる。
	x	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
雇用関連		-	-
（甲信越）		民間職業紹介機関（経営者）	・求人を含め引する製造業において、半導体、医療機器、自動車等関連企業の受注は拡大しているが、業種格差が顕著になっている。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が現状のまま続く限り、景気の先行きは不透明で、回復の見通しは厳しい。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染再拡大の規模が大きいため、収束にどれだけの期間が掛かるのか分からない。
	x	人材派遣会社（営業担当）	・正社員もボーナス支給がなく、購買意欲が湧くわけがない。生活保護申請の仕方を相談に来る方もいる。
	x	職業安定所（職員）	・東京オリンピックが終了し、その後新型コロナウイルスの感染が急拡大しているため、悪くなる。

## 6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 （東海）		コンビニ（商品企画担当）	・ワクチンの接種完了拡大に伴い、行楽や旅行を主体とした人の動きが活性化すると見通しから、景気回復が見込まれる。
		都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染が収まっていくのではないかと考える。
		商店街（代表者）	・コロナ禍の終息がみえてくれば、気分的に消費も改善してくると期待している。
		一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・外出自粛等の要請が明けて、多少は客足が戻るのを期待する。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	・コロナ禍でも、秋～年度末にかけての受注量の増加が期待される。
		百貨店（業績管理担当）	・緊急事態宣言が発出されている今～来月が底だと考えている。ワクチン接種が進むことにより、客の購買意欲は上向いてくると考える。
		コンビニ（店長）	・まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出で、目に見えて来客数と売上が減っており、解除後の回復に期待する。
		家電量販店（営業担当）	・ワクチン接種率のアップに伴い人の動きが活発になり、経済活動が改善していくと思う。
	乗用車販売店（経営者）	・生産の遅延は、多少改善すると思われる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住関連専門店（営業担当）	・現状の新型コロナウイルスの感染状況から、少しずつウィズコロナの状況のなかでもリフォームや新築物件の見込みが出始めている。また、今のうちに将来の投資に向けて資金を振り向けようという動きがある。
		その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・ワクチン接種完了者が増加し、日々の新規感染者数が減少し、緊急事態宣言が解除されることにより、人流が戻ってくることを期待する。
		バー（経営者）	・年末に向けてワクチン接種も進み、年末年始に人が動くことを期待したい。
		観光型ホテル（経営者）	・現在よりもワクチン接種が進めば重症者や死亡者を減らすことができ、不要不急の外出を自粛する要請もやや緩和されるという見通しが立ち、大局的には、景気はやや良くなる方向に向かうと考える。
		ゴルフ場（支配人）	・10月になると入場者の予約は順調で、前年同日比ではかなり多くの予約が入っている。今月の不振とこの先10～11月のゴルフシーズンを考えれば、景気は良くなっていくと思う。
		商店街（代表者）	・当地にも緊急事態宣言が発出され、今が底だと考えているため、景気は変わらないと判断した。
		商店街（代表者）	・世の中の状況が悪すぎる。以前のような生活スタイルに戻ることへの諦め感、閉塞感が充満しており、しばらくはこの状況が続くそうである。
		商店街（代表者）	・ホテルの知り合いが、宴会はこの1か月くらいで大分持ち直し、婚礼なども今週末までは割と多く感じると言っていたが、緊急事態宣言が発出されて、この先いったいどうなってしまうのが不安である。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	・新型コロナウイルスによるこの状態はどうしようもない。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・飲食店への休業・時短要請が解除されても、利用客は限られた人のみで、コロナ前への回復は当面望めそうにない。企業内での飲食店利用自粛が解除されない限り難しいと考える。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない限り、景気は良くならない。ワクチンの接種が若い人にまで行き渡るのを待つしかない。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・ギフト業界は夏～秋に向かってイベント及び結婚式等が増えるが、残念ながらコロナ禍から回復もせず、現状の低いままやや悪い状態が3か月後もそのまま続いていると思う。画期的な新型コロナウイルス対策が採られて人の流れが増えれば、また人の交流が広がるが、3か月くらいでは今と変わらない状態がそのまま続くと思う。
		一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
		一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・新型コロナウイルス感染がまん延しており、先行きには何の変化もないように思う。
		百貨店（企画担当）	・8日からのまん延防止等重点措置、20日からの地下食品売場の入場制限、27日からの緊急事態宣言発出で、日を追うごとに来客数が減少した。20日以降は前年を割り込む状況が続いている。感染拡大に歯止めが掛かり、ワクチン接種が進む等消費者の日常に安心感が得られなければ、この状態が続くと思われる。
		百貨店（経理担当）	・緊急事態宣言の発出により、引き続き悪いと考える。
		百貨店（営業担当）	・ワクチン接種が進み緊急事態宣言が解除されるまで、この傾向は続くと思われる。
		百貨店（計画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況は改善に向かうと思われるが、今後も感染の波が続き、すぐに収束するとは思えない。ワクチン接種を済ませても行動を自粛している人が多いと感じる。
		百貨店（販売担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数の増減、緊急事態宣言などで状況が常に変わるため予測がたてられない。今の波が落ち着けば、徐々に良くなる可能性はある。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス終息なくして景気回復なしと改めて強く感じている。
		スーパー（店長）	・ワクチン接種が進んでいるが感染者は増え続けており、ワクチン接種が完了するまではこの傾向は変わらないと思われる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（営業企画）	・今後の感染拡大状況によるところが大きく、直接的な売上の予測は難しい状況である。ただ、全体的な購買動向は少しずつ低下しているように感じる。
		スーパー（販売担当）	・来客数が以前より減っているため、売上も上がらないのではないかと感じる。
		スーパー（総務）	・相変わらず新型コロナウイルスの影響で外出等の自粛もあり、長期にわたる自粛で慣れてしまっている面もあるため、現状の動向が続くと思われる。
		スーパー（ブロック長）	・感染状況次第にはなるが、悪化の状況が変わらなければ、内食需要の増加により変わらない見込みである。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染終息のめどが立たないため、来客数が回復してくる様子は見えない。商品の購入量も、おにぎりなど即食系が伸び悩んでいるため、現状と大きくは変わらないと考える。
		コンビニ（エリア担当）	・期待した東京オリンピックでの景気浮揚も、ワクチン接種が進むことによる新型コロナウイルスのマイナス影響の減退も空振りになり、この先に期待が見いだせない。
		コンビニ（店長）	・止まらない新型コロナウイルスの感染拡大とワクチン接種とのせめぎ合いだが、特に解決策も見当たらない。このまま続くと思う。
		コンビニ（店長）	・ワクチン接種の普及により来客数は回復するが、ワクチン接種者でも感染が多く確認されると、景気回復は厳しくなる。
		コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着くまでは変わらないと考える。
		コンビニ（本部管理担当）	・緊急事態宣言がいつ解除されるかの1点に尽きる。今以上の景気悪化はないと考えているが、緊急事態宣言の解除がなければ景気回復の可能性も見込めないため、変わらないと考える。ワクチンの効果と接種完了者数の増加に期待したい。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの影響で外出が減ると、行楽シーズンでも来客数が期待できない。
		衣料品専門店（経営者）	・元々年配客は不要不急の外出を控えている。緊急事態宣言が解除され、少しずつ新型コロナウイルスの感染が収束に向かうことを願う。
		衣料品専門店（店長）	・ワクチン接種が更に進めば、これまでの自粛からの解放感により客の増加につながるが、今後の接種状況や社会活動次第である。ただし、2～3か月ではそこまで回復しないとされる。
		衣料品専門店（売場担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が、今後の景気に大きく影響すると思われる。現状に鑑みると、ワクチン接種は進んでいるが、感染拡大には歯止めが掛かっていないことから、現状と大きな変化はないと考えている。
		衣料品専門店（売場担当）	・大体今の時期に、夏休みに入った大学生が実家に戻り就職活動や成人式のための服を購入するが、今年はそれがまだ少ない。今後もまだまだ暑いため、スーツを購入する人も少ない。あと2～3か月はこの状況が続くと思う。
		衣料品専門店（販売企画担当）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着くまでは、この状況が改善する見込みがない。
		家電量販店（店員）	・夏休み明けはオンライン授業でのスタートになるようだが、既に大学生は環境を整えている。小中学生は学校から端末の支給があるので、PC関連の伸びも余り大きくはなさそうである。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルス変異株の感染爆発がしばらく続くと思う。多少収まったとしても、また新たな新型コロナウイルス変異株がまん延して、しばらくは今の状況が続いていくと思う。
		乗用車販売店（経営者）	・半導体不足の影響は薄まるものの、コロナ禍で東南アジアからの部品調達に問題がある。車の生産に大きな影響が出ており、受注はあるものの納車ができない。
		乗用車販売店（従業員）	・これから年末に向けて、店舗への来場促進企画も多く採り上げられると思われる。新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、各社のCMによる相乗効果で客の出足が伸びることを期待したい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（従業員）	・具体的な期待はできず大きく変わることはないが、実際に皆が動き出したという大きな流れは変わらないと思う。環境はまあまあ良く手応えもあるが、非常に期待できるというほどでもない。
		その他専門店〔雑貨〕（店長）	・新型コロナウイルス変異株がまん延する恐怖感が残る。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	・ワクチン接種が進み多少人の流れが戻るのではないと思うが、景気が悪化する懸念もあるため、余り期待はできない。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・コロナ禍にある程度収束の兆しが見えてくればよいが、今の状況を見るとなかなか難しいと思われ、長引きそうである。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上高は、前年比マイナス4.9%で前々年比はマイナス5.3%である。来客数は、前年比マイナス4.1%、前々年比マイナス14.0%である。
		高級レストラン（経営企画）	・ワクチン接種率の向上に伴い行動自粛の解除等を期待したいが、感染力の強い新型コロナウイルス変異株など、まだ予断の許さない状況である。
		一般レストラン（スタッフ）	・景気の悪さも今がもう底ではないかと祈る。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・繰り出されるメッセージは、何が正しくて何が間違いなのか分からなくなっている。会社の疲弊度も高いが、目に見えない個々の人の不安と混乱による精神的な疲弊度はかなり高まっているので、注意が必要である。
		旅行代理店（経営者）	・全国的な厳しい宣言にしないと、新規感染者数がガラガラと増えるだけと思う。前年のような全国一斉の厳しい緊急事態宣言を出して電車も飛行機も減便しないと、感染爆発している地域はますます厳しい状態になっていくような気がする。海外でも新たにロックダウンをしている国も多い。旅行業界だけでなく全ての国民が大変なのは分かるが、本当に旅行業界の今の状況を何とかしてほしい。いろいろなキャンペーンが休止のなか、ワクチンを接種したら旅行券プレゼントといったキャンペーンをしてほしい。ワクチン接種が3回必要とのニュースも気になる。インフルエンザも流行するであろうし、この先の旅行商品の案内をしながらも、かなり不安な状況にある。
		旅行代理店（営業担当）	・ワクチンに期待したが、接種が進んでも新規感染者数が減らないのは誤算だった。年内の回復は期待薄である。
		旅行代理店（営業担当）	・ワクチン接種による集団免疫ができるには、あと半年掛かると思う。旅行需要が戻ってくるのは来年になりそうである。さらに、強力な新型コロナウイルス変異株が拡大し集団免疫ができないとなれば、旅行業の回復は更に先となり、出口が見えない状況が続く。
		タクシー運転手	・当県でもワクチン接種への若者の意識と態度が変わってきているため、ワクチンに非常に期待をしている。皆がワクチンを早く接種して、少しでも新規感染者数が減り客が増えることを願っている。
		タクシー運転手	・ほぼどん底であり、変わりようがない。
		通信会社（サービス担当）	・客先のニーズにあったサービスがなければ、他社へ乗換えや解約が増えていくと思う。
		通信会社（営業担当）	・在宅需要による新規回線開通が少なくなってきた。
		その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・もはや感染状況次第という気がするので、現時点では全く不透明に思える。
		美顔美容室（経営者）	・人気商品のキャンペーンは8月末で終了するが、別のキャンペーンが始まったため、このままのペースでいきそうである。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・辛い営業を止めることなく運営できているが、若手職員で感染者が発生した場合には、業況への影響も少なからず出てくると考える。
		設計事務所（経営者）	・案件数の減少が続いたままの状況は変わらない。
		その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・この先は住宅リフォーム、新築物件、工場の設備投資などの受注を見込んでいる。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・例年では10月は繁忙期だが、緊急事態宣言で判断が難しい状況である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス変異株の影響によって過去最高の新規感染者数を連日記録するなかで、若年層の感染増加で今後は人出が減っていき、景気も同じ動きをするのではないかと考える。
		一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	・やはり新型コロナウイルスの感染者数である。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が全く終息せずどんどん広がっている状況で、先行きが本当に見通せなくなっている。
		百貨店（総務担当）	・緊急事態宣言が9月13日以降も継続しそうな状況で、百貨店の秋の季節商材や物産展は大きく規模を縮小せざるを得なくなり、売上面では一層厳しい状況が続く。唯一、海外ブランドや宝飾品などの高額品のみが好調である。
		百貨店（販売促進担当）	・足元の爆発的な新規感染者数の増加はかなりインパクトがあり、外出自粛と消費マインドの冷え込みにより当分回復は見込めないと予測している。
		百貨店（販売担当）	・ニュースでは人出は変わらないと報道しているが、来客数は今までになく減っている。
		スーパー（商品開発担当）	・このまま新型コロナウイルスの影響が続くとどうなるか先行きは見えないが、足元で来客数アップや売上回復の政策が打っていないため、景気は厳しい状況が続くと思う。
		スーパー（販売担当）	・入場制限が現実的になる可能性があり、集客企画が中止になることもあり、小売の企画が売上を左右しそうであるが、売上の急激な回復が望みづらい状況である。新たな需要を喚起できる商品の出現が望まれる。
		スーパー（支店長）	・今月から再び新型コロナウイルス新規感染者数が激増したことで、今まで以上に消費者の行動も慎重になると同時に購買力も下がっている。まだまだ先が見えない状況のため、今後も景気が回復する見込みはないと思われる。自社の業務転換も検討している。
		コンビニ（企画担当）	・まだしばらくは感染拡大が続くと思われ、広い世代にワクチン接種が進まない限り、回復には転じないと思われる。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は、年度内は増えるのではないかと。秋～冬にかけて教育現場に関しても、休校、分散登校やリモート授業の流れが強化されるはずである。企業でも、事務作業はリモートワークの社員が更に増えるのではないかと。ワクチンの接種率の推移によっては好転もあり得ると思うが、いずれにしても数か月は厳しい見通しである。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	・地域振興券が始まり新規の客は微増する。学校が始まり子供にも感染が広がると、外出自粛ではなく外出制限が始まるのではと考える。
		乗用車販売店（経営者）	・長期にわたるコロナ禍の影響が、ここに来て現れている。企業や個人で所有する自動車の台数を減らしたり、点検の頻度を抑える客が出てきている。
		乗用車販売店（従業員）	・秋頃には半導体不足は解消される見込みであるが、世界中で造っている部品にロックダウンなどの影響で納期の遅れが出てくると、良い状況とはいえない。
		乗用車販売店（従業員）	・9月は車の大幅な減産も発表になっており、納期が掛かる車が多い。納車まで2～3か月でも遅いのに、人気車には半年以上掛かる車もある。
		乗用車販売店（営業担当）	・ワクチン接種によって良くなっていくと信じているが、ここ数か月の販売状況からは好転の兆しは余りみえず、加えて商品の生産にも大幅な遅延が発生しており、売りたいくても売れない状況が続くため、見通しは悪い。
		一般レストラン（経営者）	・コロナ禍でワクチン接種も思うようには進んでおらず、良くなる見通しが立たない。
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・想定以上にコロナ禍の状況が長引いており、事業の継続が困難な取引先が増えている。
		都市型ホテル（営業担当）	・政府や県が出す感染拡大防止対策の内容によって、異なってくると思われる。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス変異株やワクチン接種の効果の半減など、冬に向けて更に厳しくなっていく、治療薬がなければこのままの状況が続く。また、半導体不足による自動車生産等の落ち込みや、エンジン工場の閉鎖が取り沙汰されるカーボンニュートラルに対応した業態転換など、課題山積である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（企画担当）	・緊急事態宣言の影響か、人が特に動かなくなっていると思う。感染拡大防止の対応が経済抑止に直結しており、この状況を変えない限り、悪化局面が続くものと思う。
		通信会社（営業担当）	・来月以降は、期待ができない。
		テーマパーク職員（総務担当）	・ワクチンを接種すれば感染しない印象であったが、そうでもなくなってきた。しばらくは新型コロナウイルス変異株との戦いとなる模様である。
		その他レジャー施設 [鉄道会社]（職員）	・新規感染者数の増加が激しいので、今後の見通しも楽観できない。
		理美容室（経営者）	・まだまだこれからも人が余り出歩かないため、景気は上向きにならないと思う。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの勢いが収まらないため、ますますイベントや外出が減る。なるべく外に出ないように思うので、来客数は減っていく。
		理容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が早く終息してほしいが、まだまだその兆しはない。
		美容室（経営者）	・緊急事態宣言が延長されるかもしれない、新型コロナウイルスの感染拡大はこのままずっと続いていくのかもしれない。その辺りの計算が難しい。
		設計事務所（職員）	・新型コロナウイルスの影響で景気が良くなるほどの話は全く聞かれない。
		住宅販売会社（経営者）	・食品及びその他の消耗品が値上がりしているため、住宅購入資金に回す金が少なくなり、住宅購入になかなか結び付かない状況である。先行き不透明である。
		住宅販売会社（従業員）	・木材の価格高騰により影響がかなり出てきている。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況は悪化するので、本来9月は決算期で税制面の変化や夏枯れの落ち込みから来場者が回復するが、むしろ落ち込むと考える。その影響は、当面続くのではないかと。
		その他住宅[住宅管理]（経営者）	・先行きが見通せないなか、再び新型コロナウイルスの新規感染者数が増え、経済に与える影響が大きくこの先の受注が心配である。ワクチン接種を加速してもらいたい。
	×	商店街（代表者）	・良くなる要因がない。
	×	百貨店（売場主任）	・秋物が入荷する時期になるが、海外からの商品の入荷が少し遅れる予定である。定番品よりも新作を作っているため、定番品の在庫も少ないし新作の入荷も遅く、商品の品ぞろえが厳しい状態になりそうである。来客数も日に日に減っているため、新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、厳しい売上が続くと思う。
	×	百貨店（経理担当）	・緊急事態宣言の延長や対象地域の拡大によって市民生活と企業活動が共に長期的に停滞し、レジャー・外食を始めとする個人消費が大きく低下するとともに、企業の設備投資も縮小・先送り等の見直しが行われると考える。
	×	スーパー（店員）	・長雨の影響で野菜の価格が高騰している。また、まん延防止等重点措置から緊急事態宣言へと変わったので、心理的にも多少消費に響くと思う。前年のような巣籠りを楽しむより、新型コロナウイルスへの緊張感の方が強くなっている。
	×	スーパー（販売担当）	・10月に大型ショッピングセンターが近隣にできる。
	×	コンビニ（店長）	・緊急事態宣言は9月12日までだが、今の状況を見ると新型コロナウイルスが収まる気配もなく、売上の回復は見込めない。
	×	乗用車販売店（従業員）	・景気が悪くなるというよりも、新型コロナウイルスの影響で物が造れなくなってきたため、この先メーカーにかなり大きく響いてくる。そうすると世の中の景気はかなり悪くなると思う。
	×	乗用車販売店（販売担当）	・世界的な半導体不足による影響は恐らく来年の6月頃まで続き、主要なオプションが付かなくなる。かなり重要なオプションなので、販売もかなり低迷すると思われる。
	×	一般レストラン（経営者）	・目先のことをやっていくというようなことを政治家が言っていたら駄目だと思う。政治家は、未来の展望を国民に示さなければならない。
	×	一般レストラン[居酒屋]（経営者）	・先行きが見通せない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般レストラン（経営者）	・当県も新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が発出され、足元の状況では解除も延長になりそうである。店舗前の国道の通行量もいつもより少なく、やや不安である。売上は例年と比べ落ち込むと見込まれる。
	×	一般レストラン（従業員）	・飲食店は全く見通しが立たない。
	×	一般レストラン（従業員）	・9月12日まで緊急事態宣言に従い休業しているが、同業者も言うようにまた延長になるのではないかと不安がある。とにかく1度ロックダウンをしてリセットしてもらいたい。
	×	観光型ホテル（支配人）	・全てが逆戻りである。緊急事態宣言の発出が決まり、来月以降の他県からの修学旅行を始め地元の大口の会合も全てがキャンセルとなり大打撃である。宿泊のキャンセルも出始め、食堂もお盆には少しにぎわったが、この先また休業を余儀なくされる羽目になるだろう。年内の見通しも立たない状況になってきて、最悪である。
	×	都市型ホテル（総支配人）	・緊急事態宣言が9月末まで延長されれば9月の売上は見込めない。9月は国体など団体客が入っていたが7割方キャンセルとなった。残りもキャンセルの可能性が大である。ワクチン接種のみでなく、早急の医療体制構築がなければ先行きの予想ができない。1年半に及ぶ新型コロナウイルスの影響は甚大であり、会社存続の危機である。
	×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス収束の見込みがない。
	×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束に向かわないと、景気が良くなる見込みが全くない。
	×	レジャーランド（職員）	・緊急事態宣言の期限は9月中旬となっているが、延長の可能性も想定して来場予測をしている。前年は9～11月にかけてGo Toキャンペーンの効果があったが、今年は大規模な消費喚起施策はなく、ワクチン効果と相殺しても前年よりも厳しい状況になるのではと危機感を持っている。
	×	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスの感染が収束するまでは難しい。
	×	観光名所（案内係）	・新型コロナウイルスの先行きが全くみえない。これはどうしようもない。
	×	パチンコ店（経営者）	・コロナ禍の影響で一般客が出控えている。
	×	美容室（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの終息の気配がない。
	×	住宅販売会社（従業員）	・新築住宅購入の意欲が感じられない。
企業 動向 関連 (東海)		*	*
		化学工業（営業担当）	・今後、電材薬液メーカーの需要は更に伸びていく見込みである。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・新製品の調理器具がテレビのニュース番組で紹介されたため、更に注文が増えて全く間に合わない。天然原料を使用しているため入手量も限られており、しばらく対応に追われそうである。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・新型コロナウイルス終息に向けて、工場の稼働や物流が安定してくれば、売上向上の余地はまだあると思われる。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	・客先の生産停止はあるが、更に人々の外出が増えると思う。
		金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況には波があり、繰り返すとみられるが、ワクチン接種が進むこともあり、落ち着くのではないかと考える。それによって景気が現在よりも良くなると思う。
		不動産業（経営者）	・今後は新型コロナウイルスの新規感染者数が減少していくと予想し、また、ワクチン接種が更に進み徐々に外出する人が増加すると見込んでいる。売上は徐々に回復していき、前年を上回ると思われる。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・全国的に新型コロナウイルスの感染が日々拡大しており、ワクチン接種も進んでいいるものの余り効果がみられず、このような状況のなか、景気は現状の悪いまま推移すると思う。
		化学工業（総務秘書）	・新規感染者数が多くなると緊急事態宣言を出して人流と飲食店の営業を抑えることを繰り返していたら、この悪い状態のまま続く。
		金属製品製造業（経営者）	・引き続き引き合いも減少しており、悪い状況が続くと考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売見込みから景気は変わらないと判断した。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・北米自動車向け設備投資で引き合いが増えてきて市場は動いているが、今度は部品不足、運送料金の値上がりや輸送できないことが増えてきて、なかなか製造・出荷がスムーズにできない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で部品の供給に制限が出ている。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・生産レートはしばらく下がったままで上がる様子はないが、これ以上下がることもない。
		建設業（営業担当）	・飲食店のような新型コロナウイルスによる制限は受けない業種であるが、大手企業の客は緊急事態宣言の発出で作業がストップするので、仕事がなくなるわけではないが、建築関係でも、材料が入らなくなるような新型コロナウイルスの影響が出ている。当業種では余り悪くなるということはないと思うが、作業ができない状況が今後も出てくるので、どちらともいえない。
		輸送業（経営者）	・コロナ禍次第で正直分からないというのが本音である。海外部品の不足にとどまらず、国内での感染拡大に伴う生産停止のリスクも高まっている。
		輸送業（エリア担当）	・コロナ禍でECは伸びている。新型コロナウイルスはすぐには収まらない。まだまだECは伸びていく。
		通信業（総務担当）	・コロナ禍は景気にダイレクトに影響を与えているため、手の施しようがない。ワクチン接種が進めば感染が収束するという期待感もなくなったため、何か画期的な感染症対策が発明されないと、いつまでたっても命が最優先で、景気回復は二の次になってしまう。
		通信業（法人営業担当）	・株価の上昇や経済指標は上向きともいわれているが、低所得者層の生活は苦しく、財布のひもはまだ固いように感じる。
		金融業（企画担当）	・現在の緊急事態宣言下では、景気が良くなる理由がない。新型コロナウイルス感染が収まっていけないと人々のマインドも消費に向かわない。当面現在の景気が続くと思われる。
		不動産業（開発担当）	・土地の価格も変化がない。以前ほど高値を迫る企業も減ってきている。
		行政書士	・現状維持である。
		会計事務所（職員）	・ワクチンを接種した人からも感染者が出ており、毎日の感染者数も増える一方の様子である。若い人のワクチン接種が進み、新規感染者数が減少に転じなければ、景気が良くなるとは思えない。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・コロナ禍で行事は開催中止が相次いでおり、出張先での販売の増加が見込めない。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・開発は順調に進んでおり、3か月ほどで完成予定であるがそれほど急ぐ必要もないと思っている。物価の上昇が続いており、経済面では海外株価の暴落が怖い。何か危ういような気がする。
		食料品製造業（営業担当）	・取引先の閉店が今後も増える様子である。
		食料品製造業（経営企画担当）	・長引く緊急事態宣言で閉塞感が増し、劇的に改善することは考えられない。
		鉄鋼業（経営者）	・大手鉄鋼メーカーは、国内シェアが高いことを利用して、大手自動車メーカーのような大口客との値上げ妥結金額の3倍以上の値上げを、我々店売り事業者に断行している。明らかにおかしいやり方である。監督官庁も考えてほしい。これでは中小販売業者は潰れてしまう。
		金属製品製造業（従業員）	・忙しくなるという見方と仕事がないという見方の両方を聞くが、少なくとも原材料の価格高騰によるコスト高は違くない。収益環境は良くない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・現状でも非常に厳しいなか、鉄鋼メーカーからの再三にわたる値上げ、10月からは3割強の値上げで、価格転嫁ができない場合は完全に仕事をやめざるを得ないような環境に変わることが見込まれる。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・高速通信に関係する機器の需要は強いが、今後半導体不足による納期の遅れに心配も始めている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・大手自動車メーカーの4割減産、東南アジアからの部品供給停滞の影響がしばらく続くと考ええる。	
		建設業（役員）	・お盆明けから新型コロナウイルスの影響を受けて集客が悪い。今後は、大手自動車メーカーの減産もあり更に客の動きが悪くなると考える。	
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスのため雰囲気が悪く、とてもリフォームをやるという気にはならない。一般的な住宅に関しては、とにかく新型コロナウイルスの感染が収束しないと景気は動かない。	
		輸送業（従業員）	・8月に入って、お盆以降は新型コロナウイルスの急速拡大の影響が見えだした。当分、感染拡大は収まらないようで、年内は厳しそうである。前年の大幅ダウンした頃に戻ってしまいそうで懸念している。	
		輸送業（エリア担当）	・投資案件のマンション売買件数が足踏みしているということは、購入しても更に高く売れる見通しが立たない、供給過多になるということであり、先行きを見越した上でこういった購買トレンドが現れていることを考えると、景気は後退していくのではないかと想定する。	
		通信業（法人営業担当）	・コロナ禍で消費者は賢くなり、必要な消費と不必要な消費を明確に分けられるようになった。不必要にもみえるぜいたくな消費こそ、景気回復の鍵のほうである。このままではアフターコロナも景気回復の望みは薄い。	
		金融業（従業員）	・緊急事態宣言もあり、飲食店は利益が得られない、売上がないと非常に嘆いている。自動車関連でも今まで比較的良かったところが急激に悪くなっている状況から、この先も見通しとしては余り良くない。	
		不動産業（経営者）	・コロナ禍のなか様子見であり、価格としては底値という感覚が浸透している。	
		広告代理店（制作担当）	・客の業種で違いはあるが、新型コロナウイルス変異株の感染拡大やワクチン接種の遅れなどで広告出稿量は減少していくと思われる。	
		公認会計士	・中堅・中小企業の生産性向上や後継者対策等の課題の解決には時間が掛かる。コロナ禍からの出口がみえない。	
		会計事務所（職員）	・新型コロナウイルス変異株の急速な感染拡大により、取引先の店舗にも感染者が発生し、閉店・休業が出てきている。ワクチンの供給も不足しており、今後もしばらく新型コロナウイルスは終息しないと思われるため、景気の低迷が予想される。	
		x	電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言がまた発出されたため、客先業界全体として自粛モードとなり、設備投資を控えるということで見積もった案件も流れる状況になっているため、景気は悪くなると予想している。
		x	新聞販売店〔広告〕（店主）	・再度の緊急事態宣言で、人を集めるイベントの中止など折込チラシの需要が減少する。
雇用 関連 (東海)		-	-	
		職業安定所（職員）	・半導体の供給不足や新型コロナウイルス変異株の感染拡大は今後も続いていくと思われるが、足元では自動車の受注数は増えており、今後数か月は同様の状況で推移していくと見込む。半導体の安定供給、ワクチン接種の進み具合、医療体制の充実が今後の鍵を握っている。	
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、半導体不足などの懸念材料はあるものの、基幹産業である製造業の求人数は増加しており、景気が回復傾向にあると感じる。	
		民間職業紹介機関（営業担当）	・年末に向けて転職希望者が増加する時期になり、11～12月中旬までの企業の採用動向も活性化すると予測する。	
		人材派遣会社（経営企画）	・変化の要因が見当たらない。	
		人材派遣会社（営業担当）	・求人数は戻りつつあるものの、求職者が不足してきている。	
		人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルス対策により、一般企業の出社率も下がっている。そのなかで採用活動は停滞しており、この先も2～3か月は継続すると感じている。	
	アウトソーシング企業（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響で海外での部品供給が滞り、部品不足や半導体不足により、好調だった自動車関連は国内工場が稼働停止になっており、今後も懸念される。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞社〔求人広告〕 (営業担当)	・新型コロナウイルスの感染状況の見通しが立たない。
		職業安定所(所長)	・企業整理等の話は余り聞かれないが、雇用調整助成金を活用して雇用を維持している企業が多い。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの感染状況が見通せないなかで、企業の採用意向の低下やパート希望者の求職活動の手控えなど不安要素はある。
		職業安定所(職員)	・当県への緊急事態宣言発出や、新型コロナウイルス感染症の東南アジアでのまん延による自動車部品関連の生産・物流の停滞による自動車生産計画の当面の滞りなどから、景気は変わらないと判断した。
		職業安定所(次長)	・産業別新規求人数を前年同月と比較すると、基幹産業である製造業を始めほとんどの産業で増加しているものの、コロナ禍によって新型コロナウイルス変異株による急激な感染拡大に伴うまん延防止等重点措置の適用から緊急事態宣言への切替え等により、先行きの不透明感は一層高まっており、厳しい状況である。引き続き新型コロナウイルス変異株の感染拡大に注視していく必要がある。
		民間職業紹介機関(窓口担当)	・例年人の動きがある時期であるが、前年同様コロナ禍での景気回復が大きくは見込めないことから、一定数の動きにとどまりそうである。
		学校〔専門学校〕(就職担当)	・看護師養成課程を持つ本学において、前々年と比べた新型コロナウイルスの影響は、医療機関の消極的な採用に現れている。前年と比較して採用機会や人数が減少しているため、学生は、不安から熟慮なく早期内定先を就職先として拙速に決めてしまう傾向がある。
		人材派遣業(営業担当)	・緊急事態宣言が解除されない限り、景気回復は見込めない。
		人材派遣会社(社員)	・緊急事態宣言の延長、新型コロナウイルス変異株により景気はやや悪くなると判断した。
		人材派遣会社(社員)	・お盆休み以降はリゾートホテルからの予約が減っている。
		人材派遣会社(企画統括)	・新型コロナウイルス新規感染者数の急増で、先行きが全く不透明である。
		人材派遣会社(営業担当)	・東京オリンピックも終わり、いよいよポジティブな材料がなくなった。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスの感染が収束せず、ワクチン接種が進んでも新規感染者数は減らない。
	×	人材派遣会社(営業担当)	・主要客では10月からの予算削減が計画上決まっており、それに伴い業務終了するエンジニアの大半が、次業務を決定できていない。エンジニア稼働率は、再び低水準に戻ってしまう見込みである。

## 7. 北陸(地域別調査機関:一般財団法人北陸経済研究所)

(- : 回答が存在しない、\* : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北陸)		一般レストラン(統括)	・全く同じではないが、人の動きがある程度年間で決まっており、人の動きが活発化する時期の後に新型コロナウイルスの感染が拡大した前年の周期と今年の周期が似ているため、今後下半期も前年度同様の周期であれば、11~12月は人の流れや動きが活発化し、景気が上向きになるとみている。
		住宅販売会社(営業)	・ここ2か月で、今進めている商談の結果が全て出るとみている。
		商店街(代表者)	・商店への補助にしてもその場限りの印象が拭えない。もっと大局的な政策をしなければいたちごっこの感じがするが、少なくとも2~3か月後には、今よりは多くの年代にワクチン接種が行き渡るはずだと期待している。
		コンビニ(店舗管理)	・現在が最悪だと考えるので、今よりは良くなるしかない。
		自動車備品販売店(役員)	・ワクチン接種が進むことで、様々な規制が緩和されて人流が増え、消費も増えるという予測は誰でもできるが、次なる感染拡大も否定できない状況であり、流動的だと考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルス対策による効果で新規感染者数が減少し、人々の行動範囲が拡大してきたら消費意欲も回復してくると考えているが、直近の2～3か月での早期回復は期待できないと捉えている。早くて年末か年明け頃から対策の効果が出てきて、順調に事態が収束したとしても、本格的に回復してくるのは来春頃になるのではないかとみている。
		高級レストラン（スタッフ）	・10～11月は県外から20名以上の予約があり、前年と比べ2倍以上受注しているが、新型コロナウイルスの感染状況次第で延期やキャンセルがあるとみている。
		都市型ホテル（役員）	・ワクチン接種が進み、新規感染者数が減少することにより、宿泊予約は減少から増加に転じるとみている。
		タクシー運転手	・まん延防止等重点措置が解除され、ワクチンの接種者が増えてくれば、少しずつ回復傾向になるとみている。
		通信会社（営業担当）	・毎年恒例の新機種発表の時期であり、その販売が見込める。
		美容室（経営者）	・ワクチンの2回接種がほぼ完了すれば、トンネルの出口もみえてくる。
		住宅販売会社（従業員）	・ワクチン接種が普及することで、客に変化が現れると考える。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	・報道等の影響により来客数が多少減ってきているように感じる。一方で、お盆等で来られない遠方の家族へのギフト系商材が増えてきている。それで少しカバーできており、この状況がしばらく続くのではないかとみている。
		百貨店（売場主任）	・ワクチンの3回目接種が現実的となり、状況の改善は見込めない。しばらくは外出を控える動きが続くため、厳しい状況が続くと見込んでいる。
		百貨店（販売担当）	・当面現状の低空飛行が続くとみているが、現状が底で、これ以上の悪化はしないと考える。しかし、需要の拡大には、まず新型コロナウイルスの感染者数の減少など目に見える変化があり、旅行などに行こうという心理の回復が必要である。新型コロナウイルスの影響次第ではあるが、年末頃には少し拡大を期待している。9月以降は期待を込め、攻めの態勢で臨む予定である。
		スーパー（店長）	・ワクチン接種が完了するまでは新型コロナウイルスの影響を受け続けるとみている。短期的には現状の景況感から変動はないと考える。
		コンビニ（経営者）	・しばらくは変わらないと考える。
		コンビニ（営業）	・ワクチンの接種状況やワクチン接種者が感染した場合の症状など、安心できる情報がマスコミから提供されれば、状況が少し緩和すると考える。
		コンビニ（営業）	・新型コロナウイルスの影響により、消費動向の回復に見通しが立たない。
		家電量販店（店長）	・目新しい商品などもなく、平年並みに落ち着きそうである。
		家電量販店（本部）	・新型コロナウイルスの影響が、冬に向けて落ち着くことはないかとみている。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・とにかく時短営業などが終われば少し取り戻せると考えるが、一旦下がったものが伸びてくることは最近なかなかないので、余り期待できない。
		スナック（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの感染や国内外の情勢の影響があり、希望のある先行きが見えない。
		観光型旅館（経営者）	・ワクチンの接種比率が増えることによりGo Toキャンペーンの再開など期待したが、全く先が読めない状況である。
		旅行代理店（従業員）	・現在の感染者数の増加は1か月以内に収まる方向になるとみているが、新型コロナウイルスの変異株が流入しているという報道があり、2～3か月先は全く読めない。
		通信会社（職員）	・新型コロナウイルス禍で客のところへの訪問を控えざるを得ないことによる影響は少なからずある。
		通信会社（営業担当）	・夏のボーナス時期を期待していたが大きな変化はなく、販売量も前年と同様に推移している。
		通信会社（役員）	・新型コロナウイルス禍では消費者マインドが良い方向に大きく振れるとは考えにくく、今月と変わらず、放送、通信の契約者数は前年同期と同レベルで推移するものと考えられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（役員）	・新しい生活様式の浸透をにらみ、当社の事業内容も変化する必要がある。うまく適合できれば景気は良くなると考えているが、2～3か月ペースで新型コロナウイルスの感染が収束しているとはみられず、大きな変化は見込めない。
		テーマパーク（役員）	・新型コロナウイルスの感染が収束する方向をなかなか見通せず、緊急事態宣言等も解除になる見込みも薄い。先行きの予約状況も厳しいことから、現状と変わらない状況が続くとみている。
		住宅販売会社（従業員）	・今までより金額が上がれば契約が難しくなるのは仕方がないが、他社との差別化を明確にして客の困り込みを行うことと、より付加価値のある商品開発が大切になると考える。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの終息が見えない限り、業績の良い業界と悪い業界の差が激しく、競争状態が続くと考える。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・新型コロナウイルスの感染収束にめどが立つまで、悪い状態は続くだろう。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しても、すぐに活動的にはならず、マイナス基調は継続するとみている。食品を中心に巣籠り需要対策や、お取り寄せなどの企画をしてもパイが小さく、マイナスをカバーできないのが現状である。
		スーパー（仕入担当）	・原材料の価格高騰や、製造過程でのクラスター発生による品薄のため、販売量、販売金額共に悪化してくるとみている。
		スーパー（店舗管理）	・原材料費の値上げに伴う食品の値上げにより、更に売価を意識した客層がドラッグストア等の低価格販売に流れるとみている。
		コンビニ（店長）	・現在の売上向上はまん延防止等重点措置適用中の、昼食をコンビニ弁当にせざるを得ないというやむを得ない選択からくる特別なものである。まん延防止等重点措置の解除、若しくは規制に慣れてしまい、客がふだん同様の動きをすると、以前の売上に戻るとみている。そもそも景気が回復して売上が上がっているのではないので、特需のある今よりは確実に悪化すると考える。週末等、休みのタイミングで必需品以外の販売が低迷している状況からも、景気は相変わらず良くないと考える。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染はすぐには収まらない。
		衣料品専門店（経営者）	・ワクチン接種で極端に景気が回復するとは考えにくく、しばらくは一進一退が続くものとみている。
		衣料品専門店（経営者）	・出口がみえない事象について、先行きの不安と恐怖感が増加すると考える。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車業界では半導体不足の影響がまだ続くともられ、他業種では新型コロナウイルス禍での行動自粛等による影響で売上減少が大きくなり、景気が悪くなると考える。
		乗用車販売店（従業員）	・半導体不足の影響が大きくなってきている。
		乗用車販売店（役員）	・半導体や自動車部品の供給遅れによる生産ラインの停止日数が徐々に増えており、経済活動全般で停滞する傾向がみられる。消費活動においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大により厳しい状況が長く続いており、収束の見通しが立たないことでますます下降していきと考える。
		住関連専門店（役員）	・新型コロナウイルスの影響を含めて不透明な部分が多いが、感染拡大が収まらなければ客足は遠のき売上に影響するし、感染拡大が収まり消費が外向きに変り始めたとしても、客足が遠のき売上に影響する。
		一般レストラン（店長）	・新型コロナウイルスの感染が広まり、終息の気配がない。手の打ちようがない。
		観光型旅館（スタッフ）	・夏休みに入り予約は増加していたが、新型コロナウイルスの感染拡大で緊急事態宣言地域及びまん延防止等重点措置地域が拡大し、新規予約とキャンセルがほぼ同数になってきている。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		通信会社（店舗統括）	・下降傾向が止まる気がしない。
		パチンコ店（経理）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増減に影響されそうである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		競輪場（職員）	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置によって、場外車券売場が発売中止となっていることから、感染状況が改善しなければ売上増加は見込めない。
		その他レジャー施設 〔スポーツクラブ〕 （総支配人）	・現役世代へのワクチン接種も何とか開始されたが、感染拡大の勢いがあるので世間に安心感は全く出てこない。できるだけ早く全世代へのワクチン接種が始まり、安心感が広がることを願っている。
	×	商店街（代表者）	・ワクチン接種で経済活動に少し動きが出るかと期待していたが、変異株の登場で予想は大幅に変わってきている。秋の衆議院選挙でまた客が少なくなるとみられ、この状態が当分続くかと覚悟している。
	×	商店街（代表者）	・市内は感染者数が高止まりで、全国的には感染者数が増加傾向である。ネット通販も今は横ばいで、特に高額の商品は全く動いていない。
	×	一般小売店〔事務用品〕（店長）	・金を使わないことに客が慣れてきてしまっているように感じるので、今後客の購買意欲が上がるとは考えられない。
	×	一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・2～3か月で新型コロナウイルスの感染状況が劇的に解消されるとはみていない。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・変異株による感染者の急増で先が見えない。
企業 動向 関連  (北陸)		一般機械器具製造業 （総務担当）	・2022年前半まで当社製品に対してバックオーダーを抱えており、今後も受注が見込めそうである。
		繊維工業（総括）	・全体としては回復基調であるが、自動車用途が半導体不足の影響により先行き不透明になっていることと、世界的な変異株による新型コロナウイルスの感染拡大の影響を懸念している。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・全国にわたる新型コロナウイルスの感染拡大が今後当面継続する影響で、なかなか本格的な回復には至らないとみている。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の受注の入り具合から、変わらないとみている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・約1年前より右肩上がりを受注状況は改善してきているが、東南アジアを中心に新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、自動車メーカーを中心に受注が減速傾向であるため、この先は輸出中心に厳しい状況になるとみている。一方、国内の政治不安についての影響は限定的と考えている。
		建設業（経営者）	・現総理は新型コロナウイルス対策に明かりがみえてきたと言ったが、そのように感じる国民は少ないだろう。新型コロナウイルスにおびえる状況が年内に解消する見込みはなく、景気の回復も見込めないと考える。
		建設業（役員）	・資材価格の動向が引き続き懸念される状況で、先行きは判断しにくい。
		輸送業（管理会計担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、収束の見通しが立っていないことから景気の先行きに不透明感がある。
		金融業（融資担当）	・新型コロナウイルス感染者数の急増により多くの都道府県で緊急事態宣言が発出され、経済活動が制限されている。在宅や巣籠り需要は底堅いが、観光や飲食とそれに関連する業種は当面厳しい状況が続く。
		不動産業（経営者）	・現在は法人客からの引き合いや問合せが少ない。個人客からの問合せも今は少ない状況が続いている。
		広告代理店（経営者）	・まん延防止等重点措置の影響が大きく、今後どうなるかみえてこないかと、変化はないと考える。
		司法書士	・一部の会社では、事業承継がうまくいったものやネット販売等の新規事業、新たな子会社設立の動きがあるが、飲食店や小売業ではかなり厳しい状況が続いている。
		税理士（所長）	・新型コロナウイルスの影響が大きい。今後、感染がアジアで落ち着いてくれば、部品も順調に供給され、いろいろな面で輸出の滞りがなくなっていくだろうという期待はある。新型コロナウイルス次第という回答では説明にならないが、新型コロナウイルスに振り回されている。
	食料品製造業（経営企画）	・当面の受注や販売面に関しては楽観視している一方、原材料や燃料など複数のコストアップ要因に直面しており、採算性の悪化を見込んでいます。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信業（営業）	・新型コロナウイルスの感染者数が今後も増加すれば、景気の先行きは不透明である。現状では良くなる材料が見付けられない。
	x	金融業（融資担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加、まん延防止等重点措置対象地域の拡大で経済への悪材料がそろっている。北陸3県でも感染者数が増えており、県内でも感染状況の悪化で飲食、小売、観光業は関連業種含めて大打撃である。回復するのに相当時間が掛かる。
雇用 関連 (北陸)		-	-
		人材派遣会社（社員）	・上期から下期への期変わり時期であるとともに、新型コロナウイルス対策のワクチン接種の割合が増加することで安全が担保され、いよいよ本格的に経済が回り出し、求人求職共に少し良くなると考える。
		職業安定所（職員）	・11～12月は、前年同様に新型コロナウイルスの感染状況が一時的に落ち着くとみている。飲食業が少し活気付くと考える。
		人材派遣会社（役員）	・求人数が少ない。求職者の派遣登録も増えない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・求人意欲のある企業が少ない。
		新聞社〔求人広告〕（営業）	・新型コロナウイルスの終息がイメージできないと、企業の意気が上がらないと考える。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・県内でも新型コロナウイルスの感染が拡大し、当地域はまん延防止等重点措置の対象となっている。この期間を経て新規感染者数は減少に転じるのだろうが、ワクチン接種が完了し、さらには治療薬の開発や普及が進まないことには状況の好転は望めないとみている。
		職業安定所（職員）	・ワクチン接種が増加すれば、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少すると言われていたが、現状では感染者数は増加傾向にあり、先行きが不透明なため、新規求人を出し控える事業所が多くなるとみている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルスによる感染拡大のなか、予防関連商品や医薬品などの一部を除いて、まだ活発な経済環境には程遠い感じがする。
		学校〔大学〕（就職担当）	・求人数について、状況が変わる要素が見受けられない。
		-	-
	x	-	-

## 8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)		高級レストラン（企画）	・大阪の緊急事態宣言の解除後、地域観光支援事業やGo To Travelキャンペーンの再開により、来客数や客単価が回復する見通しである。
		一般小売店〔珈琲〕（経営者）	・ワクチンを接種した人が積極的に外出し始めているため、今後の接種の増加に伴い、人の動きが増えてくと予想している。
		百貨店（売場主任）	・現在は電話注文が多く、来店を避ける動きがある。新型コロナウイルスの感染拡大が収まり、自由に行動できるようになれば、これまでの反動でリベンジ消費が始まる。
		百貨店（商品担当）	・新型コロナウイルス変異株の感染拡大により、従来の方法だけでは対応できない状況となっている。また年末のボーナス商戦は、ボーナスの支給自体に不安があり、消費は若干改善されることはあっても、活発になるとは思えない。経済の活性化には、新型コロナウイルスの感染収束が不可欠であり、まだしばらくは時間を要すると予想される。
		百貨店（販促担当）	・ワクチン接種率の拡大で、8～9月がコロナ禍による影響のピークと予想され、街への人出の回復も期待される。長らく我慢が続くなか、年末には少し自分への御褒美消費が出てくる。外出の自粛が続く場合も、少しぜいたくな自宅でのクリスマスなど、消費意欲は今よりも高まると予想される。
		百貨店（マネージャー）	・ワクチン接種が若い世代にも進み、3か月後には新型コロナウイルスの感染も収まってくる。ただし、本格的な回復にはまだ時間が掛かる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（外商担当）	・ワクチン接種の増加による効果や、新型コロナウイルスの感染者数のピークアウトを前提に、今年の9～10月はイベントや催事など、富裕層に向けた販売促進活動を実施する予定である。
		スーパー（店員）	・秋はイベントが多いため、売上の増加が見込まれる。
		コンビニ（店員）	・緊急事態宣言が解除されれば、来客数も少し増える。
		住関連専門店（店長）	・今夏からは、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出ているか否かにかかわらず、お金を使う人は使い始めている。ただし、客単価は上がっている一方、相変わらず来客数や売上は減ったままで、以前の動きには程遠い。消費者の間に、二極化の動きが出てきたのではないかと懸念している。
		一般レストラン（経営者）	・飲食店はアルコールを出さなければ、やはり営業が厳しい。アルコールの提供禁止が解除されれば、来客数は増える。
		都市型ホテル（販売促進担当）	・正直なところ分からないが、ある程度は新型コロナウイルスの感染者数やワクチン接種数の影響を受ける。宿泊の予約では、9月は少し入っているが、10月以降は直近にならなければ分からない。ただし、ワクチン接種数が増えれば、景気も良くなるという期待はある。
		旅行代理店（店長）	・ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの感染者数が減ってくれば、需要が戻ってくると期待したい。
		旅行代理店（役員）	・ワクチン接種の加速による、新型コロナウイルスの感染ステージの改善という他力本願しかない。県民割がスタートする予定で期待しているが、いつになるかは分からず、客も動きにくい状況である。
		通信会社（社員）	・地方における働き方のスタイルも徐々に変化し、今後もインターネット接続サービスに関する需要は伸びていく。
		観光名所（経理担当）	・11月頃には、若い世代でもかなりの割合の希望者が、ワクチンを2回接種していると予想される。
		ゴルフ場（支配人）	・ワクチン接種率が上昇すれば、集団免疫の観点から、新型コロナウイルスの感染の急拡大が止まる。社会全体がコロナ禍前の状態に近づけば、来客数は増加すると予想している。
		その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設]（企画担当）	・ワクチン接種の進行でやや良くなる。
		住宅販売会社（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、徐々にコロナ禍以前の状態に戻っていくと予想している。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響がまだまだ続くと考えられる。必要な物しか買わない傾向が顕著である。
		一般小売店[花]（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束して、通常の営業ができない限り、小売業の回復は困難である。
		一般小売店[時計]（経営者）	・最近ではワクチンについて心配になるニュースが増えている。楽観的になれる材料がほとんどない状況で、今後は時計が一部で値上げになるとの話も、メーカーから出てきている。この数か月で時計以外の物も値上がりするなか、現状維持が精一杯であり、先行きが良くなる見通しはない。
		一般小売店[鮮魚]（営業担当）	・緊急事態宣言からまん延防止等重点措置に変われば、状況は少し良くなる。その一方、緊急事態宣言が継続となれば、変わらないか、やや悪くなる。
		一般小売店[家具]（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大で、今後どうなるかが不安である。
		一般小売店[野菜]（店長）	・3か月後に落ち着いているとは思えず、ますます悪くなっている可能性もあるため、期待できない。
		一般小売店[菓子]（営業担当）	・コロナ禍が落ち着かなければ、先行きには一向に期待できない。
		百貨店（売場主任）	・ワクチンの接種が進めば、新型コロナウイルスの感染が抑えられ、客の来店も増えることが期待される。ただし、仮にそうなったとしても、消費が以前のような水準に戻るには時間が掛かる。特に、ファッション関連や雑貨は、商品の生産が大幅に抑えられているため、数か月で回復するとは考えにくい。
		百貨店（企画担当）	・今後も新型コロナウイルスの感染者数に連動し、当分の間は一進一退の動きが続くと予想される。
		百貨店（営業推進担当）	・若年層やその家族に対する、新型コロナウイルスの感染は収まらないと予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（販売推進担当）	・ワクチン接種が進んでも、現在のように新型コロナウイルスの感染者数で一喜一憂する状況が続くようであれば、情勢としては何も変わらない。
		百貨店（外商担当）	・ワクチン接種が進み、40代以下の新型コロナウイルスの感染が落ち着けば、景気も回復するが、全く見通しは立たない。
		百貨店（サービス担当）	・現状は新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にある。緊急事態宣言が来月も継続し、食料品フロアなどへの来客数の制限が強化されれば、売上の確保も難しくなるが、傾向として大きな変化はないと予想される。
		百貨店（売場マネージャー）	・ワクチンの接種が進むが、新型コロナウイルス変異株の感染力は強く、現状から回復基調になるとは考えにくい。
		百貨店（売場マネージャー）	・ワクチンの接種が進む中でも、新型コロナウイルスの感染が拡大している。当社の商圏内の感染率も上がってきており、厳しい状況が当分続くと予想される。
		百貨店（マネージャー）	・全体的なワクチン接種の進展で一定の効果が目に見え始めるものの、大きな改善効果は期待できない。緊急事態宣言などの解除の見通しが立たないなか、人流抑制策などによる影響に振り回される状況が続く。また、それらへの慣れによる購買活動も散見されるため、全体としては小康状態が続く。
		百貨店（店長）	・ワクチン接種率ももっと上がってくれば、新型コロナウイルスの感染者数は徐々に減るが、その予想を裏付ける物が何もない。今は不安をあおっているだけなので、良くなる要素はない。
		百貨店（特選品担当）	・正直なところ、全く分からない。社会情勢の回復が全く見通せず、緊急事態宣言の再延長も噂されている。このような状態で景気が回復するとは思えない。
		百貨店（宣伝担当）	・以前は季節商材を中心に、緊急事態宣言の解除後のペントアップ需要を期待していたが、ここまで自粛期間が長くなると、百貨店の店頭で買物をしないことが当たり前になっている。今後も、入店の動きが回復しないのではないかと予想している。
		スーパー（経営者）	・ワクチン接種が進むが、医療体制が大幅に改善するまでは外食需要は盛り上がりせず、その分スーパーでの買物が続くと予想される。ただし、今後は原料価格の高騰による商品の値上げが相次ぐため、それが重しになりそうである。
		スーパー（店長）	・コロナ禍が収束するまでは、今の状況が続くと予想される。
		スーパー（店長）	・ワクチン接種は進んでいるものの、新型コロナウイルスの感染者数は増えている状況で、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの解除はなさそうである。それに伴い、買物や飲食、旅行などを控える人は今後も多いと予想される。
		スーパー（店長）	・コロナ禍の影響は今後も続き、消費者の購買動向にも変化はないと予想される。
		スーパー（店員）	・急に新型コロナウイルスの感染者数が増えたように感じる。従業員にも感染者が出ており、正直なところ怖い。長雨で野菜の値段が上がっている一方、感染者数も減らないため、この先良くなるとは思えない。
		スーパー（企画担当）	・現状は高止まりしている新型コロナウイルスの感染者数も、ワクチン接種者が増えることで、徐々に減る。今後、外食の制限が緩和されれば、家庭での内食需要も弱まり、売上に影響が出てくる。
		スーパー（経理担当）	・ワクチン接種が進み、社会活動が活発化することによって内食需要は少し減少するが、経済の活性化が進む好影響の方が大きい。消費者の心理に対しては、新型コロナウイルスの感染者数の減少も大きな要素となる。
		スーパー（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、感染収束の傾向はみられず、現状がしばらく続くと予想される。
		スーパー（開発担当）	・ワクチン接種率は余り上がり、客の様子を見ても、一度に多く購入して来店回数を減らしている。景気が良くなるどころではない。
		スーパー（社員）	・コロナ禍の拡大が続くなか、外食需要を取り込むことで食品部門は好調が続いており、当面は売上の増加が続く。同業他社の状況を見ても、当社よりも売上が伸びている会社が多く、客の消費は堅調に推移すると予想している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（経営者）	・早くコロナ禍が落ち着いてくれなければ、全く先が読めない。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が広まり、緊急事態宣言は解除されると予想されるが、企業が在宅勤務を推奨する風潮は定着しているため、来客数は以前の水準には戻らないことが懸念される。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染がいつ収束するか、見通しが立たない。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染者数は増えているが、客の雰囲気は緊急事態宣言のなかでもそれほど変化はないため、景気への影響も小さい。今後もコロナ禍なりの、良くない景気が続く予想される。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減らなければ、客足も伸び悩む。
		コンビニ（店員）	・コロナ禍は続いているが、店舗が住宅地のなかにあるため、近所の高齢の常連客は変わらず来店している。近場で買物を済ませたいという意識から、さほどコロナ禍に左右されずに営業できている。
		コンビニ（店員）	・しばらくは今の動きが続くと予想される。テレワークも周囲では進んでおらず、近隣企業の客も変わらず来店があり、来客数の変化は感じられない。
		コンビニ（店員）	・景気が向上し兆しは全くみられない。
		衣料品専門店（経営者）	・緊急事態宣言の発出や、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を見ると、まだまだ厳しい。
		衣料品専門店（店長）	・例年であれば、秋物商戦で来客数が増える時期となるが、今年は期待できない。ワクチン接種は進みつつあるものの、若い世代で新型コロナウイルスの感染者数が増えている。それに伴い、今までは大人から子供への感染が多かったが、今は家庭内で子供から大人に感染するという話をよく聞く。このまま悪い状況が続きそうである。
		家電量販店（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されなければ、今後の見通しが立たない。
		家電量販店（人事担当）	・単籠り消費の反動減による影響がなくなるまで、かなりの期間を要する。新様式の生活を象徴するような、新たな商品が出てくることを期待したい。
		家電量販店（企画担当）	・コロナ禍で消費者の収入が減少している上に、固定資産税や車検費用などの負担、在宅勤務などによる光熱費負担が、家計に大きく影響すると予想される。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が不透明である。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が再び増えているため、消費は積極的に行われぬ。
		乗用車販売店（販売担当）	・ワクチン接種率がどこまで上がり、治療薬の開発がどこまで進むのかは不透明である。先行きに明るい希望が欲しい。
		その他専門店 [ 宝石 ]（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収まらない限り、消費には関心が向かない。
		その他専門店 [ ガソリンスタンド ]（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の収束時期が見通せない。
		その他専門店 [ スポーツ用品 ]（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染第5波が収束するか、感染全体が収束するまでは、大きな変化はない。
		その他専門店 [ 医薬品 ]（管理担当）	・ワクチン接種の広がりといったプラス要素はみられるが、現状は緊急事態宣言の範囲が拡大するなど、景気が良くなる状況は見込めない。ただし、生活必需品の動きは現状維持が予想される。
		その他小売 [ インターネット通販 ]（オペレーター）	・パルスオキシメーターの購入希望の問合せは多数あるものの、今後の入荷状況は不安定であり、安定した受注にはつながらないと予想される。
		高級レストラン（スタッフ）	・まだまだ数か月では、状況は変わらない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が長期にわたって続いているため、パンデミックという意識が遠のき、人ごたのようになってきている。飲食店への規制も、もはや意味がなくなっているのではないかと感じる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・今後も大きくは変わらない。政府が更に厳しい措置を執れば、人の流れも変化し、売上は減少する。
		観光型ホテル（経営者）	・観光業では、コロナ禍が致命的な問題となっている。ワクチンの接種率が上がり、治療法が確立されない限り、今の状態が続くと予想される。1日も早くコロナ禍が収束に向かうよう願っている。
		都市型ホテル（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が収まらない限り、景気が上向くとは思えない。
		都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染が沈静化しなければ、景気の回復は厳しいと予想される。
		旅行代理店（支店長）	・東京オリンピック・パラリンピックが終わり、次の目標がみえていない状況のなかで、新型コロナウイルスの感染状況が悪化しているため、移動や旅行に対する消費者の意欲が改善する見込みが立たない。
		タクシー運転手	・緊急事態宣言が発出され、外出の自粛モードが続いているが、生活のレベルはこれ以上下げられない状況が続いている。天候要因以外での乗車の動きは余り変わらないため、今後もこの状況が続く。
		タクシー運転手	・少し良くなるかもしれないが、大きくは変わらないと予想される。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響が日常化し、現状の客の減少傾向が、夜間、日中共に恒常的な減少として定着している。
		通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況に左右される部分があるため、良くなる見通しが立たない。
		観光名所（企画担当）	・いつトンネルを出られるのか、全く先行きが見通せない。
		遊園地（経営者）	・緊急事態宣言の発出により事業活動の制限が続いている。新型コロナウイルスの感染者数は増加の一途であるため、現時点で将来に明るい見通しを持つことができない。全世代へのワクチン接種の早期実現を願いつつも、それで全てが好転するかについては懐疑的でもある。
		競艇場（職員）	・コロナ禍のなか、緊急事態宣言下の場外発売場では、1日の後半レース分が発売できない状況である。ただし、電話やインターネットでの投票が好調であり、目立った売上の減少はみられない。新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、しばらくは現状維持が続くと予想される。
		その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・新型コロナウイルス変異株の感染拡大について、ピークアウトの時期が予測できない。
		その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	・まず、新型コロナウイルスの感染状況がピークアウトしなければ、消費は回復しようがない。消費者もロックダウンを意識し始めている。
		その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・大阪では4度目の緊急事態宣言が発出されているが、万全な対策の下で、久しぶりにコンサートが開催された。プロ野球の入場者数は依然として5000人が上限であり、3か月後の状況は不透明であるため、基本的には現状と変わらない。
		その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・ワクチン接種の進み具合や、その効果により、今後の状況は変わってくる。
		住宅販売会社（従業員）	・コロナ禍によって住環境への関心は高まっており、需要も非常に増えているが、供給件数は増えていないため、好調な販売が続くと予想される。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	・大型イベントが開催できないため、住宅展示場への来場者数は減少が続くが、Web対応の強化もあり、各モデルハウスの見学予約客は増えている。今後も一定の契約数は確保できそうである。
		一般小売店〔呉服〕（店員）	・着付けの際に、どうしても密になるため、新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、回復は無理である。
		百貨店（マネージャー）	・京都市内を中心にワクチン供給が遅れており、2回の接種完了までの見通しが立っていないため、来客数は短期間では戻らない。秋冬物の重衣料の動きは、行楽や外出といった需要に左右される部分もあり、購買意欲が高まる要素は少ないと予想している。
		スーパー（企画担当）	・来客数が戻る要素はなく、先行きは不透明である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えているため、今まで出歩いていた人も外出を控えると予想される。また、10月の賃金改定で人件費が上がるため、企業側も雇用に対して更にシビアになる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えているが、テレワークが増え、ワクチン接種の効果も出てくれば、今後は減少に向かう。ただし、来客数は今の状態が続き、前年比で20%以上減少すると予想される。
		コンビニ（店長）	・緊急事態宣言が続くため、今後が見通せない。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・来客数が非常に少なく、売上が減少している。飲食店ばかりではなく、物販店にも金銭的な支援をしてほしい。
		家電量販店（店員）	・インターネット環境の充実により、客の情報収集力が上がる反面、偏った情報による客への影響が大きくなる。そうなれば、店頭販売での購入は価格に左右される傾向が強まると予想される。今後、量販店では情報を正確に発信し、インターネット経由の客への信頼性を上げることが必要になると感じている。
		乗用車販売店（経営者）	・確実に仕事量が減っている。それは同業他社も同じであり、出口が見通せない、不安な状態が続いている。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少しており、車検や販売の予約も増えていない。
		乗用車販売店（販売担当）	・需要はあるものの、半導体不足の影響で車の生産が制限されているため、販売できる車がない。このまま影響が続けば、更に販売台数の減少は続く。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・ボーナスの支給時期によく売れていた、化粧品などの売上が前年を下回っている。接客する回数も減っており、クーポンを出しても来客数がなかなか増えないため、やはり新型コロナウイルスの感染が落ち着くまでは、収入の減少や節約志向が強まることが予想される。
		その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	・商店街の動きを見てみると、成り行きまかせと感じるほど何も手を打たないため、衰退していく一方である。
		一般レストラン（店員）	・新型コロナウイルスの感染者数が減少しない限り、今後の予測ができない。
		一般レストラン（企画）	・緊急事態宣言の発出から約3週間が経過したが、新型コロナウイルスの感染者数は増加が続いている。宣言の延長も懸念されるなど、全く先が見通せない状況である。また、緊急事態宣言の対象地域も拡大し、関西全域に広がっていることから、今後は更に悪くなると予測している。
		観光型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスの感染については、若年層のワクチン接種が完了するまでは収束しない。
		観光型旅館（団体役員）	・周囲の府県に加え、当県でも新型コロナウイルスの感染拡大が続いているため、観光客による外出の自粛傾向はやむを得ない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言の解除後も、しばらくは予約を控える客が多く、直近でのキャンセルも相次いでいる。一方、予約は取りたいが、従業員の感染も心配である。忘年会、新年会の予約は受けているが、新型コロナウイルスの感染収束のめどが立たず、厳しい状況になると予想している。
		都市型ホテル（フロント）	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの感染者数が減らないことには、レジャーに伴う利用の回復は見込めない。また、レストランではディナーを休業しているため、非常に厳しい状況が続くと予想される。
		通信会社（経営者）	・京都府下での新型コロナウイルスの感染拡大による影響が出る。
		通信会社（企画担当）	・まだしばらくは、今の状況が続くと予想される。
		テーマパーク（職員）	・世の中の空気が変わるきっかけがなければ、観光や娯楽関連はいつまでも低迷すると危惧している。休日に遊びに出掛けることが当たり前の世の中には、なかなか戻らないと予想されるが、Go Toキャンペーンのような、少しでもそれに近づくような施策が必要だと感じる。
		その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・オイルマッサージで服を脱ぐため、暑い時期よりも寒い時期の方が来客数は減少する。
		住宅販売会社（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの対策が続くと予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住宅販売会社（総務担当）	・現状維持には、新型コロナウイルスの感染収束の兆しが必要となる。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・金融機関の融資姿勢が厳しくなる。
		その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・地方の営業所で新型コロナウイルスの感染者が出てしまい、業務が滞っている。数日後には応援に駆り出されるため、本社の機能にも影響が出ることは間違いない。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・不動産の用地価格の高騰が続いている。資材価格は既に高騰していたが、更に上昇傾向にある。富裕層や高所得層の動きは引き続き堅調であるものの、市場全体では少しずつ悪化トレンドに転じる可能性が出てきている。
	×	一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数が増え続ける。
	×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数は、この先増加していくことが予想され、それに伴い経済も停滞していくことになる。感染が落ち着かなければ、安心して買物に出ることもできず、不安要素が多いほか、将来に明るい光が見られない。
	×	一般小売店〔花〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響で、外出することを控えており、対面販売にも不安を感じている。感染者数は増えており、更に外出を控えて来店しなくなるため、売上は減少すると予想される。
	×	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染状況について、好転するきっかけがつかめない。ワクチン接種だけでなく、治療薬も含めた、感染対策の進展を期待している。
	×	百貨店（企画担当）	・前年は夏以降、入店客数、売上共にやや持ち直したが、今年は新型コロナウイルスの感染者数が増加しており、良くなる要素が見当たらない。
	×	百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、消費マインドの低下が続く。
	×	衣料品専門店（経営者）	・ワクチンを接種しても、新型コロナウイルスの感染者数が増えている以上、年内に景気が回復する見込みは立たない。
	×	衣料品専門店（経営者）	・好調といわれている通信販売業界も、卸売業者やメーカーが廃業すれば成り立たなくなる。そうならないように、保護する体制を整えてほしい。
	×	衣料品専門店（販売担当）	・新たな新型コロナウイルス変異株の感染者が発生している。市中感染らしく、今後どうなるのかが不安で仕方がない。
	×	家電量販店（店員）	・緊急事態宣言により、新型コロナウイルスの感染者数が減少しない限り、景気の悪化は避けられない。若年層へのワクチン接種が急務であり、感染の収束が見込めれば、景気の回復も期待できる。
	×	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染収束時期が見通せない以上、今後の景気回復には期待できない。ワクチン接種も若年層の間では広がっていない。今後、持ちこたえられない飲食店やレジャー施設が増えて、経済活動に支障が出ることで、景気は低迷すると予想される。
	×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・恐らく緊急事態宣言は解除されないため、絶望的な売上が続きそうである。また、国の対策として客の動きを減らしているにもかかわらず、食品の卸売業者には何の補償もなく、話題に挙がることもないため、見捨てられたように感じる。
	×	その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・ワクチン接種が進んでも、新型コロナウイルス変異株の感染拡大は止まらない。自粛疲れで外出する人がいるかもしれないが、客足も増えそうにない。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・政府は気をつけてほしいと要請するだけで、同じような状況が続いている。ロックダウンをするでもなく、要請するだけでは、コロナ禍は収束に向かわない。一時的にでも、しっかりと感染対策や人流を減らす対策を採らなければ、いつまでもこの状況が続く。このままでは絶対に駄目である。
	×	その他飲食〔ジャズバー〕（店員）	・コロナ禍が続くなかでは、何も変わらない。
	×	観光型ホテル（経営者）	・9月以降は元々団体客の占める割合が高いため、個人客がどの程度動くかに懸かっている。当地域で発出されている緊急事態宣言も、恐らく9月12日には解除されないため、見通しはかなり厳しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染収束の兆しがないなか、更に緊急事態宣言下においては、観光、旅行業界は、引き続き厳しい状況が続く。
	×	観光型旅館（経営者）	・9月12日で緊急事態宣言は解除できず、また延長されると予想される。秋の需要にはもう期待できない。
	×	都市型ホテル（客室担当）	・東京オリンピック・パラリンピックで明るい話題が増えているが、新型コロナウイルスの感染拡大による、緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用で、更に客足が遠のくと予想される。ワクチン接種の拡大による、感染の抑制に期待している。
	×	都市型ホテル（管理担当）	・新たな新型コロナウイルス変異株も発見されており、一旦宣言が解除されても、再び感染者数が増えることが予想される。当分良くなるとは考えにくい。
	×	タクシー運転手	・ワクチンの効果はみられるが現在の対策ではらちが明かない。大阪も、新型コロナウイルスの感染対策と経済活動を両立させるために、せつかく店舗へのゴールドステッカーの提供を始めたのに、先行きへの展望が感じられない。
企業 動向 関連 (近畿)		木材木製品製造業（経営者）	・客からの発注は伸びているが、新型コロナウイルスの影響で、7月中旬からは海外でのロックダウンが増えた。それに伴い、海外からの商品の入荷が8月上旬で止まってしまった。9月中の再開を期待しているが、予断は許されない。少なくとも、ロックダウンが続く間は売上が極端に落ちそうである。
		電気機械器具製造業（経営者）	・これまで世界では技術革新が進んできたが、限界に直面したような印象を受ける。原子力発電に夢はなくなり、ガソリンエンジン車も制限されつつある。電気自動車への強制的な転換が進む間は、つかのまの好調を満喫できるのか、不安を感じる。
		食料品製造業（従業員）	・秋に向けて、家庭用プライベートブランドの新製品の販売がいくつか決まっているため、既存の製品を含め、家庭用製品の販売量は増加が見込まれる。
		繊維工業（団体職員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、緊急事態宣言については解除が見込まれる。
		化学工業（企画担当）	・年末の食品需要期が近づくほか、ワクチン接種が進み、消費の拡大が再開すると予想される。
		金属製品製造業（開発担当）	・受注量が減少していないため、今後は良くなる。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・引き合いの件数が増えてきている。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	・今月は特に落ち込んでいるため、今よりは良くなると予想される。
		金融業（副支店長）	・ワクチン接種率も徐々に上がってきているため、新型コロナウイルスの感染拡大は落ち着くと予想され、景気も少し回復してくる。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・取引先からは、増産に関する情報がない。
		化学工業（経営者）	・ワクチン接種率の上昇による、新型コロナウイルスの感染収束を期待したいが、ワクチンを打たない人が一定数以上いる限り、1日に2万～3万人が感染する可能性があり、緊急事態宣言はいつまでたっても解除されることはない。重症化しないワクチン接種者も増えているため、そろそろ報道も日々の感染者数の報道はやめて、重症者数と死者数だけで判断すればよい。緊急事態宣言の解除条件も、重症者数や病床使用率、死者数に変更した方がよいと考えられる。
		窯業・土石製品製造業（管理担当）	・新型コロナウイルス変異株の感染が拡大するなど、明るい材料はないが、ワクチン接種は進んでいるため、大きな変化はないと予想される。
		一般機械器具製造業（経営者）	・既に、前年から景況は最悪の状況であるが、回復の兆しはない。
	一般機械器具製造業（設計担当）	・飲食関連はまだまだ上向かないが、それ以外の業種では緩やかな回復傾向が期待できる。	
	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束し、緊急事態宣言が解除されなければ、リモートワークは続くため、この状況はまだしばらく続くと予想される。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない状況では、積極的な設備投資には慎重である。建設資材価格の高騰で、今後はより厳しい価格競争が予想される。
		輸送業（商品管理担当）	・緊急事態宣言が延長され、酒類の販売量が減っているため、景気は良くならない。
		金融業〔投資運用業〕（代表）	・冬頃までにワクチン接種は完了するため、それ以降は徐々に新型コロナウイルスの感染も落ち着いてくる。その後を追うように経済の回復は始まるが、本格的な回復はやはり年明け以降と予想される。
		金融業（営業担当）	・コロナ禍による影響は大きく、大阪での新型コロナウイルスの感染者数の増加もあり、業況の改善は厳しい。
		広告代理店（営業担当）	・まだ回復の時期がみえてこない。
		広告代理店（営業担当）	・紙媒体、Web媒体共に、広告の受注量は前年を上回っているが、2年前の水準は下回っている。
		司法書士	・ワクチンの接種が進み、新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向にならない限り難しい。
		経営コンサルタント	・売上を回復させている企業は少なく、感覚的には3割程度であり、今後は規模の縮小や倒産が増えていくと予想される。
		その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が早く収束しなければ、変わらない。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・ワクチン接種が思うように進まないなか、程度の差こそあれ、医療体制のひっ迫は続くことになる。それに伴い、年末にかけても、外出の自粛や各店の営業自粛が続くと予想される。
		繊維工業（総務担当）	・ここ2～3か月、靴下の販売状況は急激に悪化した。特にスポーツ用の商品が顕著である。新型コロナウイルスの感染者数の急激な増加によるものであり、ワクチン接種により感染状況が好転しなければ、この状況からの変化は期待できない。
		繊維工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染収束が進まなければ、人の動きが活発にならず、催事の集客減少につながる。
		出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・ワクチン接種が進むとはいえ、新型コロナウイルスの長期的な影響により、受注量の急回復はないと予想される。
		化学工業（管理担当）	・自動車メーカーから大幅な減産が発表されており、今後は受注量が減少すると予想される。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・仕事を作り出そうとする動きはひしひしとを感じるが、社会全体として消費意欲が低く、製品化につながらないように感じる。一方、以前から各社は不良率の低減に力を入れており、支出をいかに減らすかに重きを置いている。こういった部分も、売上が伸びない結果につながっていると感じる。
		金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、半導体などの海外からの部品が入荷不足となっている。自動車各社の9月以降の減産による関連部品の減少もあり、一時的に在庫調整が起きる可能性もある。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・大阪でも新型コロナウイルスの新規感染者数が増えているため、今後どうなるかは分からない。
		その他製造業〔履物〕（団体職員）	・新型コロナウイルスの感染第5波に対し、緊急事態宣言が発出された。対象範囲が拡大中であり、感染の収束もみえないため、影響はまだまだ長期化すると予想される。
		建設業（経営者）	・これ以上外出自粛が続けば、営業活動に支障を来す恐れがある。消費マインドの低下も懸念される。
		輸送業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で客が減っているほか、感染者数も増え、配達が先送りになるケースが多くなっている。
		輸送業（営業担当）	・海外生産の一部を国内生産に変えた、電子部品関係の工場からの荷物は増えたが、それ以外の工場では減産が続いている。
		通信業（管理担当）	・景気の良くなる要素が見当たらない。
		経営コンサルタント	・良くなる兆候や良い材料が見当たらない。新型コロナウイルスの影響に加え、政府の対策の内容や、スピードの改善もみられない。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、先行きが全く見通せず、状況は悪化する一方である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・緊急事態宣言の解除時期やワクチン接種後の状況が見通せない。現時点では、人流を抑える方針が続くように感じる。
	×	金属製品製造業（営業担当）	・鋼材価格の更なる値上がりが見込まれ、一段と採算が厳しくなる。
	×	不動産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、今後も事務所や店舗の解約が続く。それに伴い、将来の景気もまだまだ悪化していく。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染収束が見通せない。
雇用 関連 (近畿)		人材派遣会社（支店長）	・下期に向けて、かなり上向くことが予想される。
		人材派遣会社（営業担当）	・ワクチン接種が進み、企業の間でも増員などの話が出てきている。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えているため、今後も各種書類の審査やワクチン接種の受付といった、特需による求人が入ってくる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・新卒採用市場では、2～3か月単位で景気の動向が変わることは少ないが、10～11月は次年度の採用を見据えた、冬季インターンシップや業界研究イベントに向けた広報のタイミングとなる。次年度の採用を予定している企業からの、問合せや依頼が増える時期になると予想される。
		人材派遣会社（経営者）	・今後の景気動向は、新型コロナウイルスの感染収束次第である。各社はここへきて相当慎重になっており、新規採用はギリギリまで試行錯誤が続くことが予想される。そうなれば派遣会社の出番となり、人材は集めやすくなる。
		人材派遣会社（役員）	・ワクチン接種者が増えても、新型コロナウイルスの感染者数が増え続けている。感染対策を経済重視に転換しない限り、景気の回復は遅れる。
		人材派遣会社（営業担当）	・ワクチン接種以外の、政府の具体的な景気対策がない。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・ワクチン接種が進んでおり、今後新型コロナウイルスの感染が収束する可能性も出てきたが、この2～3か月で変化があるとは考えにくい。
		職業安定所（職員）	・求人は底堅く推移しているが、求職については、ワクチンの接種を終えて活動を再開する人と、新型コロナウイルスの感染を心配して活動を見送る人がみられ、全体的には不安定になっている。
		職業安定所（職員）	・ハローワークの窓口では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、しばらく求職活動は様子を見たいという声や、ワクチン接種後に積極的に活動したいといった声が多い。一方、緊急事態宣言の対象地域以外の店舗では、募集を掛けても全く応募がなく、アフターコロナの人手不足が懸念されるといった、飲食チェーンからの声もある。
		民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルス変異株への対応次第で、状況は左右される。
		学校〔大学〕（就職担当）	・ワクチンの接種状況に加え、新型コロナウイルスの感染収束がみられなければ、景気が良くなるとは思えない。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・緊急事態宣言が発出されても人流が減少しておらず、効果的とはいえない。政府の施策も後手に回っており、成果が全く出ていない。感染力の強い、新型コロナウイルス変異株の感染拡大は今後も続くと思われる。ワクチンの接種も遅れている。景気が良くなる気配は全くなく、国内のワクチン接種者数が欧米並みになると予想される11月頃までは、景気の悪化が予想される。
		職業安定所（職員）	・6月以降の特徴として、求職活動はワクチンを接種してからという傾向が顕著であったが、最近は接種をしても不安が強く、当分は求職活動も控えたいという動きが強まりつつある。それに伴い、企業も人材の確保が難しくなり、経済活動にも影響が出てくる。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・東京オリンピック・パラリンピックの終了後も、新型コロナウイルスの感染収束のめどが立たない状況では、回復の兆しが全くみられない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、先行きも不透明なため、景気の減速による求人数の減少が懸念される。

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (中国)		-	-
		商店街（理事）	・今よりは状況が改善し、景気はやや良くなる。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	・前年も新型コロナウイルスの影響を受けながらも、年末年始にかけては景気が回復傾向になったことから、今年も年末年始にかけて景気が回復する。
		百貨店（外商担当）	・余りにも否定的な報道が多いので、人々が委縮している。新型コロナウイルスの影響は想像を超えているが、ワクチン接種が一通り終了し、新型コロナウイルスがピークアウトしてしまえば、景気は回復してくる。
		スーパー（店長）	・8月は長雨の影響で景気が悪化したが、天候が回復すれば、今後、景気はやや良くなる。
		スーパー（総務担当）	・天候が回復し、商品価格が安定してくれば、景気は落ち着いてくる。
		家電量販店（店長）	・来客数が元に戻ってきているため、今後、景気はやや良くなる。
		家電量販店（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、2～3か月後には、ほぼ国民全員がワクチンを接種できるため、景気は回復する。
		家電量販店（販売担当）	・決算期になるので、景気はやや良くなる。
		乗用車販売店（店長）	・新型車が来春まで随時発売される予定であり、明るい話題として盛り上がっていく。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・今後も新型コロナウイルスの動向に左右されるが、今回の第5波が収まり、新型コロナウイルスの感染が落ち着けば、年末の景気は今よりも改善する。
		バー（経営者）	・緊急事態宣言が解除されれば、景気はやや良くなる。
		タクシー運転手	・今が最悪の状況なので、今後はやや良くなる。
		観光名所（館長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が予定どおり進めば、人の動きも出てくる。
		商店街（代表者）	・若いメンバーが新しいイベントなどを企画して、新型コロナウイルス禍でのにぎわいづくりに尽力しているが、すぐに効果は上がらない。景気はしばらくは現状と変わらない状況で推移する。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響が続く限り、来客数や売上が減少する状況は変わらない。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響が続き、人が出歩かず、特に衣料品の需要が落ち込んでいるため、景気は良くならない。
		百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、景気が回復することはない。
		百貨店（営業担当）	・一旦は景気が落ち着くかもしれないが、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでも感染者が出る限り、回復の見通しが立たない。前年と比べ売上が厳しい取引先も多く、地方店などは運営自体が難しくなっていく。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が減少しない限り、来客数は増加しない。
	百貨店（営業企画担当）	・東京パラリンピック終了後の政府の対策に左右されるが、今のままでは新型コロナウイルスが終息しない状況が続く。	
	百貨店（外商担当）	・8月27日からの緊急事態宣言の発出で、今後一層、客の購買意欲が低下し、景気は厳しい状況になる。	
	スーパー（店長）	・緊急事態宣言が発出されるが、近隣の商業施設の状況や飲食店の時短営業を考えると、今後も景気は変わらない。	
	スーパー（店長）	・今後も来客数の減少が続く。	
	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。	
	スーパー（店長）	・緊急事態宣言の発出もあり、現状よりも客の来店頻度が低下する。商圏内でも新型コロナウイルスの新規感染者数が増加してきており、先が見えない状況である。商圏内の所得についても、減少傾向にあり、消費自体も冷え込む可能性がある。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着くまでは現状は変わらない。
		スーパー（業務開発担当）	・安心して買物に出掛けられるような環境にならないと今後も厳しい状況が続く。
		スーパー（営業システム担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあるものの、積極的に自粛する傾向がないため、内食需要はこれまでと変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響で、まだまだ先行き不透明な状況が続く。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・緊急事態宣言が延長すれば、状況は変わらない。新型コロナウイルスのワクチン接種が進むと、感染者数が減少するが、いかに、近隣の客相手に商売をしていくかが今後の鍵となってくる。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で買物を我慢していた客が、最近、徐々に戻ってきているが、景気はすぐには回復しない。
		衣料品専門店（代表）	・今後も新型コロナウイルスの感染が拡大し、緊急事態宣言の発出が繰り返されるようであれば、景気は良くならない。
		家電量販店（店長）	・9月にイベントを計画していたが、新型コロナウイルスの影響で中止となる。こうした状況が続く限り、景気は変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・半導体不足の影響もあり、新車の納期が遅れ、客が中古車の購入に流れるため、景気は良くならない。
		乗用車販売店（営業担当）	・世界的に新型コロナウイルスが終息しなければ、半導体不足も解消されず、厳しい状況になる。
		乗用車販売店（営業担当）	・来客数や販売台数から判断すると、今の状態が続きそうである。
		乗用車販売店（営業担当）	・販売台数が低迷しており、前年超えが難しい状況が続いている。部品の調達ができず、新車の製造が遅れているため、今後も景気は良くならない。
		自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が終息しない限り、売上の増加は見込めない。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の終息が見通せないため、景気は変わらない。
		高級レストラン（事業戦略担当）	・景気は新型コロナウイルスの動向に大きく左右されるため、感染が落ち着けば、少しは元の状態に戻ってくる。
		一般レストラン（経営者）	・もう誰もが新型コロナウイルスのワクチン頼みで、感染が終息することを期待しておらず、客の外食需要が高まる望みも薄いため、景気は変わらない。
		一般レストラン（店長）	・まん延防止等重点措置が緊急事態宣言に切り替わり、期間も更に延長される可能性がある。今までも時短営業と解除の繰り返しを続けており、根本的な解決にはなっていないため、景気はすぐには回復しない。
		観光型ホテル（営業担当）	・景気が良くなる見込みがない。
		都市型ホテル（企画担当）	・見通しが全く立たない状況に変わりはない。先行受注があっても、新型コロナウイルスの感染状況次第であつという間にキャンセルになってしまうため、景気は変わらない。
		タクシー運転手	・9月から飲食店等に対する時短営業や休業の要請が開始されるため、一時的に人流が滞るかもしれないが、現状よりは悪くならない。ただ、新型コロナウイルス発生以前の状況までは回復しない。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルス感染症の終息が見通せないため、生活必需品以外の購買に弾みがない。
		通信会社（経理担当）	・緊急事態宣言が発出され、客の自粛傾向が続くため、景気の先行きは不透明である。
		テーマパーク（管理担当）	・政府による利権絡みの政策が終わらない限り、景気は回復しない。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の先行きが見えてこないため、住宅などの引き合いは増加しない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の先行きが不透明ななか、建材の一部が値上がり傾向で工事費が定まらないこともあり、工事契約になかなかつながらないことから、今後も景気は良くならない。
		商店街（代表者）	・子供服の需要が大幅に減少しているため、今後、景気はやや悪くなる。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの状況が好転せず、食品の購買動向もデフレ基調で推移しているため、景気はやや悪くなる。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・輸出先の国で新型コロナウイルスの感染が拡大し、ロックダウンが相次いでいるため、消費が低下し、ここに来て、海外の売上が減少し始めている。このため、今後、景気はやや悪くなる。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・景気が良くなる要素が全くない。
		一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・緊急事態宣言が発出されるので、景気はますます悪くなる。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況の改善には程遠い状況で、県内に緊急事態宣言が発出されると、来客数の更なる減少が避けられない。
		百貨店（売場担当）	・変異株の発生で新型コロナウイルス感染症も予断を許さない状況となっており、今後、半年は今の厳しい状況が継続する。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルス禍で先行きの見通しが立たないため、景気はやや悪くなる。
		スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、外食の機会が増加することにより、巣籠り需要が減少し、売上が前年割れとなる。
		コンビニ（エリア担当）	・穀物の国際価格の高騰、油脂類や糖類の価格上昇、軽油などエネルギーコストの上昇で、今年中に一部製品の価格改定を実施することになったため、今後、販売量が少し減少する。
		コンビニ（支店長）	・新型コロナウイルスの動向次第であるが、景気はやや悪くなる。
		家電量販店（店長）	・景気が上向く要因が見当たらず、前年に巣籠り需要で上向いた反動もあるので、今後、需要が前年割れすることが予想される。
		乗用車販売店（業務担当）	・新型コロナウイルスの影響が多岐に及んでおり、生産工場も相次いで停止していることから、今後の見通しがまるで立たない。
		住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続けば、来客数が更に減少する。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	・政府の新型コロナウイルスに対する考えが甘く、新型コロナウイルスを抑えることができていないため、今後、景気はやや悪くなる。
		その他専門店〔土産物〕（経営者）	・緊急事態宣言が再び発出され、観光の人の出が見込めなくなったことから、景気はやや悪くなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあり、緊急事態宣言も発出されるため、景気が良くなる見通しが立たない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの家庭内感染に対する懸念から、売上をある程度支えていたファミリー層の利用が減少する可能性があるため、景気はやや悪くなる。
		都市型ホテル（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の効果が目に見えないため、今後も楽観視はできない。新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛からないのであれば、景気は更に厳しい状況になる。
		都市型ホテル（総支配人）	・秋のトップシーズンを迎え、大会や修学旅行などの先行予約はある。ただ、今後の新型コロナウイルスの感染状況次第で、先行きは不透明になる。
		旅行代理店（経営者）	・今年で、全ての人の新型コロナウイルスのワクチン接種が完了すれば、来年度から景気の回復が期待できるが、それまでは景気は回復しない。
		旅行代理店（支店長）	・修学旅行を始めとする学校行事が中止に追い込まれる可能性が更に高くなっている。また、個人旅行も緊急事態宣言の影響により改善が見込めない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響が続き、客が外出を控えるため、景気はやや悪くなる。
		通信会社（営業担当）	・今後、緊急事態宣言の発出により、経済活動が停止するのは避けられない。
		放送通信サービス（総務経理担当）	・新型コロナウイルス感染症の長期化による家計への影響で、景気はやや悪くなる。
		通信会社（工事担当）	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響で、景気はやや悪くなる。
		テーマパーク（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加が続くため、景気はやや悪くなる。
		観光名所（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらないこと、休館が多くなると、通常営業になっても、客の戻りが鈍くなる傾向があることから、景気はやや悪くなる。
		ゴルフ場（営業担当）	・今後の予約状況は、新型コロナウイルスの動向により大きく左右されるため、現在の感染状況から判断すると、景気はやや悪くなる。
		競艇場（企画営業担当）	・西日の影響により、舟券の発売時間が短縮されるため、売上が減少する。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が再び拡大し、問合せや来客数が減少する。
		住宅販売会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、景気はやや悪くなる。
		住宅販売会社（営業所長）	・新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立ち、将来に対して希望が持てる社会になるような国策を期待する。閉塞感のあるなかで、社会が消費拡大に動いている様子がないので、今後、景気はやや悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は悪くなる。
	×	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・今後、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでも、国の自粛の方針は変わらず、体力の弱い業種の倒産や廃業が増加する。
	×	百貨店（販売計画担当）	・新型コロナウイルス禍での外出自粛、将来不安、個人所得の不安定により、需要の減少が続くため、景気は悪くなる。
	×	スーパー（販売担当）	・中国を始めとする海外生産の商品について、輸入の段階で多々遅延が発生しており、カテゴリーによっては店頭が品薄状態になっている。あらゆる面で新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況では、景気は良くなる見込みはない。
	×	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染症が終息しない限り、来客数や売上の減少が続く。
	×	乗用車販売店（統括）	・新型コロナウイルスや半導体不足の影響で、先行きが不透明なことから、景気は悪くなる。
	×	一般レストラン（経営者）	・これまで何度も景気の悪い時期があって、その都度、今が最悪の状態だと思っていたが、依然として景気の悪い状態が続いている。今後、更に景気が悪化する懸念がある。
	×	観光型ホテル（宿泊担当）	・緊急事態宣言が発出されたため、今後、景気は悪くなる。
	×	観光型ホテル（副支配人）	・まん延防止等重点措置から緊急事態宣言に移行することにより、休館が余儀なくされ、宿泊の予約も全てキャンセルになってしまう。新型コロナウイルスの感染者数が一向に減少しない状況では、今後の見通しが立たず、景気は悪くなる。
	×	タクシー運転手	・今後も乗車率の上昇が期待できない。
	×	通信会社（広報担当）	・このまま、しばらくは客の購買行動が余りみられない。客が必要最低限の物しか購入しないという方向性に変わりがないため、景気は悪くなる。
	×	テーマパーク（業務担当）	・緊急事態宣言の発出で臨時休園となるため、景気は悪くなる。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルス禍の生活が1年半続き、客に生活を見直す動きがあるが、新型コロナウイルス発生前の状況に戻らない限り、景気は回復しない。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が拡大し、先行きが不透明であるため、景気は悪くなる。
企業動向関連		輸送用機械器具製造業（経営者）	・厳しい状況が続いているが、2～3か月後には景気は良くなる。
		繊維工業（監査担当）	・閑散期となり、例年どおり荷動きはほとんどないが、人の動きが戻りつつあるので、今後、売上が増加する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
(中国)		化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルス感染症が終息すれば、景気は良くなる。
		通信業（営業企画担当）	・ICTやIoTへの投資が計画どおり推移し、取引先の将来への投資も続く。
		木材木製品製造業（経理担当）	・新型コロナウイルスの変異株による感染拡大がしばらく続くため、今後も景気の回復は望めない。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・当面は現在の生産量を維持する。大口案件の生産が佳境に入っており、現場の多忙感が継続する。
		鉄鋼業（総務担当）	・受注量は高位安定しており、当面は減少しないため、景気は変わらない。
		鉄鋼業（総務担当）	・今後も景気に大きな変化はない。
		非鉄金属製造業（業務担当）	・電子材料素材関係の受注は当面堅調に推移する。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・先行きの不透明感が改善される材料がないため、悪い状況が続く。
		建設業（経営者）	・国土交通省の予算要求額から公共投資は減少しないと判断されるので、年度末にかけて景気の大きな変化はない。
		建設業（総務担当）	・今後も条件が有利な物件を選んで受注できるだけの仕事量を維持する。
		輸送業（支店長）	・個人や会社関係の荷動きが停滞しているため、今後も景気は良くならない。
		輸送業（総務・人事担当）	・新型コロナウイルス対策に苦慮している現状では、景気回復は難しい。
		不動産業（総務担当）	・9月単月の需要は見込めるが、それ以降は今月と変わらない。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が続き、客からの情報でも受注が上向き様子がないため、景気は変わらない。
		農林水産業（従業員）	・緊急事態宣言が発出されたため、景気はやや悪くなる。
		食料品製造業（経営者）	・緊急事態宣言が発出されると、経済の循環に支障が生じ、消費がかなり低迷するため、景気はやや悪くなる。
		金属製品製造業（総務担当）	・工作機械業界の客から受注は回復傾向であると聞いているが、当社が得意とする大型機種はそれほど増加する見込みがない。また、鉄の原材料価格が高止まりしていることに加え、10月から更に上昇するため、価格の上昇を生産量で補っていくしかない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・全国的にも新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあり、先行きは不透明である。
		輸送業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染が拡大し、緊急事態宣言が全国的に発出されているため、今後、景気はやや悪くなる。
		金融業（貸付担当）	・今後しばらくの間、全国的に新型コロナウイルスの感染拡大が続き、人々の行動が制約され、消費が停滞するため、全体的に企業の売上が減少する。
	金融業（融資企画担当）	・地元完成車メーカーの国内生産は、新型車の販売不振や半導体不足が続くことから、当面は低水準にとどまる。このため、系列の自動車部品メーカーの受注も低水準が続く。	
	会計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるにもかかわらず、緊急事態宣言が発出され、新型コロナウイルス感染症が終息する兆しが少ないため、今後、経済活動の水準が全般的に低下する可能性がある。	
	×	一般機械器具製造業（総務担当）	・半導体不足により、仕入れ部品や製品が入ってこないため、景気は悪くなる。
雇用関連		人材派遣会社（社員）	・企業側の求人は少しずつ増加しており、今後は求職者といかにマッチングできるかに懸かってくる。
(中国)		求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、景気はやや良くなる。
		民間職業紹介機関（求人・人材採用担当）	・求人数が増加していることから、今後、景気はやや良くなる。
		人材派遣会社（支店長）	・新型コロナウイルス禍で、転職や就職に慎重な人が増え、すぐにとりよりは好条件がそろえば就職しようとする求職者が多くなっているため、求人数の増加に対して求職者数の伸びがそこまでない。このため、今後も景気は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（所長）	・理美容業では利用者のヘアカットの間隔が空き気味となり、娯楽業では外出自粛により来客数が減少するなど、新型コロナウイルスの影響が続いており、求人募集に至らないことから、今後も景気は変わらない。
		職業安定所（雇用関連担当）	・県内でも新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、企業は業績見通しを立てにくく、求人活動にも影響が出ている。一方で、求職者にも新型コロナウイルスのワクチン接種終了後に求職活動を再開したいと考える人がいる。こうした状況であるため、景気はすぐには回復しない。
		民間職業紹介機関（職員）	・まん延防止等重点措置から緊急事態宣言に切り替わり、回復に向かい出した景気が出鼻をくじかれている。相変わらずの先行き不透明感から、企業が積極的な投資を控えざるを得ない状況にあるため、今後も景気は変わらない。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・保育士、幼稚園教員、小学校教員など福祉・教育系の採用活動に関しては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響は余りみられず、採用規模が縮小することは考えにくいいため、今後も景気は変わらない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるにもかかわらず、感染拡大が止まらない状態だが、それ以上の負の要素が見当たらないため、景気は変わらない。
		人材派遣会社（経営戦略担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、求人数の減少の兆しがあるため、景気はやや悪くなる。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	・今の状況が長引くほどに、新型コロナウイルス禍でもどれだけ対策を講じ、業績を維持できているかが今後の大きな鍵となる。新型コロナウイルスが終息しても、もはや新型コロナウイルス発生前には戻らない。新卒採用においても、より質が求められ、相手の話を聞く力が今後ますます重要になってくる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の普及や各種政策の効果により持ち直しの動きが続くことが期待されるが、足元では新型コロナウイルスの感染が急拡大しており、企業業績、雇用、所得環境に影響を及ぼしていることから、景気はやや悪くなる。
		職業安定所（事業所担当）	・新規求人数が前年同月比で増加傾向にあるものの、8月になって新型コロナウイルスの感染が拡大し、緊急事態宣言が発出されたことから、先行きは不透明な状況となっている。また、飲食業を中心に雇用調整助成金の相談件数や申請件数も依然として多い状況であり、今後、景気はやや悪くなる。
		その他雇用の動向を把握できる者	・新型コロナウイルスの感染者数が爆発的な勢いで増加し、サービス業を中心に多大な影響を与えることから、景気はやや悪くなる。
	×	人材派遣会社（支社長）	・まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出で、現状、企業に対する営業活動はやりづらくなっており、市場の経済活動が停滞することが間違いないため、景気は悪くなる。

#### 10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連		-	-
(四国)		コンビニ（店長）	・まん延防止等重点措置が解除されると、次の感染再拡大までの間は景気が回復する。ワクチンの効果が現れるまではこの繰り返しである。
		衣料品専門店（経営者）	・現在、売上はコロナ禍で厳しい状態である。ただ、新型コロナウイルス感染症はそろそろ収束すると思うため、2～3か月後は今より景気が良くなると思う。
		衣料品専門店（経営者）	・バーゲンセール中ということもあるが、例年と比べ、コロナ禍であっても不思議なことに売上高は堅調である。今後も好調に推移するのではないかと期待している。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・お中元時期が終わり、売上は少し停滞気味であるが、2～3か月先については、新型コロナウイルス感染症は少し収まり、上がってくると思う。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の終息を祈るのみである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・ワクチン接種が普及し、新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきたら、夜の店の再開や、現在予約が入っている秋頃の遍路客についても期待できる。今の状況よりは良くなると思う。
		通信会社（営業担当）	・ワクチン接種率が向上し、市場が活性化すると考えられる。
		観光遊園地（職員）	・感染対策期での自粛等の実施により、感染者数が確実に減少していく。また、ワクチン接種も普及すると考えられる。
		競輪競馬（マネージャー）	・ワクチン接種率が高まり、医薬品の開発も進むことにより、社会に安心感が広まることが予想される。遊園施設への人出や一般消費購買力の回復が見込まれることから、景気は上向くと予想する。
		商店街（事務局長）	・新型コロナウイルスの変異株の感染脅威解消には大多数の国民がワクチン接種を2回終了することが条件となる。若年層や一定程度存在する接種拒否層への接種が進まなければ、今の状況が続くと思われる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症のまん延状況と客の動向が非常に密接に関係しており、不透明な状況が続いている。また、個人客より団体客の動向に関係しており、厳しい状況が続くと思われる。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・新型コロナウイルス対策における行動自粛が解除になればもう少し改善されると思う。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、現状から抜け出すのは非常に難しい。
		百貨店（営業管理担当）	・全国的な新型コロナウイルスの感染再拡大の収束がまだ見通せず、先行きは不透明である。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であり、予測が難しい。
		スーパー（店長）	・現状、来客数や客単価の増加は若干期待できるが、短期的なものであり、長くは続かないと思われる。
		コンビニ（店長）	・今月は余りにも悪い状況が重なった。これ以上悪くなる事はないと思うが、決して良くなる気配もない。
		コンビニ（商品担当）	・助成金等がないのに休業要請を行うなど、政府の対応の悪さを感じる。
		コンビニ（総務）	・天候や気温、コロナ禍の状況にもよるが景気が良くなる要素は何1つない。
		衣料品専門店（営業責任者）	・ワクチン接種が普及しても感染再拡大に歯止めが掛かるのかどうか分からず、外出の自粛が解除される見込みもないため、良くなるとは考えにくい。
		家電量販店（店員）	・半導体不足の影響により、納入数は減少傾向にある。
		乗用車販売業（営業担当）	・半導体不足の解消と新型コロナウイルス感染症の終息が見えない。
		乗用車販売店（従業員）	・半導体不足や製造工場の休業等、景気が改善する状況ではない。また、客の消費マインドも冷え込んでいる。
		乗用車販売店（従業員）	・9月以降も新型車の発売が予定されているが、半導体不足による減産計画もあり、登録台数の伸びには期待ができない。
		乗用車販売店（役員）	・新型車が売れても既存の車種の販売が減少するため、総数としては変わらない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・新型コロナウイルスの感染再拡大が収まらない限り、以前のような生活には戻れず、消費拡大など望めないのではないかと危惧している。
		その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・コロナ禍の影響で外食が控えられているので、テイクアウト需要が伸びている。この先もこの状況は続くと思う。
		旅行代理店（営業担当）	・ワクチン接種が普及しているが、新規感染者が全く減少していないため、今後の営業展開が大きく変化する事はないと感じる。
		タクシー運転手	・当県でも8月末から9月上旬まで短時要請や、まん延防止等重点措置の適用により、人通りがなくゴーストタウン状態となっている。新型コロナウイルスの感染が収束しなければ人の動きはないと判断する。
		通信会社（社員）	・ワクチンの普及により、人々の動きは少し活発になるとは思うが、数か月ではまだ変化は小さいと考える。
		通信会社（営業担当）	・来客数は安定しているが、新型コロナウイルスはまん延している状況であり、良くなる要素に乏しく不透明である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		美容室（経営者）	・ 今後は新型コロナウイルスの感染者数や報道内容によって人の流れがどうなるのか予測が付かない。
		商店街（代表者）	・ 社会構造や消費者行動、物の価値観など、消費環境は大きく変化する。また、アフターコロナの経済体制や政策がどうなるか、度重なる自然災害にどう対応するかなど、短期に解決できない課題が山積している。
		スーパー（財務担当）	・ 新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置の解除で、外食や大型ショッピングセンターへ客が戻っていく。
		家電量販店（副店長）	・ 新型コロナウイルスの感染再拡大が全国に広がっており、収束する気配が感じられない。感染が収束しない限り、景気は戻ってこないと思われる。
		一般レストラン（経営者）	・ ワクチンが普及すれば、感染者数や重傷者数、死者数は相対的に減ってくると思う。ただ、何を基準にコロナ禍の収束とするのか、どこかで基準を決めなければ、いつまでもコロナ禍は収まらないと思う。
		観光型旅館（経営者）	・ 秋の観光シーズンに向けた予約の時期となっているが、全国的な新型コロナウイルスの感染状況が改善していないので、予約が遅れている。今後、感染状況が改善したとしても時間的に期待水準まで戻らない。
		通信会社（営業部長）	・ 前回のまん延防止等重点措置の時期と比べると、現段階では客の危機感はいささか購買意欲に大きな影響はないと感じるが、今後には不安を感じる。
		通信会社（支店長）	・ 新型コロナウイルスの感染再拡大が続いており、収束の見通しが立たない。
		美容室（経営者）	・ 新型コロナウイルス感染者数の増加が影響してくると思う。
		設計事務所（所長）	・ 第5波の影響によって、取り掛かっていた設備投資等を中断するところが出てきている。
	×	商店街（代表者）	・ まん延防止等重点措置により、営業ができない状態となっている。全てのイベントが中止や延期となっており、商店街の活動も1か月程度は休止状態が続く。今年一杯で新型コロナウイルスの感染が収束するかどうかが非常に心配している。
	×	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・ 今は最悪の状況である。希望としては年内に収束することを願っているが、この状況が継続すると思っており、好転することを祈るのみである。
	×	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・ 大型量販店や通販等で、まとめて買物をするせいか、専門店では本当に物が売れなくなっている。早く新型コロナウイルスの感染が収束して、不自由な生活から少しでも抜け出したいと願うばかりである。
	×	衣料品専門店（経営者）	・ 新型コロナウイルス感染症の終わりが見えないなか、ゆっくり買物にも出られず悪くなるしかない。
企業 動向 関連 (四国)		-	-
		木材木製品製造業（営業部長）	・ 大手ハウスメーカーからの受注が回復している。ただし新型コロナウイルスの感染再拡大により資材の安定供給が不透明な状態である。それに資材価格の高騰があり、利益を圧迫し始めている。
		鉄鋼業（総務部長）	・ 受注回復傾向だが、人員減少が続き、生産や販売が回復していない。
		食料品製造業（経営者）	・ 新型コロナウイルスの影響で、引き続き飲食業や観光業の低迷が続くと推測する。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・ 除菌や掃除用のウェットクリーナーの売上は輸入物も多く横ばいである。新型コロナウイルスの影響で、家庭内で料理をする人が増えたため、キッチンペーパーの需要は高く、生産量を増やせば売上は上がる。フェイスマスクはインバウンドがなくなったため、売上が下がっている。
		化学工業（所長）	・ 現在の感染状況が落ち着いてくれば多少なりとも回復に転じるとは思うが、これから冬場を迎えるので、現時点ではなかなか楽観視はできないかと考える。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・ 市場マインドは上向きつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響及び世界的な電子部品供給不足等による部品調達の遅滞や原材料価格の高騰等、不確定な要素が多いので、景気の先行きに懸念はある。
	電気機械器具製造業（経理）	・ 特需による販売が落ち着いている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（経営者）	・公共事業は堅調に発注されており、事業活動については大きな懸念はないので、今後の新型コロナウイルス感染症の状況によると思われる。現時点では、生活や社会的活動への制限、自粛が緩和されるとは考えられず、景況感も変わらないまま推移するものと思われる。
		建設業（経営者）	・今後の公共工事次第である。
		輸送業（営業）	・ワクチン接種はいまだ全世代に達しておらず、若年層を中心に新型コロナウイルス変異株による感染が再拡大している。一方で、ワクチン接種済であってもブレイクスルー感染が危惧されることから、消費者の不安は解消されておらず、先行きは極めて不透明な状況に変わりはない。
		通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの変異株の流行などにより、新型コロナウイルスの感染再拡大がいつ落ち着くのか分からないので、景気が良くなる見通しは立てづらい。
		通信業（企画・売上管理）	・東京オリンピック後、明るい話題は特に見当たらない。緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用などで、交通、レジャー関係は売上が下がり、巣籠り需要が増えることを考えると景気は変わらないと判断している。
		金融業（副支店長）	・ワクチン接種が進む中での感染再拡大に、消費者の絶望感が強まりつつある。しばらくは当該消費者動向の鈍化により、景気回復は見込めない。
		広告代理店（経営者）	・まん延防止等重点措置が適用されたため、一部の客では販売促進広告等が急きょ中止になった。新型コロナウイルス変異株の感染力が非常に強いいため、客の今後の見通しも厳しく、早期の集団免疫を期待しているが、今後2～3か月は余り変わらない予想である。
		税理士事務所	・新型コロナウイルスへの有効な対策がいまだ不透明である。
		農林水産業（職員）	・新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、人流は更に減ることが見込まれる。また、天候は長雨が続いた後、晴天が続く予報であるが、長雨後の晴天続きは園芸品の生育に大きく影響することが過去の事例から予想される。単価は高値基調が続くだろうが、農家も出荷量減少で利益は上がりず、スーパー等を含め勝者なしの厳しい販売環境が見込まれる。
		繊維工業（経営者）	・当社の愛媛の小売店舗は、週末は県外客でにぎわっていたが、社員の安全配慮により東京の小売店舗も併せて、8月末からしばらく店舗を閉める。感染者が落ち着くまでは、全国的に消費は更に厳しくなり減少するものと思われる。
		輸送業（経理）	・工業製品の輸出数量は今月並みで推移するが、紙製品の出荷数量は、鉄道輸送において秋雨前線に伴う災害の影響を受け、数量減少が続く見込みである。
		x	輸送業（経営者）
雇用 関連  (四国)		-	-
		-	-
		人材派遣会社（営業）	・飲食店や公共交通機関、公共施設等の感染状況によって今後も苦しい状況は続くと考え。一方で、各市町が実施する協力金や支援金、助成金等の補助を受給しながらいつまで経営活動を継続できるかが、景気回復の大きな鍵となる。また、協力金や支援金、助成金等の補助を審査し支払手続を行う運営側の人材活用とワクチン接種会場での医療従事者の人材活用がこの数か月景気に影響すると考える。
		民間職業紹介機関（所長）	・新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・飲食店が休業要請により安定した営業ができず、年末に向けた人材募集も見込めない。
		職業安定所（職員）	・長引く新型コロナウイルスの影響による売上減や最低賃金増が予想され、2～3か月後は、やや景気が悪くなる。
		職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスの感染が再拡大し、当地域はまん延防止等重点措置が適用された。これにより、酒類の提供が終日禁止となるなど規制がより厳しくなったことから悪化要因になると判断した。
	学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の爆発的増加に伴い、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用区域の拡大が懸念される。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が全国でますます増え、派遣会社に依頼する企業が少なくなりつつある。またサービス業などの派遣依頼の回復がみえず不安しかない。
	×	求人情報誌（営業）	・まん延防止等重点措置の適用により、人の移動や消費が大きく減り、企業の営業活動が縮小している。飲食や観光業界へのダメージが大きく、更に周辺業界にも影響を与えており、回復の見通しが立っていない状況である。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの感染者数の急激な増加により、あらゆる広告の機会が延期やキャンセルになっていて、感染状況が落ち着くまでは見通しが立たない。

### 11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (九州)		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス新規感染者数が減少していく状況になるかもしれないが、すぐには元に戻らないと考えられ、厳しい状況がまだまだ続く。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・11月の青果物の相場は、それぞれの産地生産物の状況が落ち着き、客の需要も高まると考えられるため、やや良くなる。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・ワクチン接種も徐々に増えているため、これ以上新規感染者数が増え続けることはなく、売上も徐々に回復してくると予想している。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種率のアップに期待している。
		コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言のなかでも回復傾向にあり、新型コロナウイルスの感染が収束に向かえば、消費に火がつくような状況になるのではないかと客も感じている。
		コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言が解除されれば、現況より人の動きが良くなる。
		衣料品専門店（取締役）	・例年8月は売上が最悪な月であるため、11月は若干落ち着くことを望んでいる。景気回復になるとは考えられず、新型コロナウイルスの感染状況もあり、厳しい状況は継続する。
		家電量販店（店員）	・前年は特別定額給付金というプラスのメリットがあったが、今期はその部分の数字が解消され、悪い状況である。一方で、3～4か月の単位でみると、数字が徐々に上がっている。そのため、台風等で動きが取れない等、特別な理由がない限りは、少しずつの右肩上がりになると予想している。
		住関連専門店（従業員）	・秋冬がオンシーズンになるため、来客数が横ばいであっても、単価が上がるため、期待している。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・商圏内でも感染者数が頭打ちになってきている。これまで新型コロナウイルスに慎重であった人にも慣れが生じているが、ワクチン接種が進み、経済活動が活性化することに期待している。
		居酒屋（経営者）	・ワクチンの接種状況や効果にもよるが、店を開けて営業ができるのであれば、今よりも若干良くなると考えられる。
		観光型ホテル（総務）	・新型コロナウイルスの感染状況に左右される点は、依然変わらない。ただ、ワクチン接種が進むことを前提に、運営するホテルの客室稼働は秋の行楽シーズンの観光客利用が増え、レストラン利用客も回復すると予測している。
		旅行代理店（職員）	・10～11月はワクチン接種率が今月より高くなり、旅行需要もやや好転すると想定している。
		通信会社（企画担当）	・緊急事態宣言再発出の影響は、売上には響いていない。打合せのWeb化が浸透しているため、営業活動も業務自体もスムーズになっている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数が一時期と比べて減少傾向にある。
		通信会社（企画担当）	・光回線の提供エリア拡大が予定されており、需要増加が見込める。
		ゴルフ場（従業員）	・成人のほとんどがワクチン接種を完了すれば、コロナ前の状況に少し近づき、来場者も増加傾向になるのではないかと考えている。
		設計事務所（代表）	・新型コロナウイルス新規感染者数が減少すれば、若干良くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住宅販売会社（従業員）	・ワクチン接種に様々な問題があるものの、接種率が上がっていくのは間違いなく、ワクチン接種が終わり余裕がある人は、旅行等に動くようになり、それに伴い金も動くため、景気は徐々に良くなっていく。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況が、第5波となっているが、この先第6波、第7波と続くのであれば、回復することは考えられず、最悪の状況が続いていく。
		商店街（代表者）	・今後は、新型コロナウイルスの感染拡大次第で、景気に変化が出てくる。ワクチン接種が進むことで、多少は回復してくると予想している。
		商店街（代表者）	・ワクチン接種が終わっても、以前の購買意欲には戻らないのではないかと不安である。
		商店街（代表者）	・明るい見通しが立たない。
		商店街（代表者）	・秋に向かい一層厳しい状態が続く。東京オリンピックが終わっても、いつものにぎわいは期待できない。また、緊急事態宣言発出により、新型コロナウイルスの感染が収束傾向になるかと予想していたが、祭りもなくなり、商店街には全く人がなく、先行き不透明で心配している。
		一般小売店〔食料雑貨〕（店員）	・政府の有効な景気刺激策がなければ、今後も見通せない。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・魚を安く購入することができないため、安く販売できずに売れ残る厳しい状態である。新型コロナウイルスの終息を願うばかりである。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・これから2～3か月後は、この暑い夏よりもギフトとして花の需要が増えるが、客も新型コロナウイルスの影響で余り良い状況ではないため、今後良くなる見込みはないのではと懸念している。
		百貨店（企画担当）	・クリスマスや年末年始の準備には早く、モチベーションがないため、厳しい状況は続く。
		百貨店（企画担当）	・ワクチン接種の効果で感染拡大が収束していけば、回復傾向に転じると考えられるが、先行き不透明であることから、現状維持のまま推移する。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況の予測が困難であるため、足踏み状態が継続する。
		百貨店（営業担当）	・ワクチン接種は進んでいるが、感染拡大やワクチン効果への不安で県内外への旅行や帰省への警戒感が更に強まり、依然早急な回復は難しい。一方、店頭外のサテライトショップやギフトショップ、ネット受注は堅調である。また、店頭での客単価、商品単価は自家需要商材や紳士雑貨、リビング用品、し好性の高い舶来雑貨・時計美術工芸等も依然堅調である。しかし、慎重な行動と生活防衛は継続され、県内外との往来自粛により、物産催事に制約があり、回復は長引き自家需要中心の来店や購買は継続する。
		百貨店（売場担当）	・百貨店での来客数が8月は78.0%であり、この状況が改善しなければ、売上は厳しいのが実態である。一部の店舗では、リニューアルをしており、若者に支持されているため、来客数はさほど落ち込んではいない。店舗により差別化が出ている。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が不透明であるため、客の動向や生活環境の変化が分からない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルス感染拡大からの回復の見通しがうかがえることに尽きるが、現状では、先行き不透明で情報が少なく、まだまだ現状打破にはつながりにくい状況であると判断している。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルス新規感染者数は今後2～3か月では減少することはないため、消費トレンドや人流にさほど大きな変化はない。
		スーパー（総務担当）	・食品スーパーマーケットの景気は、コロナ禍の下では経済のファンダメンタルズといった観点からは判断できず、緊急事態宣言の発出や新型コロナウイルス感染者数の増加等、一般的にはマイナス要素が出る場合でも、巣籠り需要が喚起され、景気が良くなるという難しい景気判断をしなければいけない状況になっている。
		スーパー（経理担当）	・コロナ禍での生活であるが、感染者数が更に増加しており、先行き不安感とともに消費の減退が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（エリア担当）	・ワクチン接種率と感染者数の相関関係が薄いため、もっと明確な心理的な安心感が得られるまでは景気は変わらない。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・残暑が続くと来客数は増えるが、このまま秋がくれば来客数が望めなくなり、売上も伸び悩むと危惧している。その上、買上点数が相変わらず低いと、客単価も上がっていないのが現状である。
		衣料品専門店（店長）	・ワクチン接種が進めば、少し好転することも考えられる。
		衣料品専門店（店員）	・秋には状況が改善されるのではと期待していたが、更に深刻化している。3か月後に改善されるとは、とても考えられない。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、相変わらず来客数は平常時の70%程度で推移している。緊急事態宣言の発出で、しばらくこの流れが続くと予想する。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス感染の状況が落ち着かない限り、客の懐事情は好転しないため、来客数の回復は厳しく、しばらくはこの状況が継続する。
		家電量販店（総務担当）	・年間でも消費が鈍化する季節に入っていくこともあり、今の社会情勢や市場環境のなかでは、ばん回策がなかなか見いだせない。
		家電量販店（従業員）	・冷房器具の需要ピークも収まりつつある。
		乗用車販売店（総務担当）	・新車販売台数に関しては、メーカーの生産が正常に戻らなければ販売店は打つ手がなく、お手上げ状態である。
		住関連専門店（経営者）	・ワクチン接種者が増えているにもかかわらず、感染者が大幅に増加している。ワクチンが新型コロナウイルス変異株に対して効果が出て収束してくれば、経済活動も活発になると考えられる。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・コーヒー業界について、2～3か月先の売上は、お中元シーズンが一段落したため、横ばいか若干下がる傾向にある。秋口から冬にかけて季節要因で、若干戻ってくるため、客は徐々に増えていくと予想している。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・ワクチン接種は進むが、新型コロナウイルス変異株の影響で来場の戻りは遅くなる。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が長引いていることで、家食に慣れ、テイクアウトの需要は高いが、レストラン事業は大変苦戦している。
		スナック（経営者）	・9月12日まで緊急事態宣言が続くが、8月末時点で新規感染者数や入院者数の減少傾向はみられず、緊急事態宣言の延長も予想される。飲食業の景気回復の兆しは全く感じられず、現状の売上がゼロであり、来月もこの深刻な状況は続く。
		タクシー運転手	・ワクチン接種も普及してきたが、新型コロナウイルス感染者数の減少がない限り、景気の見通しが立たない。
		タクシー運転手	・これからゴルフシーズンであるが、どこで感染するか分からないため、安心して業者指定してもらえない。
		タクシー運転手	・ワクチン接種は進んでいるものの、新型コロナウイルス変異株の影響で、この状態が今年中継続すると予想される。
		通信会社（統括者）	・秋に向けて、新商品が発売される季節になり、商品にこだわる客の購入は見込めそうではあるが、一般客の来店はやや減少傾向にあり、教室やイベントでの集客に期待したい。
		観光名所（従業員）	・ワクチン接種普及と感染状況が相関しておらず、向こう3か月は動向が読めない。
		競馬場（職員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減らないため、期待が持てない。
		理容室（経営者）	・当県でも新型コロナウイルス新規感染者数が3けたになり、毎日増加している。先行き不透明であるため、客も不安になり外出自粛しており、来店日数が延びている。そのため、お盆明けから来客数が減少しており、明るい兆しがみえない。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・ワクチン接種は進み、高齢者の重症化は減少しているが、新型コロナウイルス変異株の拡大により、今後の見通しは不透明であり、状況によってはサービスキャンセルが再増加することも想定される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		設計事務所（所長）	・現状が変わらないため、結果が出る2～3か月先も変化はない。
		設計事務所（所長）	・建築材料・製品や生活必需品の単価が今後も上昇しそうであるが、新型コロナウイルス変異株の感染拡大の影響もあり、収入は減少傾向になり、持ち直すとは考え難い。
		商店街（代表者）	・好材料が見つからず、先行き不透明感ばかりが募る。
		商店街（代表者）	・2年続きのコロナ禍で、小売業の売上は激減し、悲鳴を上げている。早く元の生活に戻ることを望んでいる。
		一般小売店〔精肉〕（店員）	・飲食店の時短営業や営業自粛要請の影響が続き、危惧される。
		百貨店（販売促進担当）	・緊急事態宣言が引き続きどうなるか不透明であるため、来店や購買に影響があると予測される。
		百貨店（業務担当）	・新型コロナウイルスは、ワクチン接種が普及すれば落ち着くと予想していただけに、その反動で感染拡大第5波に不安を感じる客は多く、買物には依然慎重である。先行きが見えず、これから更に新型コロナウイルスの感染はひどくなるのではないかと悲観的になっている。
		スーパー（企画担当）	・ワクチン接種率は確実に上がっているが、若年層の感染増加傾向に歯止めが掛からない限り、消費マインドの改善にはつながらない。
		スーパー（統括者）	・8月は全体で来客数が減少したが、1人当たり買上点数が横ばいではあったものの、1品単価がプラス5円になっており、客単価が増加し何とか売上を前年並みに確保している。今後、緊急事態宣言が9月12日までの場合は、9月は横ばいで推移し、その後はマイナス傾向と予測している。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種のスピードは鈍化しており、新型コロナウイルスの感染再拡大の収束が読めず、景気回復は見込めない。食料品や日用品等の生活必需品の品ぞろえは継続するが、リアル店舗の縮小均衡が続く。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス変異株による、感染者の数がまだまだ増加傾向にある。
		家電量販店（店員）	・前月は、売上が回復しつつあったが、新型コロナウイルス変異株の拡大で来客数が前年の80%になっているのが現状である。来店客は、目的を持っているため接客しやすいが、それ以上の伸びがなく改善の見込みがまだ立たない。
		その他専門店〔書籍〕（副店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収束するまでは、厳しい状況が続く。
		通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言が発出されたことで、経済全体が再度落ち込んでいくと予想される。
		通信会社（業務担当）	・緊急事態宣言により販売先の飲食店が閉まるため、販売量に影響が出る。
		ゴルフ場（営業）	新型コロナウイルスの変異株が再び猛威を振るっており、そのためレジャーや外食の機会が減少し、景気の持ち直しができない。治療薬が開発されるまでこの状況は続く。
		美容室（経営者）	・ファッション業界は外出する仕事が多く、外出自粛によりマイナス傾向になっている。2～3か月先は全く見当が付かないが、新型コロナウイルスの感染が収束しない限り景気回復はないため、ワクチンではなく、治療薬の開発に期待している。
		美容室（店長）	・新型コロナウイルス変異株の影響で、今後の状況が見通せず、景気が先行きが懸念される。
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・客先の受注状況が好転しておらず、経費削減のあおりを受けている。
		住宅販売会社（従業員）	・分譲事業は好調であるが、来場者数減少に伴う商談客数及び契約者数の減少が予想される。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で、昼夜共に来客数が減少しており、商店街での小売業の景気回復は望めそうになく不安である。
	×	百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルス収束の兆しがない。緊急事態宣言が発出され、飲食店や物販業界が非常に厳しい状況である。
	×	コンビニ（店長）	・緊急事態宣言の解除がいつになるか、先が全く見通せない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	衣料品専門店（総務担当）	・現況の新型コロナウイルスの推移をみていると、感染拡大が収束するとは考えられず、今後もますます拡大することが予想され、景気は更に落ち込んでいく以外には考えられない。
	×	乗用車販売店（代表）	・新型コロナウイルスの影響により、ますます悪くなる。
	×	高級レストラン（経営者）	・様々な業種で値上がりをするという報道があり、景気が良くなるどころか、ますます見通せない状態になる。このままでは、店舗数が減少することで、人の動向もますます減り、今後を危惧している。
	×	高級レストラン（経営者）	・9月12日まで時短営業要請が出ており、現状が少し落ち着き解除になるかは定かではないため、今後新規感染者数が減少しなければ延長になる可能性もある。企業では、テレワークでの業務も多くなっており、客の中心が企業のため、元の状態に戻るのがいつになるのか、全く先が読めず懸念される。
	×	一般レストラン（スタッフ）	・ワクチン接種が終わっても、新型コロナウイルスは感染拡大しており、安心できない。行政の対策は行き当たりばったりで、支援も後手になっている。このままでは、経営は成り立っていかず、深刻な状況である。
	×	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・新型コロナウイルスの感染力は増大しているが、対応策は変わらず補償もない。また、連休設定や、大型イベント開催で、感染抑制という気持ちになっておらず、仕事や人流の抑制につながっていない。さらに、感染力が強くなった場合などを想定すると、ワクチン接種率が目標数値に達成するまでは、緊急事態宣言を解除しない等徹底した対策を望んでいる。
	×	観光型ホテル（専務）	・新型コロナウイルス収束の気配が感じられず、従来は秋に多かった団体客が今年に入らないと予想される。
	×	都市型ホテル（販売担当）	・緊急事態宣言の解除が延長になると予想しており、先行き不透明で予測できない。
企業 動向 関連 (九州)		経営コンサルタント（代表取締役）	・8月は最低の月であったため、これ以上落ちることはないと考えている。新型コロナウイルスの感染状況が変わり、まん延防止等重点措置が終わり、通常の生活に戻ることができれば、景気は戻ると予想しているが、そうでない場合を危惧している。
		食料品製造業（経営者）	・これから季節性のある商材の繁忙期に入るため、期待したい。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・9月分納品案件の予定量より判断すると、若干売上が良くなる。
		化学工業（総務担当）	・農薬需要期に差し掛かってくるため良くなっていく。
		金属製品製造業（事業統括）	・半導体不足が解消の方向に向かい、ワクチン接種も進み、景気は上向くと考えている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・我々の業種は、半導体の動きに大きく左右されるが、今後半導体の動きが良くなることが予想されるため、上向きになると考えられる。
		電気機械器具製造業（取締役）	・景気回復傾向ではあるが、新型コロナウイルスの感染状況の影響で、もたついている状態である。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・半導体関連の客からの発注予定があるため、期待している。
		建設業（社員）	・第3四半期に入り、発注が多くなれば、公共工事の一番の稼ぎ時である。下請の工事も踏まえ体制を整え、そのときに備えている。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルス変異株が感染拡大しているが、ここ2～3か月でワクチン接種がかなり進むと予想され、消費者の行動も現状より幾分活発になる。したがって、3か月先の売上景気は、全業種で現状より良くなる。
		新聞社〔広告〕（担当者）	・衆議院選挙関連の広告出稿が期待される。
		家具製造業（従業員）	・感染者数が過去最多を記録する毎日が続く限り、仮に緊急事態宣言が解除されたとしても、ここ2～3か月以内での景気回復は見込めない。また、競争激化により受注金額は下がる一方である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・以前は秋口になると商況も幾らか回復する傾向にあったが、この新型コロナウイルスの感染状況から、商社の動向は、今より良くなる気配はなく心配している。Web関係を十分活用し、売上につなげていきたい。
		一般機械器具製造業（経営者）	・受注量の若干の変動はあるものの、今までと大きく変わる事はない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・この先3か月の受注も好調が予測されるものの、材料や購入品が品薄状態になっており、今後の生産に影響が出ている。
		輸送業（従業員）	・九州は自動車産業が盛んであるが、半導体やコンテナの不足や北米航路の直送便が少ないことなどからブッキングが取れず、輸出が減少している。また、コロナ禍により輸入量も減少するなど好調な業界がない。
		輸送業（従業員）	・現状から良くも悪くも変化要素がない。
		輸送業（総務担当）	・今後も新型コロナウイルスの感染拡大状況で景気も左右される。ワクチン接種率が高くなる一方、新型コロナウイルス変異株の感染力の強さが際立っており、一進一退がしばらく続くと思える。秋口の連休や行楽シーズンの人の流れ、また、それによる物量も影響を受けるため、注視したい。
		通信業（職員）	・今年度の官庁では、施主の営業案件数と受注予想額が伸びておらず、厳しい状況が継続する。
		通信業（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染者数増加は、ワクチン接種以外の効果的な改善策が見込まれておらず、引き続き経済活動が制限される見通しで期待できない。
		金融業（従業員）	・公共工事は災害復旧工事を含め高水準で推移しているが、新型コロナウイルスの感染拡大により、飲食店やホテル・旅館及び旅行業等では厳しい状態が続いている。
		金融業（調査担当）	・コロナ禍の収束がみえず、ワクチン接種の進展と治療薬の開発に活路を見いだしたいところであるが、閉塞感から景気回復の足取りは重く、当面は現状程度の推移となる。
		金融業（営業）	・ワクチン接種が普及すれば良くなると思っていたが、新型コロナウイルスの感染はむしろ広がっている。子供が重篤化するような深刻な影響が出れば、一段と冷え込む可能性も否定できず、先行き不透明で現状維持と考える。
		金融業（調査担当）	・ワクチン接種は着実に進んでいるが、新型コロナウイルス感染者は増加の一途をたどっており、足元では過去最多も記録している。緊急事態宣言も複数県で発出され、新型コロナウイルス収束の見通しが立っていないことから、景気は引き続き悪い状況が続く。
		不動産業（従業員）	・賃貸物件の売上が、横ばいに推移している。
		広告代理店（従業員）	・景況感、緊急事態宣言が再度発出された状態では、企業の前向きな投資意欲が出てくるとは思えず、少なくとも現状が1～2年続く。
		広告代理店（役員）	・営業の3か月予想は、今後2～3か月で上下する要素が見当たらない。
		経営コンサルタント（社員）	・外部の情報が入手しにくく、当分は不活発な現状が続くと考えられる。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・自社Webのアクセス数及び問合せ件数に変化がない。
		その他サービス業[物産リリース]（職員）	・各企業は、新型コロナウイルスに対応する状況判断をしており、変動なく推移すると考える。
		農林水産業（経営者）	・例年秋口は行楽や運動会等で外食産業中心にスーパーマーケットも伸びてくる時期であるが、今年は新型コロナウイルス対策で、どうにもならない状況にある。量販店向けも巣籠り需要にある程度期待はできるが、それでも従来のようにはいかない。今年も後4か月であるが、総じて前年よりコロナ禍で厳しい内容になる。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大で、海外からの部品供給に影響が出ている。9月は客から4割減産へ変更になり、それ以降も現時点では不透明である。
		その他製造業[産業廃棄物処理業]	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えると、生産にかなり影響が現れる。なかなか先が読めない状況である。
		経営コンサルタント（社員）	・新型コロナウイルスの終息が見えず、不安しかない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	農林水産業（従業者）	・九州の主力である冬春野菜の種まき・定植準備が遅れている。そのため、秋からの今シーズンは、出荷開始時期の遅れや、出荷の波が不安定になることが懸念されている。この気候が続くと小売価格も不安定になる要因となる。
	×	繊維工業（営業担当）	・今後、最低賃金も上がり、一層経営が難しくなる企業が多くなる。後手になっている新型コロナウイルス対策を強化し、早い収束につながることを望んでいる。
	×	建設業（従業員）	・企業経営の変革により、規模縮小となり、今後売上が減少していくと予想される。
	×	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・市町村の9月議会では、補正予算でも新型コロナウイルス対策に予算計上が多く、通常の調査や計画策定、設計等の予算計上が少ないことから、発注が減り受注できる機会が少なくなるおそれがある。このため、売上が減少し景気が悪くなると予想される。
雇用 関連  (九州)		-	-
		人材派遣会社（社員）	・求人数はコロナ禍以前を超える推移をしている。今後この傾向は続くともみている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・消費の差し控えや、ネット通販の利用が増えており、自分自身もこれまでと購買意欲が変わっている。新型コロナウイルスの早い収束を期待している。
		新聞社〔求人広告〕（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、9月以降の広告出稿の問合せも来ており、さすがに現状よりは回復すると予想している。ただし、ワクチンの接種は進んでいるが、経済活動が以前と同じ状況に戻るだけで、周辺の企業動向は活発ではないため、回復はスローペースだと考えられる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ワクチン接種が進み、少しずつ経済活動が回復する。ただし、求人について雇用継続はあるが、再就職、再雇用は厳しい状況が続く。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス感染者数が落ち着き、各発出が解除されれば、必然的に移動や購買意欲が活発化し、また、ワクチン接種も進み、心理的にも行動の許容範囲が広がるものと考えられる。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス関連対応業務での求人数の動きはあるが、派遣登録者が希望する事務職種等の求人は落ち着いており、また、求職者も余り動きがない。明るい兆しの要因が見当たらない。
		人材派遣会社（社員）	・収束のめどが立たなければ、回復は見込めない。
		民間職業紹介機関（職員）	・業種によっては、積極的に追加で募集している企業もあるが、新型コロナウイルスの終息がみられず、幅広い業種で積極採用する企業も少ないため、しばらくはこの状態が続く。
		人材派遣会社（社員）	・8月になり、新規感染者数が増えた影響で、勤務日数を制限する企業も出始めた。派遣先企業内でも、濃厚接触者が増えており、敏感になっている。8月の注文数は増えてはいるが、下旬になり、やや停滞感がある。
		職業安定所（職員）	・新規求人数の増加傾向は継続しており、雇用調整助成金の相談件数は、ほぼ横ばいとなっている。しかし、まん延防止等重点措置の適用中にもかかわらず、身近でも新型コロナウイルスの感染が拡大しており、このままこの状況が継続するならば、雇用動向にも大きな影響が出てくる懸念される。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されるが、前年度の求人数の動きから推測すると、若干の求人減少が見込まれる。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、まん延防止等重点措置の指定地域となっている。このため、観光室が休館となり人流が減少し、主たる観光産業及び関係産業に影響が出ることが予想される。
		職業安定所（職員）	・雇用調整助成金の特例措置が延長されたが、収益を確保できない企業の経営体力は、雇用調整助成金の特例措置が続いても、早晚、経営困難に陥る可能性は否めない。年末を区切りとして、廃業する企業も出ている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		学校〔大学〕（就職支援業務）	・新型コロナウイルス変異株により新規感染者数が増加し、日本各地で過去最多の感染者が発生するなど新型コロナウイルスの影響が続いている。ワクチン接種のめどがついてきたが、新型コロナウイルス変異株への有効性や感染力を危惧する声もあり、企業が業績の低迷から抜け出すには、まだ一定の時間が掛かるのではないかと推測される。
	x	*	*

## 12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (沖縄)		家電量販店（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、客の活動が活発化する。
		コンビニ（経営者）	・夏に入り天候も良く、来客数も多くなり特に飲料水やアイス類の売上が増加している。
		観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの8月の販売室数は、東京と沖縄の緊急事態宣言の影響もあり、前年比22%減なのに対し、8月末時点での11月の予約室数は前年比7%減少で、マイナス幅が小さくなっている。
		住宅販売会社（役員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率の向上に比例して感染者数が抑えられれば、客の動きも良くなるとみられる。
		百貨店（店舗企画）	・まだ明るい兆しは感じられず、秋に向けての物産展も派手にできない状況である。新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことを望むばかりである。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数や緊急事態宣言の延長の可能性も含めて、しばらくは不安定な状況が見込まれる。
		スーパー（販売企画）	・新型コロナウイルス感染の状況によるとみられる。新規感染者数が現状のように多い場合はやや厳しい状況が続くが、新規感染者数が少なくなれば景気は良くなると予想する。
		コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルスの影響は年明けまで残ると考える。観光を中心とした県経済の活性化はまだまだ時間は掛かる。
		コンビニ（副店長）	・日々、日本各地でまん延防止等重点措置対象の追加や、緊急事態宣言の延長、ロックダウン案の検討を求める声が浮上し、東京オリンピック、パラリンピック終了からの感染拡大懸念と現状では、年内の景気回復は見込めない。
		衣料品専門店（経営者）	・前月に引き続き緊急事態宣言の影響とみられるが、今月も客が少ない状態が続いている。その影響で売上が伸びていない。景気は本当に悪い状態が続いている。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。先行きは不透明で新規感染者数が減少に転じ、緊急事態宣言が解除になれば今よりも良くなり、逆に増えれば長引くとみられる。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まるかどうかによるとみているが、年内は厳しいと見受けられる。9月に新商品が出るため、大きく落ち込むことなく今の状態が続くと見越している。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・緊急事態宣言の長期化により予約が全く伸びず、先行きの状況は前々年比で30%台と非常に厳しい状況である。いつまでこの状態が続くのか見当も付かず、今後の対策もままならない。
		コンビニ（店長）	・緊急事態宣言が出ているが、自粛する意識が薄れてきているように見受けられる。対新型コロナウイルスの環境整備が整わない限り、市民レベルでの景気は回復しないと考えている。
		住宅販売会社（代表取締役）	・金融機関の融資スタンスが、これまで融資可能だった建築相談の客に対しても厳しくなっており、請負契約に至らないケースが増えている。
	x	商店街（代表者）	・現在の新型コロナウイルスの感染状況では、経済や商売は全体的に大変危機的な状況である。早めに新型コロナウイルスの感染拡大が収束しなければ、どこまで落ちていくか、大変危惧される。
	x	一般小売店〔酒〕（店長）	・政府の対策が海外と比べると甘い。もっと強硬手段を採らないと今後良くならない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	その他飲食〔居酒屋〕 (経営者)	・ワクチン接種が進むにつれて、全体としては少しずつ良くなってくるとはみているが、大箱の居酒屋は事業転換をしない限り、前の売上は戻ってこないとみている。長期にわたる新型コロナウイルス感染症の影響で債務超過になっている店舗の元金返済が始まると、一気に倒産が増えてくると予測する。
	x	観光型ホテル(代表取締役)	・10~11月の予約が入ってこない。10月の修学旅行のキャンセルがはじめてきている。飲食部門とくに夕食や宴会の予約が0の状態が続いている。
	x	旅行代理店(マネージャー)	・中途半端な政策で緊急事態宣言が延長されるたびに予約してはキャンセルの繰り返しである。人員整理もしたが確実に会社が衰弱している。
	x	観光名所(職員)	・特に修学旅行において、予約キャンセルが増えている。
企業 動向 関連 (沖縄)	-	-	-
	-	食料品製造業(役員)	・緊急事態宣言下のこれまでよりも景気が悪くなる要因が見当たらない。
	-	建設業(経営者)	・沖縄は新型コロナウイルスの感染拡大が大変な状況だが、ワクチン接種が進むにつれ、客の気持ちが前向きになってくる。
	-	輸送業(代表者)	・宮古島、石垣島の建設関連は、新型コロナウイルス感染の急拡大で、回復してきた民需部門の工事現場でも感染者が発生し影響が出始めている。官需部門でも同様で、緊急事態宣言下で観光客の来島も歓迎されず、今後への影響が心配される。
	-	輸送業(経営企画室)	・観光業関連の納品が増えてきているが、それに伴う感染拡大が、現在の感染状況に反映されているとみている。2~3か月後にはまた納品が減っていくのではないかと考えている。
	-	広告代理店(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大が続くなかで、県内企業の販促活動も慎重にならざるを得ない状況にあり、実施計画や予算の見直しを迫られ、引き続き厳しい状況が続くものとみている。
	-	会計事務所(所長)	・新型コロナウイルス新規感染者数が多人数で推移している。なかなか減少に転じないことがあり、消費マインドも回復しないとみている。
	x	窯業土石業(取締役)	・原材料の鉄材価格高騰が続き、仕入価格の上昇による収益への影響が懸念される。
雇用 関連 (沖縄)	-	-	-
	-	-	-
	-	人材派遣会社(総務担当)	・新型コロナウイルス感染拡大が収まらない限り、景気の回復は見込めない。
	-	求人情報誌製作会社(営業担当)	・新型コロナウイルス新規感染者数が減少傾向にない。
	-	求人情報誌製作会社(営業)	・求人数が回復するためには、経済活動の活性化と人流を必要としているが、直近の現状を踏まえると採用の回復はまだ遠いと予測している。前年の8月から11月にかけては求人数20%増加と、やや復調の兆しはあったが、今年は感染拡大状況が悪化していて、全く好転が見込めない。
	-	職業安定所(職員)	・新型コロナウイルス感染症の再流行で、夏の観光需要などで景気回復を見込んでいた事業者は当てが外れ、求人件数の回復はまた不透明な状態である。
	-	学校〔専門学校〕(就職担当)	・コロナ禍で自粛期間が長期化していることから、現状維持のままだとみている。
x	学校〔大学〕(就職支援担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大が爆発している現状では、飲食業、小売業などが芳しくない。このままの状況が続けば、景気はもっと冷え込むとみている。	